

TM-C3500

ユーザーズガイド

本製品の特長

ご使用の前に

基本の操作

プリンタードライバーの使い方

ラベルの作成と印刷

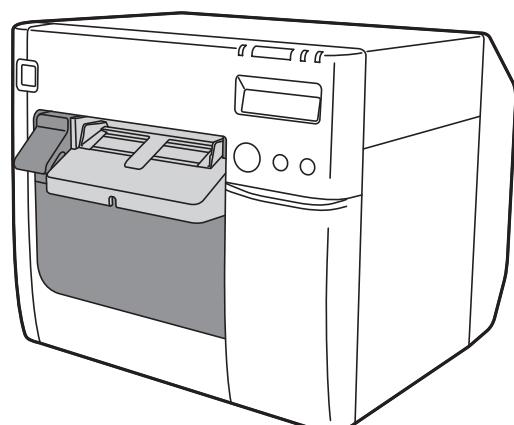
高度な使い方

メンテナンス

困ったときは

仕様

付録

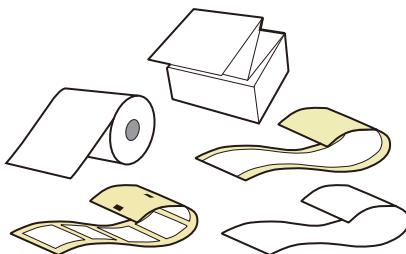


本製品の特長

TM-C3500 は、オンデマンドラベル印刷に求められる処理速度、操作性、信頼性を備えた 4 色カラーラインクジェットラベルプリンターです。

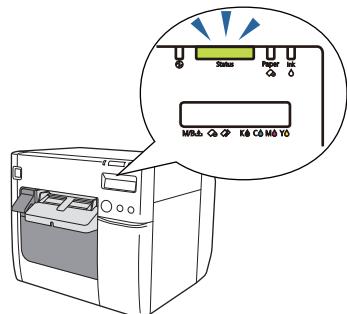
多種多様な用紙に対応

様々な用紙の形状・形態・種類に対応しています。用途に応じて最適な用紙を選択し、ラベルを作成することができます。
(☞[17 ページ「使える用紙の種類」](#))



優れたユーザビリティー

LED の点灯 / 点滅と LCD 表示の組み合わせによって、プリンターの状態を確認できます。エラー原因と対処方法をすばやく知ることができます。(☞[66 ページ「プリンターの状態を確認する」](#))



長期保存に適した顔料インク

水や油・アルコールに強い顔料インクを使用しています。ラベルの水濡れなどにより色落ちや文字が消える心配も少なく、ラベルの長期保存が可能です。
(☞[184 ページ「インクカートリッジ」](#))



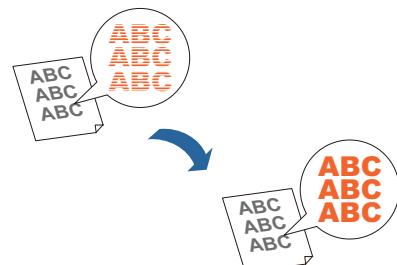
一般的な染料インク



顔料インク

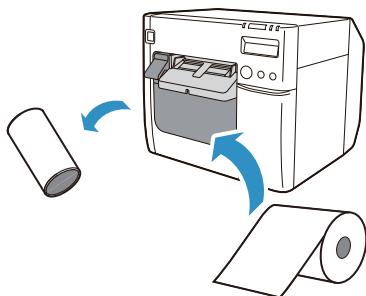
自動ノズルチェックシステム搭載

自動ノズルチェック機構によりノズルの詰まりを自動でチェック & クリーニングします。目詰まりを防止し安定したプリントを行うとともに、メンテナンスの手間と時間を軽減します。(☞[99 ページ「自動ノズルチェックシステム」](#))

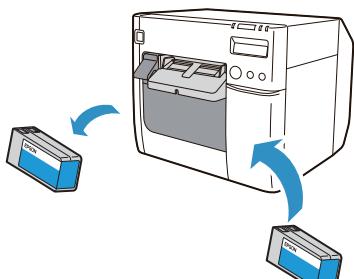


もくじ

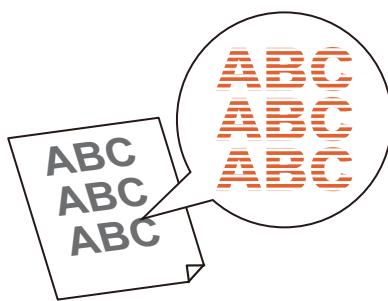
☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」



☞ 43 ページ「インクカートリッジの交換」



☞ 131 ページ「困ったときは」



本製品の特長 2

■ もくじ 3

ご使用の前に 6

■ 本製品マニュアルの使い方 6

最新版のダウンロード 6
本文中のマークについて 7

■ ソフトウェアの紹介 8

■ 製品とドライバーのバージョン 9

製品のバージョン確認方法 9
プリンタードライバーのバージョン確認方法 9

■ 掲載画面 10

■ 安全にお使いいただくために 10

設置上のご注意 10
取り扱いのご注意 11
電源のご注意 12
インクカートリッジに関するご注意 13
注意ラベル 15

■ 使える用紙の種類 17

用紙の形状 17
用紙の形態 17
使える用紙一覧 18
使用できない用紙 18

■ 各部の名称とはたらき 19

本体前面 19
本体内部 20
操作パネル 21
本体背面 22
コネクター 23

セットアップ 25

■ セットアップの流れ 26

■ プリンタードライバーのインストール 27

■ プリンターの設置 28

保護テープの取り外し 28
設置 29

■ 電源の接続 30

■ インターフェイスケーブルの接続 31

IP アドレスの設定 31

■ ロール紙のセット	31
■ メンテナンスボックスのセット	32
■ インクカートリッジのセット	34
■ 排紙トレイのセット	36
■ LCD の設定	38
表示言語	38
コントラスト調整	40

基本の操作	41
■ 電源のオン / オフ	41
電源のオン	41
電源のオフ	42
■ インクカートリッジの交換	43
インク残量の確認	43
インクカートリッジの交換手順	43
■ メンテナンスボックスの交換	44
メンテナンスボックスの空き容量の確認	44
メンテナンスボックスの交換手順	44
■ ロール紙のセット・交換	45
■ ファンフォールド紙のセット・交換	54
シャッターの調整	64
■ プリンターの状態を確認する	66
消耗品の交換時期	66
ステータスとエラー	67
セルフテスト印刷	69

プリンタードライバーの使い方	71
■ プリンタードライバーの表示方法	71
アプリケーションから表示する	71
コントロールパネルから表示する	71
■ プリンタードライバーの画面構成	73
■ 用紙を登録する（用紙定義）	74
新規登録	74
編集と削除	82

■ フチなし	84
■ プリンタードライバーのアンインストール	85

ラベルの作成と印刷 86

■ ラベルの作成	86
■ ラベルの印刷	86
■ ラベルの作成から印刷まで	87
■ ダイカットラベルのフチなし印刷	92
推奨ダイカットラベル紙	92
プリンタードライバーの設定	93

高度な使い方 95

■ プリンターの機能と使い方	95
ブザー	95
自動ノズルチェックシステム	99
■ ネットワーク設定	101
設定方法	101
設定項目	101
ネットワークの初期設定	102
設定内容の確認（ステータスシート印刷）	103
EpsonNetConfig（Web バージョン）	104
■ 致命的なエラーの通知設定	105
■ PrinterSetting の機能と使い方	106
PrinterSetting の起動方法	106
PrinterSetting の画面構成	107
PrinterSetting の機能	108
PrinterSetting の設定反映	110
紙送りの調整	111
センサーの調整	117
プリントヘッドの調整	118

メンテナンス 126

■ 外装のクリーニング	126
■ プラテンのクリーニング	126
■ オートカッターのクリーニング	128
■ プリンターヘッドのクリーニング	129
ノズルチェックパターンの印刷	129
ヘッドクリーニング	130

困ったときは	131
■ 操作パネルにメッセージが表示された ...	132
■ 印刷品質に問題がある	135
横方向に白スジが印刷される.....	136
端の方に白スジや黒スジが印刷される	136
白スジや黒スジが印刷される.....	137
紙送り方向に対して前後に余白ができる	138
印刷がぼやける・文字が二重になる	139
印刷された色がおかしい	139
印刷位置がずれる	139
用紙が汚れる・インクが付着する	140
印刷データが切れる	
オートカット位置がずれる.....	140
ラベルサイズと印刷領域が異なる	141
ラベルの余白が大きい	141
■ 用紙をセットしたら、 用紙が送り出されてエラーになる.....	142
■ 用紙が詰まった.....	143
■ コンピューターの画面に メッセージが表示された	144
■ コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった	145
プリンタードライバーのインストール確認....	145
プリンターとコンピューターを再接続	145
■ 電源がオンにならない	147

仕様	148
■ 製品仕様	148
電気的仕様.....	148
外形寸法.....	149
■ 環境仕様	150
■ 用紙仕様	151
連続紙	151
連続紙（ブラックマーク基準）.....	152
全面ラベル	154
ダイカットラベル（ギャップ基準）.....	155
ダイカットラベル（ブラックマーク基準）....	156
リストバンド	160
■ 印刷位置とカット位置	162
連続紙・ロール紙	162
連続紙（ブラックマーク基準）・ロール紙	164
連続紙（ブラックマーク基準） · ファンフォールド紙	166
全面ラベル・ロール紙	168
ダイカットラベル（ギャップ基準） · ロール紙	170

ダイカットラベル（ブラックマーク基準） · ロール紙	172
ダイカットラベル（ブラックマーク基準） · ファンフォールド紙	174
リストバンド・ロール紙（WB-Sシリーズ） ...	176
リストバンド・ロール紙（WB-Mシリーズ） ...	178
リストバンド・ロール紙（WB-Lシリーズ）...	181
■ インクカートリッジ	184
■ メンテナンスボックス	184
■ 対応 OS	185

付録	186
■ 消耗品とオプション品	186
インクカートリッジ	186
メンテナンスボックス	187
■ 使用制限	188
■ お問い合わせ前の確認事項	189
■ ご注意	190
■ 商標	190

ご使用の前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル



はじめにお読みください

本製品を取り扱う上で注意事項を記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前には必ずお読みください。また、同梱品の確認・設置・セットアップの方法についても説明しています。

パソコンで見る マニュアル



ユーザーズガイド（本書）

本製品とソフトウェアの機能・操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。

パソコンで見る マニュアル



開発者ガイド

本製品のシステム開発に必要な情報を説明しています。
付属の CD から閲覧できます。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティー、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。

< <http://www.epson.jp/support/> >

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク

 重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

ソフトウェアの紹介

本製品に同梱されている CD (TM-C3500 Series Set-Up and Utilities Disc) からインストールできるソフトウェアを紹介します。

名称	概要
TM-C35xx プリンタードライバー	Windows アプリケーションから印刷するためのドライバーです。 ドライバーから、プリンターの設定をするためのユーティリティー (PrinterSetting) を起動できます。
Install Navi	本製品をセットアップするためのソフトウェアです。 ウィザード形式で、コンピューターと本製品の初期設定を行います。
EpsonNet Config	本製品のネットワーク設定を変更するためのソフトウェアです。
USB プリンタークラステバイス置き換えサービス	プリンター故障時の置き換え作業を支援するソフトウェアです。 ホストコンピューターの設定を、新たに接続したプリンターに引き継ぐことができます。

製品とドライバーのバージョン

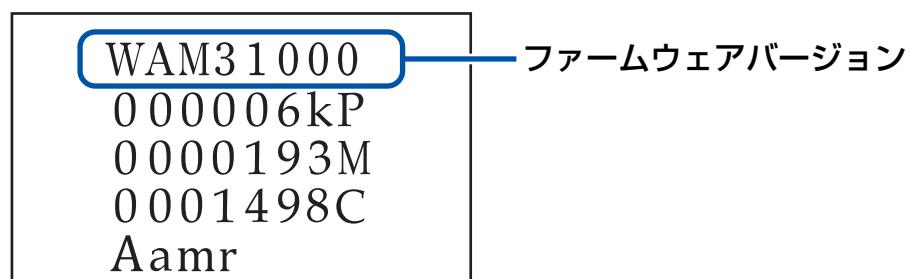
本書では、特に指定がない限り、以下のバージョンについての説明をしています。

製品ファームウェア : WAM31000

プリンタードライバー : Ver.2.0.0.0

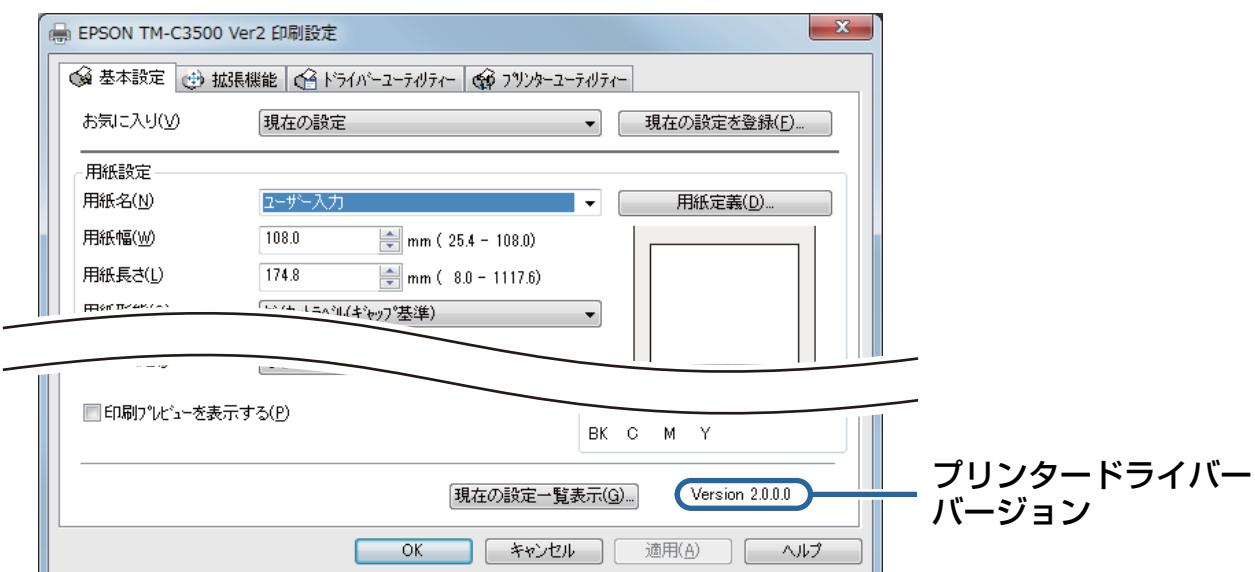
製品のバージョン確認方法

セルフテスト印刷で、お使いの製品ファームウェアのバージョンを確認できます。セルフテスト印刷結果の最初の行を確認してください。(☞[69 ページ「セルフテスト印刷」](#))



プリンタードライバーのバージョン確認方法

プリンタードライバーの画面でバージョンを確認できます。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))



プリンタードライバー
バージョン

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り TM-C3500 使用時の Windows 7 の画面を掲載しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。

本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意

 警告	<p>本製品の通風口を塞がないでください。(22 ページ「本体背面」)</p> <p>通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。</p> <p>布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。</p> <p>また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。</p> <p>(29 ページ「設置」)</p>
 注意	<p>不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。</p> <p>落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。</p> <p>無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>マニュアルで規定している環境条件でご使用ください。(150 ページ「環境仕様」)</p>

取り扱いのご注意



警告

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

異常が発生したときは、すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。

マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。

引火による火災のおそれがあります。

各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。

発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。

感電や火傷のおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災のおそれがあります。



注意

本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。

特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。

火災やけがのおそれがあります。

マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。(☞31 ページ「インターフェイスケーブルの接続」)

 注意	<p>本製品を移動する際は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。</p> <p>コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。</p> <p>インクが漏れるおそれがあります。</p>

電源のご注意

 警告	<p>指定の AC アダプター以外は使用しないでください。また、指定の AC アダプターを他の機器に使用しないでください。(☞30ページ「電源の接続」)</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>AC アダプターを取り扱う際は、以下の点を守ってください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 雨や水のかかる場所で使用しない * 電源コードで吊り下げない * コネクターにクリップなどの金属性のものを接触させない * 布団などで覆わない
	<p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口に相談してください。</p> <p>また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 電源コードを加工しない * 電源コードに重いものを載せない * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない * 熱器具の近くに配線しない
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電のおそれがあります。</p>

 警告	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 電源コンセントから直接電源を取ってください。</p> <p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p> <p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p> <p>本製品の電源をオンにしたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 注意	<p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

インクカートリッジに関するご注意

 注意	<p>製品の機種型番によって、使用できるインクカートリッジが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクカートリッジを使用してください。(☞ 184 ページ「インクカートリッジ」)</p> <p>インクカートリッジの IC チップには触らないでください。 正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。</p> <p>本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。</p> <p>インクカートリッジは、全色セットしてください。 全色セットしないと印刷できません。</p> <p>本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。</p> <p>プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。</p>
---	--

⚠ 注意

充てん中（① 電源ランプの点滅中）は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。

カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充てんされ、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

モノクロ印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。

インクカートリッジを分解しないでください。

分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。

インクカートリッジを分解または改造しないでください。

正常に印刷できなくなるおそれがあります。

古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。

- * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
- * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。
- * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。

インクカートリッジカバーを開け、内部の動作が停止するまで 4 秒以上待ちます。

4 秒以内にインクを取り出しちゃった場合、インクが噴出することがあります。

インクカートリッジは強く振らないでください。

強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。

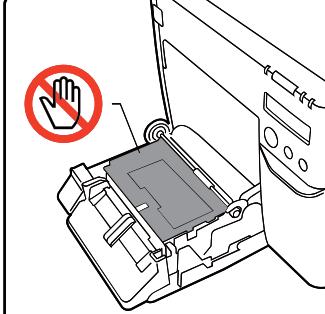
印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。

購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。

 注意	<p>本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。</p>
	<p>アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。</p>
	<p>インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</p>
	<p>インクカートリッジは冷暗所で保管することをおすすめします。</p>
	<p>インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。</p>
	<p>本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。</p>

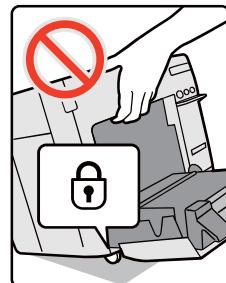
注意ラベル

本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。

 注意	<p>プラテンにさわらないでください。手や衣服が汚れる可能性があります。プラテンが汚れている場合は、クリーニングをしてください。（☞126 ページ「プラテンのクリーニング」）</p> <div data-bbox="785 1336 1110 1650">  </div>
--	--



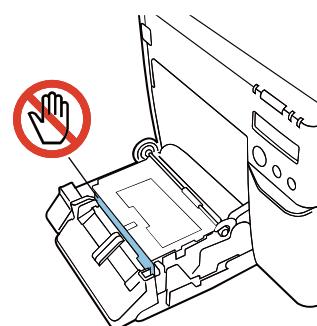
手指の挟み込みを防ぐため、本体を設置面から浮かせるとロック機構が動作し、カバーは閉まりません。本製品を使用するときは、水平な場所に設置してご使用ください。（[29 ページ「設置」](#)）



印刷中の紙にさわらないでください。印刷のずれや用紙づまりの原因になります。



オートカッターの刃に手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



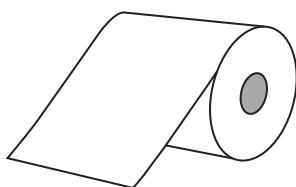
使える用紙の種類

本製品で使える用紙の形状と形態は以下のとおりです。

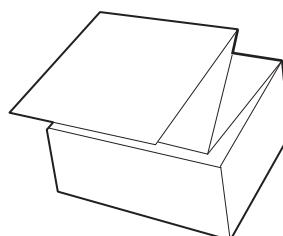
詳細な仕様については、[151 ページ「用紙仕様」](#)を確認してください。

用紙の形状

以下の形状の用紙を使えます。



ロール紙



ファンフォールド紙

用紙の形態

以下の形態の用紙を使えます。

普通紙（粘着加工なし）



連続紙
(ブラックマークなし)

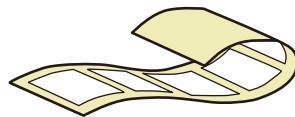


連続紙
(ブラックマーク基準^{*1})

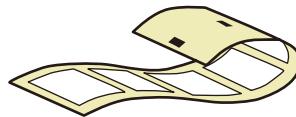
ラベル紙（粘着加工あり）



全面ラベル



ダイカットラベル
(ギャップ基準^{*2})



ダイカットラベル
(ブラックマーク基準^{*1})

*1 : 用紙の裏または台紙に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。

*2 : ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。



参考

ダイカットラベルを使用する場合、型抜きされたラベルの形状によっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあります。用紙仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。[\(☞ 151 ページ「用紙仕様」\)](#)

使える用紙一覧

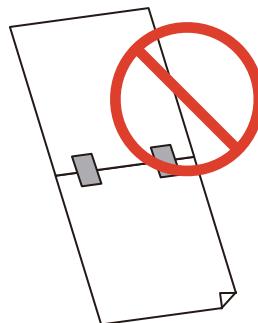
	粘着加工	タイプ	種類
ロール紙	あり	全面ラベル ダイカットラベル（ブラックマーク付） ダイカットラベル（ギャップ付）	普通紙 マット紙 合成紙 光沢紙
	なし	連續紙 連續紙（ブラックマーク付）	普通紙 マット紙 リストバンド
ファンフォールド紙	あり	ダイカットラベル（ブラックマーク付）	普通紙 マット紙
	なし	連續紙（ブラックマーク付）	

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



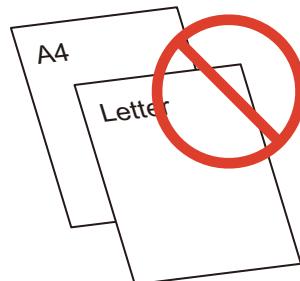
サーマル紙



テープなどで繋ぎ、
延長した用紙



テープなどで芯にとめて
いる用紙

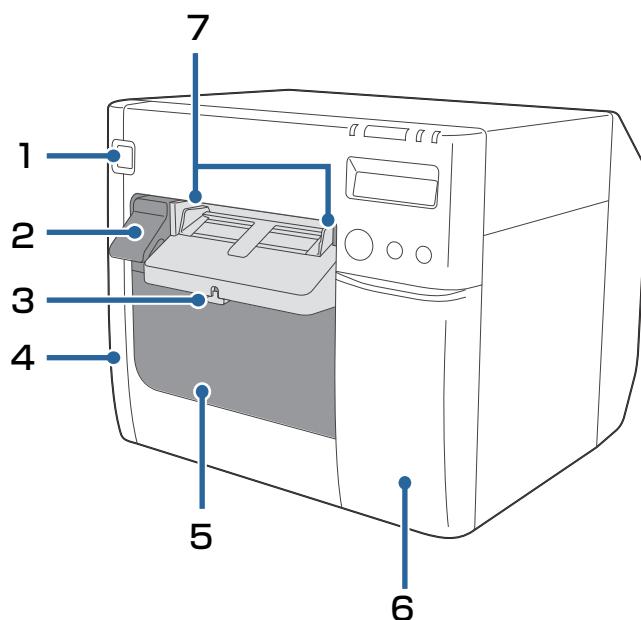


A判、B判などの用紙

各部の名称とはたらき

ここでは、主な操作部を説明します。

本体前面



1 パワーボタン (Power button)

電源のオン / オフができます。([41 ページ「電源のオン / オフ」](#))

2 リリースレバー

手前に引くと、ロール紙カバーが開きます。

3 ロックレバー (排紙ガイド)

押し下げるとき排紙ガイドが調整できるようになります。

カチッと音がするまで引き上げると排紙ガイドが固定されます。

4 メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックスを取り付け / 交換するときに開けます。([32 ページ「メンテナンスボックスのセット」](#))

5 ロール紙カバー

ロール紙をセット・交換したり、ファンフォールド紙ガイドを取り付けたりするときに開けます。([45 ページ「ロール紙のセット・交換」](#)、[54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」](#))

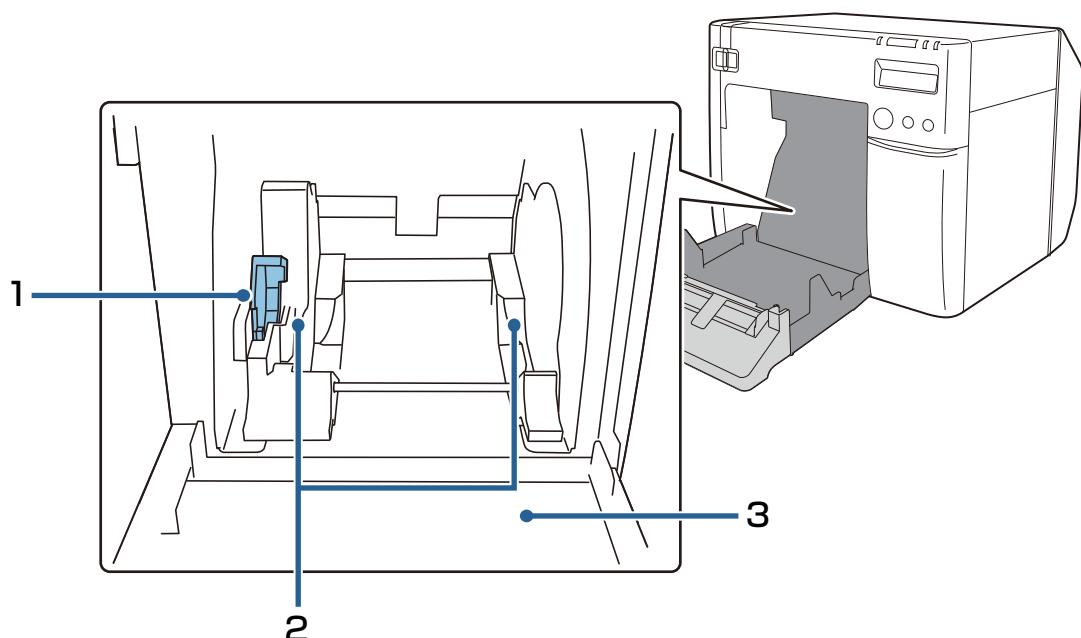
6 インクカートリッジカバー

インクカートリッジを取り付け / 交換するときを開けます。(☞[34 ページ「インクカートリッジのセット」](#))

7 排紙ガイド

用紙が排出される際に用紙がずれないようにするためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。

本体内部



1 ロックレバー（ロール紙ガイド）

引き上げるとロール紙ガイドが調整できるようになります。
押し下げるときロックされ、固定されます。

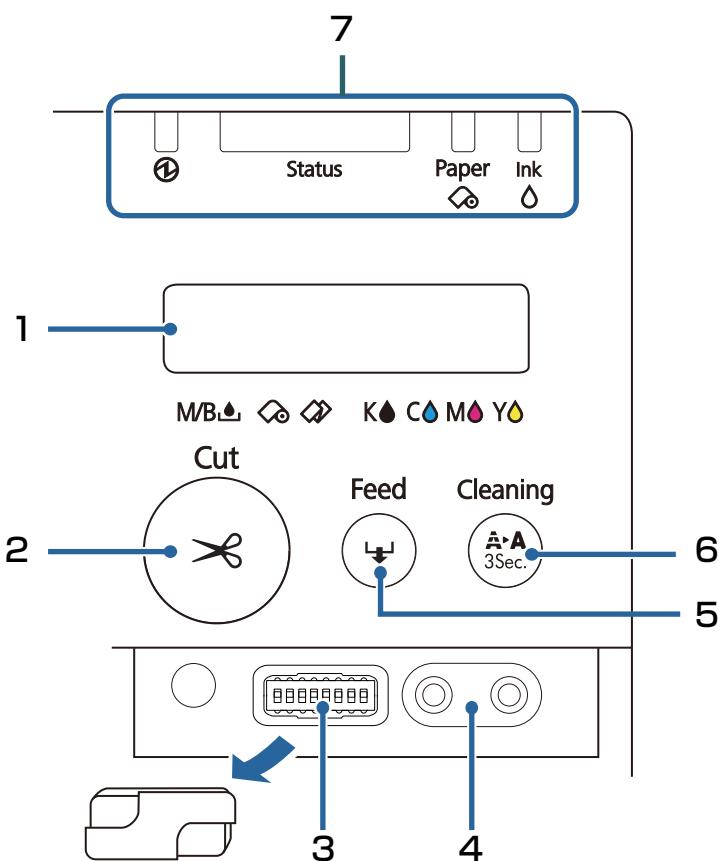
2 ロール紙ガイド

ロール紙を固定するためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。

3 シャッター

用紙幅に合わせてシャッターの開閉をします。(☞[64 ページ「シャッターの調整」](#))

操作パネル



1 LCD

メッセージやプリンターの状態が表示されます。

([66 ページ「プリンターの状態を確認する」](#)、[38 ページ「LCD の設定」](#))

2 Cut ボタン

用紙がカットされます。

3 ディップスイッチ

以下の設定を行うときに操作します。

- LCD の表示言語を変更するとき ([38 ページ「表示言語」](#))
- ブザーの音量を変更するとき ([95 ページ「ブザー」](#))
- 印刷領域を広げるとき ([138 ページ「紙送り方向に対して前後に余白ができる」](#))
- パワースイッチカバーを取り付けて、パワースイッチを操作させないとき ([『開発者ガイド』](#))

4 LCD コントラスト調整ボタン

LCD のコントラストを調整するときに操作します。

- 左側のボタンを押すと高く、右側のボタンを押すと低くなります。一度調整すると、電源をオフにしても設定が保持されます。([40 ページ「コントラスト調整」](#))

5 Feed ボタン

ブラックマークやギャップ基準がない用紙の場合、1回押すと用紙が15 mm 送られます。基準がある用紙の場合、1回押すと次の基準（ラベルやページ）まで用紙が送られます。押し続けると、ボタンを離すまで用紙が送られます。（最大約6秒）

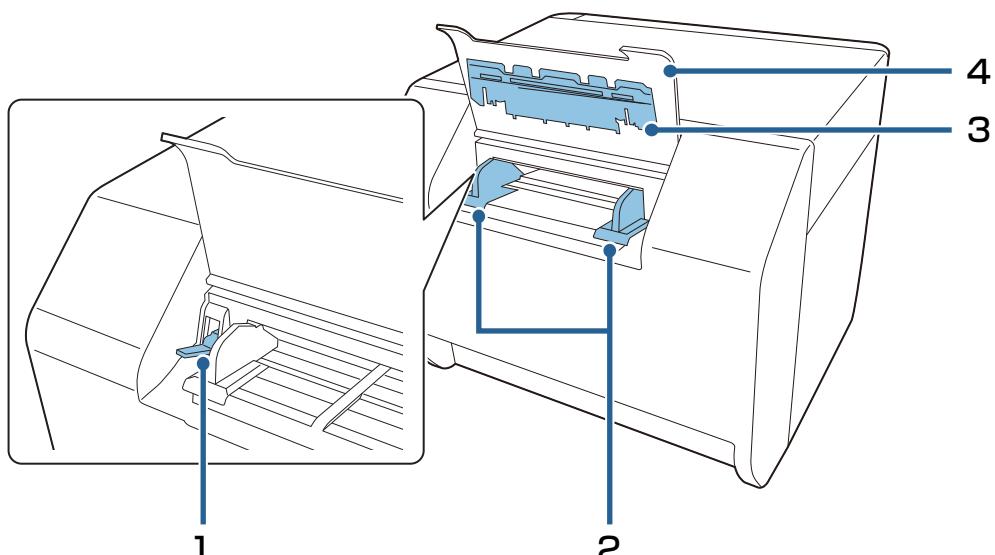
6 Cleaning ボタン

3秒以上押すと、ヘッドクリーニングを実行します。

7 LED

LEDの点灯 / 点滅とLCD表示の組み合わせによって、プリンターの状態を確認できます。プリンターの状態からエラー原因と対処方法を知ることができます。
([66ページ「プリンターの状態を確認する」](#))

本体背面



1 ロックレバー（ファンフォールド紙ガイド）

引き上げるとファンフォールド紙ガイドを調整できます。
引き下げるとファンフォールド紙ガイドを固定します。

2 ファンフォールド紙ガイド

用紙が本製品の内部に送られる際に用紙がずれないようにするためのガイドです。用紙幅に合わせて調整します。

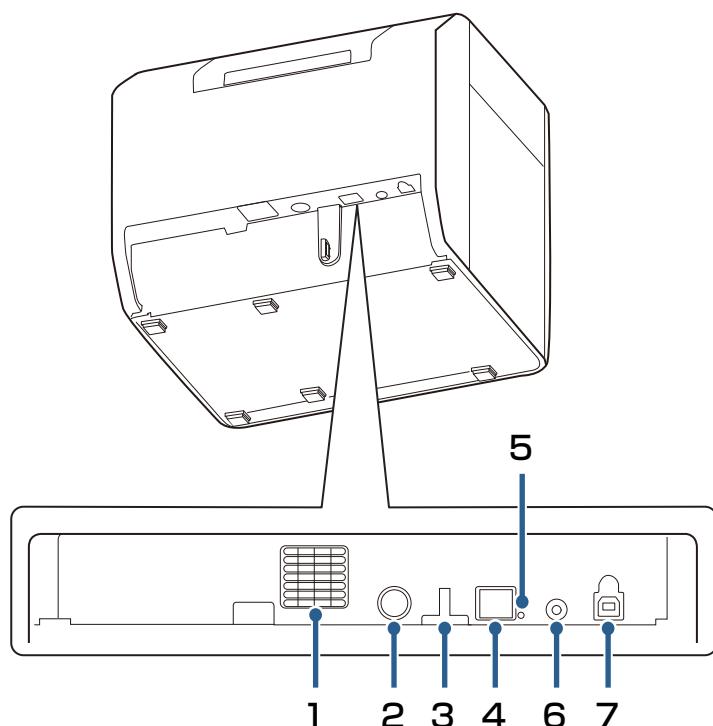
3 紙送りガイド

ファンフォールド紙を使用するときに、ロール紙カバー内に差し込みます。

4 ファンフォールド紙カバー

ファンフォールド紙をセット・交換するときを開けます。(☞[54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」](#))

コネクター



1 通風孔

本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風孔の周辺から 10 cm 以上のすき間をあけ、風通しを良くしてください。

2 DC-in コネクター

AC アダプターのケーブルを接続します。

3 ワイヤーサドル

USB ケーブルを通して、ケーブルの抜けを防止します。

4 イーサーネットコネクター

LAN ケーブルを接続します。

5 Link LED

プリンターのネットワーク状態を表します。

消灯：電源がオフになっている、ネットワーク通信不通

点灯：ネットワーク通信確立

点滅：データ受信中

6 ステータスシートボタン

ステータスシートを印刷する場合に押します。(☞ [103 ページ 「設定内容の確認（ステータスシート印刷）」](#))

ボタンを押したまま電源をオンにして、そのまま 10 秒以上押し続けることで、ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。

7 USB コネクター

USB ケーブルを接続します。

セットアップ

本章では、本製品の設置から印刷できるようにするまでの準備作業について説明しています。Install Navi を使用して、本製品を簡単にセットアップすることもできます。Install Navi は付属の CD から起動できます。



セットアップの流れ

プリンタードライバーのインストール（☞ [27 ページ](#)）



プリンターの設置（☞ [28 ページ](#)）



電源の接続（☞ [30 ページ](#)）



インターフェイスケーブルの接続（☞ [31 ページ](#)）



ロール紙のセット（☞ [31 ページ](#)）



メンテナンスボックスのセット（☞ [32 ページ](#)）



インクカートリッジのセット（☞ [34 ページ](#)）



排紙トレイのセット（☞ [36 ページ](#)）



LCD の設定（☞ [38 ページ](#)）

プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーは、付属の CD からインストールできます。または下記 URL からダウンロードできます。

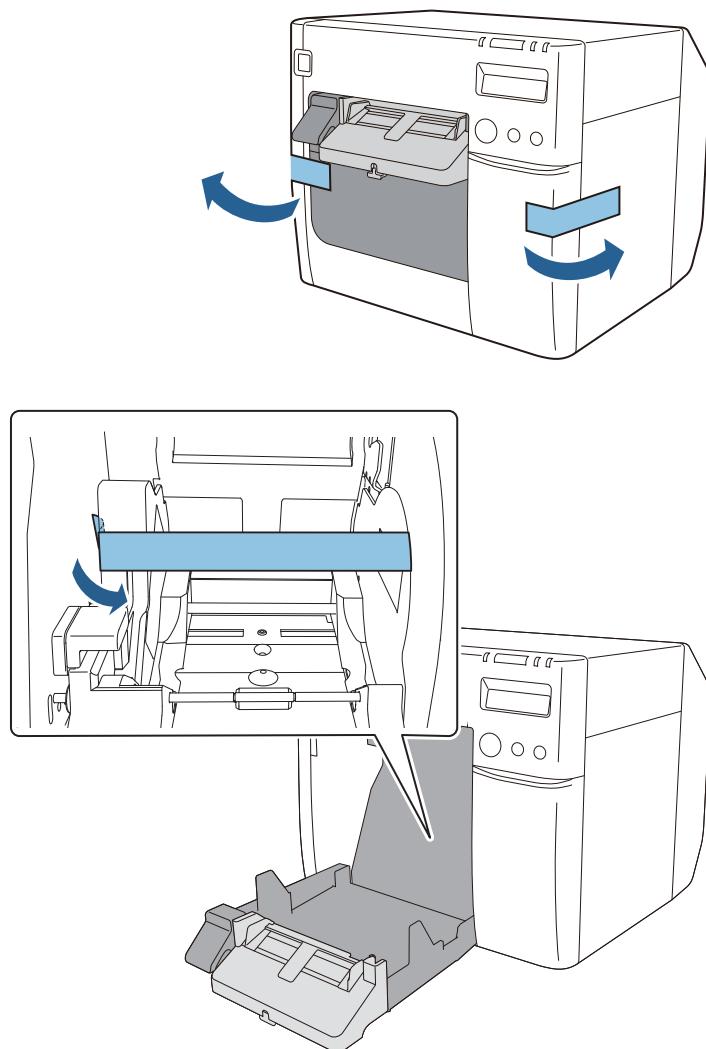
お使いの OS のプロセッサバージョンを確認したうえでダウンロードしてください。

< <http://www.epson.jp/support/> >

プリンターの設置

保護テープの取り外し

輸送時の衝撃から守るために、保護テープが取り付けられています。設置する前に、保護テープを取り外します。

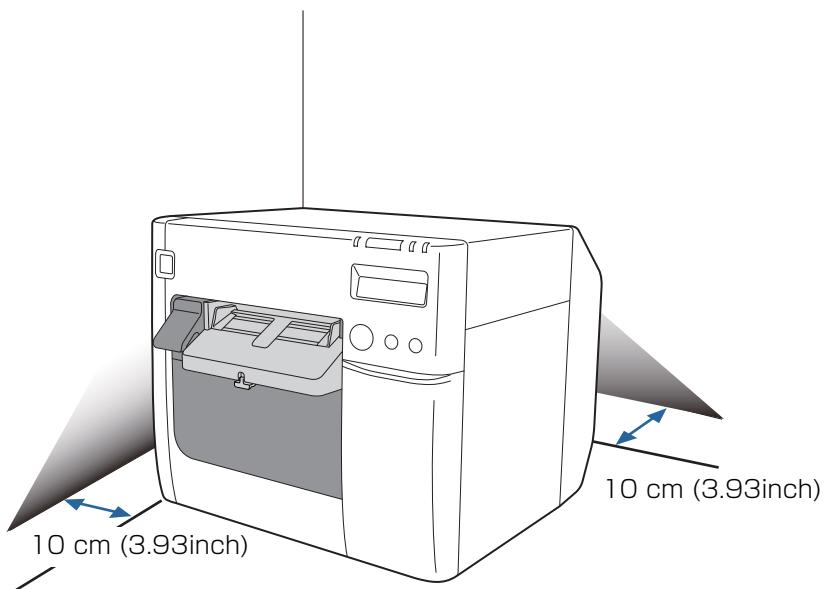


重要

保護テープと梱包箱は、再輸送時に必要です。大切に保管しておいてください。

設置

設置に適した場所に十分なスペースを確保して設置します。



設置に適した場所

本製品は、以下のような場所に設置してください。

- 本製品の質量（約 12.0 kg）に十分耐えられる、水平で安定した場所
- 本製品の底面が確実に載る、本製品の底面よりも広い場所（[149 ページ「外形寸法」](#)）
- 本製品の通風孔から壁面まで 10 cm 以上すき間をあけた、風通しの良い場所
- 振動や衝撃が加わらない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや取り出しが無理なく行える場所
- 付属品の取り付けや消耗品の交換、普段のお手入れに支障のないよう、周囲に十分なスペースを確保できる場所
- 本製品の保証環境条件を満たす場所（[148 ページ「仕様」](#)）



注意

本製品の質量は約 12.0 kg です。本製品を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、作業者かけがをしたり、本製品が破損する原因となります。

電源の接続

以下の手順で、電源を接続します。

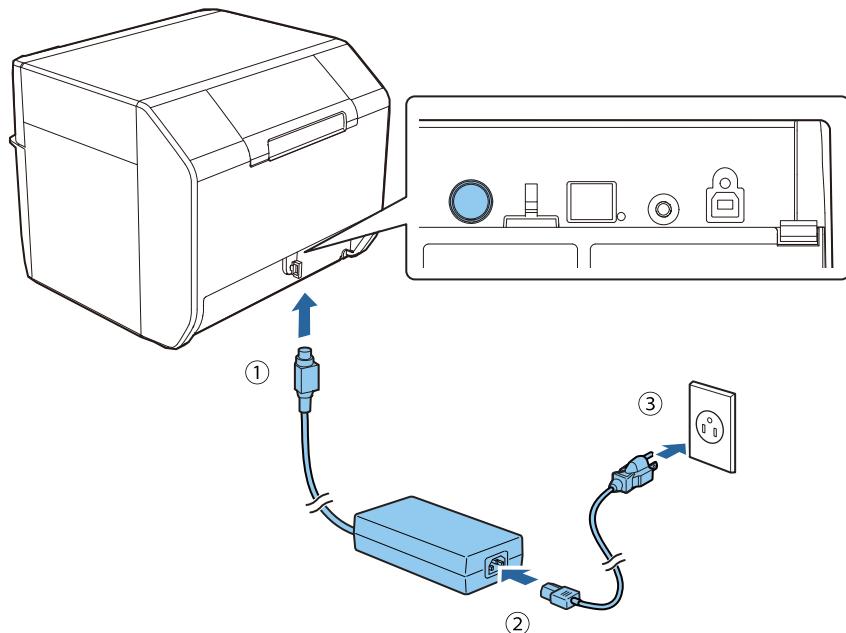


警告

電源を接続する前に、電源に関する注意事項をよくお読みください。(☞12ページ「電源のご注意」)

指定の AC アダプター (AC adapter, K 型番 : M248A) 以外は使用しないでください。また、指定の AC アダプターを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

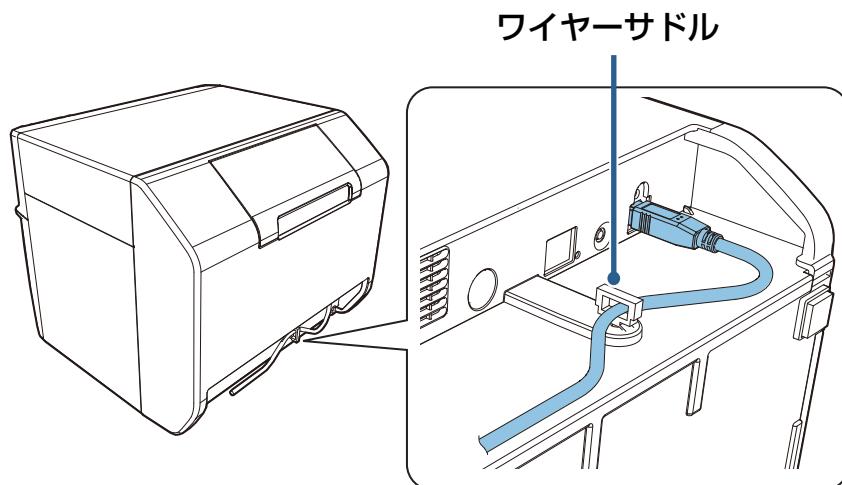
- 1** ACアダプターのDCコネクターを、プリンターのDC-inコネクターに奥まで確実に差し込みます。
- 2** ACケーブルのコネクターを、ACアダプターのACインレットに奥まで確実に差し込みます。
- 3** 電源プラグを、アース付きのコンセントに奥まで確実に差し込みます。
- 4** ACアダプターのラベル面を下にして設置します。



インターフェイスケーブルの接続

使用するインターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。（[23 ページ「コネクター」](#)）

USB ケーブルを接続する場合は、抜け防止のためワイヤーサドルにケーブルを通してください。



IP アドレスの設定

使用するインターフェイスがイーサネット（LAN ケーブル接続）の場合、ネットワークの設定をする必要があります。

基本的なネットワークの設定には、Install Navi をご利用ください。付属の CD から起動できます。ネットワークの詳細を設定する場合は [95 ページ「高度な使い方」](#) を参照してください。

ロール紙のセット

製品に付属のロール紙を使って、本製品にセットします。

セット方法は、[45 ページ「ロール紙のセット・交換」](#) の「はじめてロール紙をセットするとき」を参照してください。

メンテナンスボックスのセット

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクをためる容器です。

ここでは、初めてメンテナンスボックスを取り付けるときの手順を説明します。

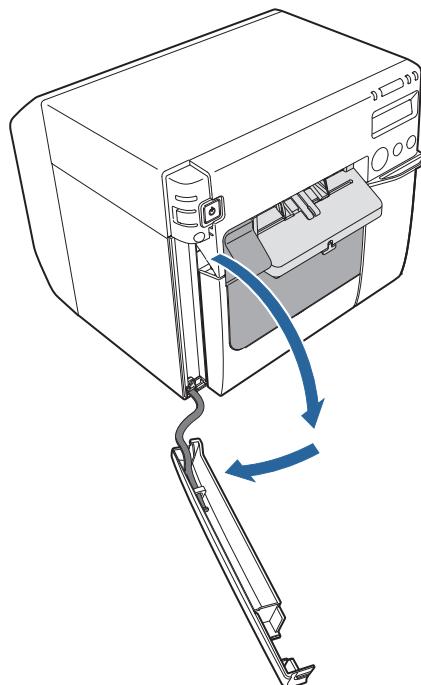
日常のご使用の中でメンテナンスボックスを交換する場合は、[44 ページ「メンテナンスボックスの交換」](#)も参照してください。



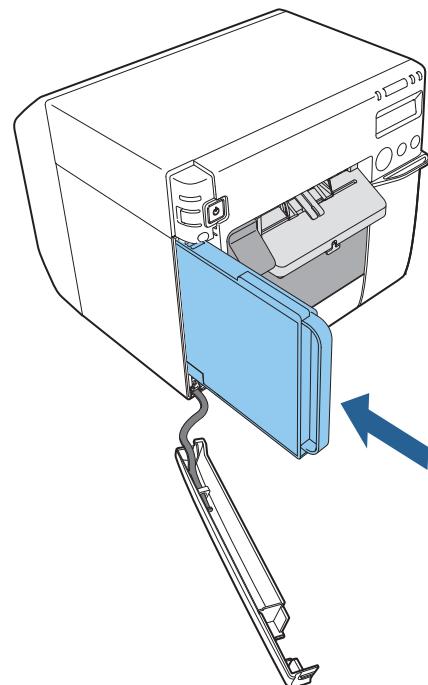
- 注意
- メンテナンスボックスは分解しないでください。
 - 基板部分には手を触れないでください。
 - 子供の手の届かないところに保管してください。
 - 付着した液体は飲まないでください。
 - 使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期放置した場合、再使用はしないでください。

1 本製品の電源をオフにします。[\(☞42 ページ「電源のオフ」\)](#)

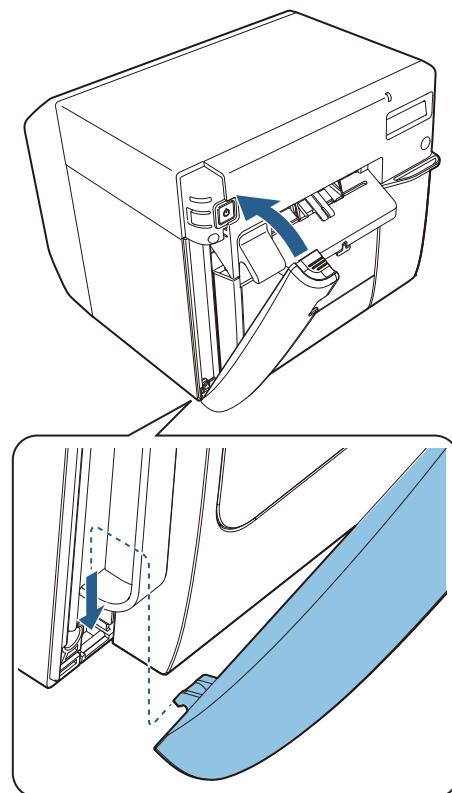
2 メンテナンスボックスカバーを開けます。
カバー上部を手前に倒し、引き出します。



3 メンテナンスボックスをカチッと音がするまで本製品に押し込みます。



4 メンテナンスボックスカバーを閉じます。
カバー下部をプリンター本体に合わせてから閉じます。



インクカートリッジのセット

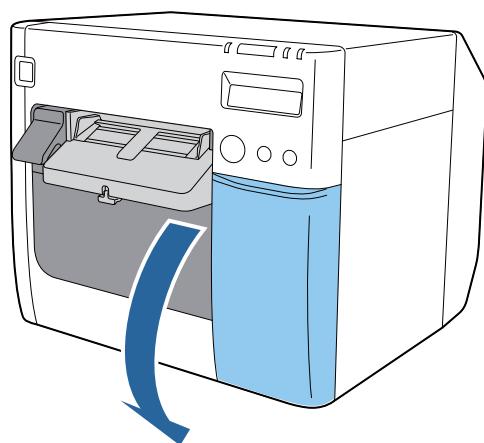
ここでは、初めてインクカートリッジを取り付けてインクを充てんするときの手順を説明します。日常のご使用の中でインクカートリッジを交換するときは、[43 ページ「インクカートリッジの交換」](#)も参照してください。



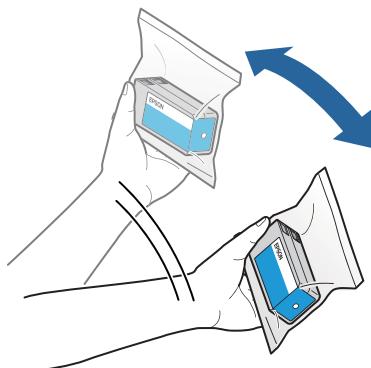
注意

インクカートリッジをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。[\(☞13 ページ「インクカートリッジに関するご注意」\)](#)

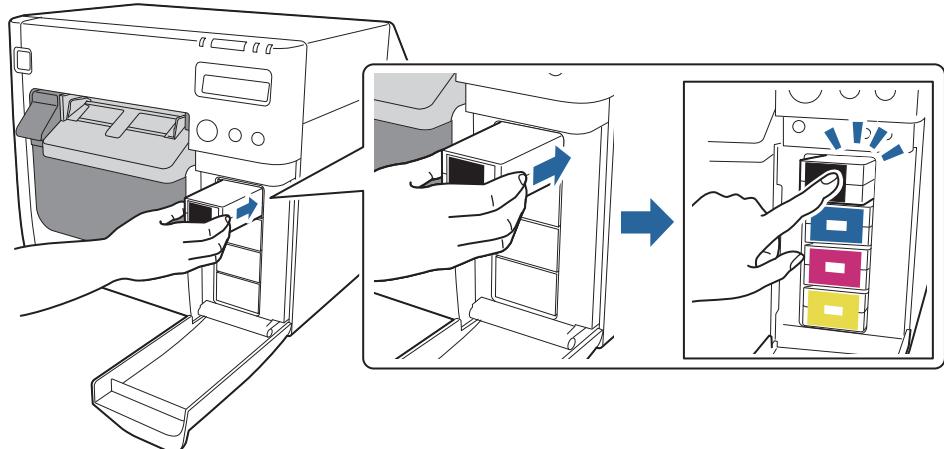
- 1** 本製品の電源がオンになっていることを確認します。[\(☞41 ページ「電源のオン」\)](#)
- 2** インクカートリッジカバーを開けます。



- 3** インクカートリッジを4~5回振ってから、袋から取り出します。



- 4** 4色すべてのインクカートリッジを本製品にカチッと音がするまで、静かに押し込みます。インクカートリッジのラベルの色と、インクカートリッジ挿入部のラベルの色を確認し、同じ色の位置にインクカートリッジをセットしてください。



- 5** インクカートリッジカバーを閉じます。

インクの充てんが始まります。充てん中は、①(電源) LED が点滅します。本製品に初めてインクカートリッジを取り付けたときはインクの充てんに、最大 10 分かかります。インクの充てんが終わると、①(電源) LED が点滅から点灯に変わります。

 注意	インクの充てん中（①(電源) LED が点滅している間）は、決して各カバーを開けたり、電源をオフにしたりしないでください。インク充てん中にこれらの操作が行われた場合、インクが著しく消費され、充てんが完了する前にインクカートリッジの交換が必要になるおそれがあります。
 参考	同梱のインクカートリッジは初期充てん用です。初めてインクカートリッジを取り付けたときは、本製品を印刷可能な状態にするためにインクが消費されます。

以上で、インクカートリッジのセットは終了です。

排紙トレイのセット

付属の排紙トレイを本製品に取り付けると、印刷後にカットされた用紙を一時的にためておくことができます。

排紙トレイは以下のサイズの用紙を保持することができます。

最大用紙サイズ：幅 105 × 長さ 148 mm

最小用紙サイズ：幅 76 × 長さ 54 mm

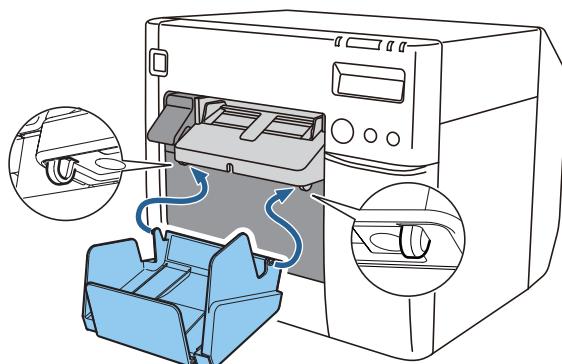


参考

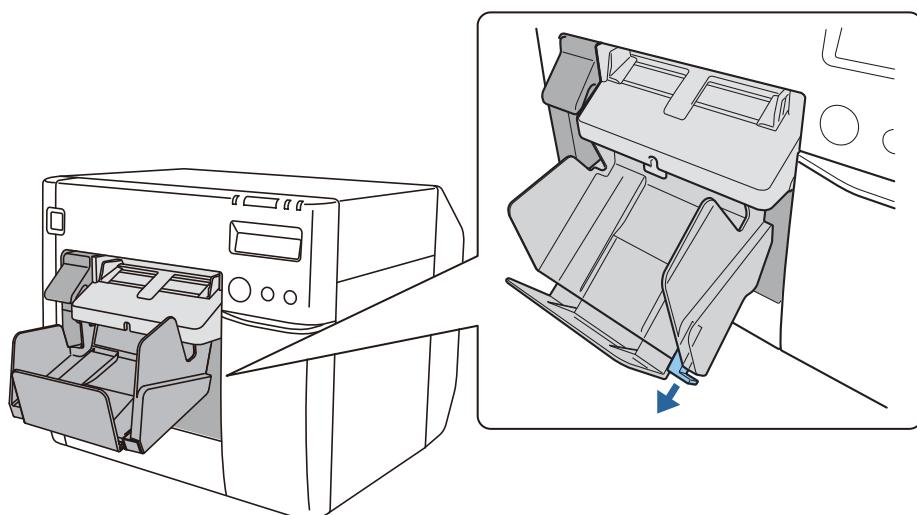
ロール紙の場合、用紙がカールしているため、複数枚印刷すると排紙トレイからあふれることができます。

以下の手順で、排紙トレイを取り付けます。

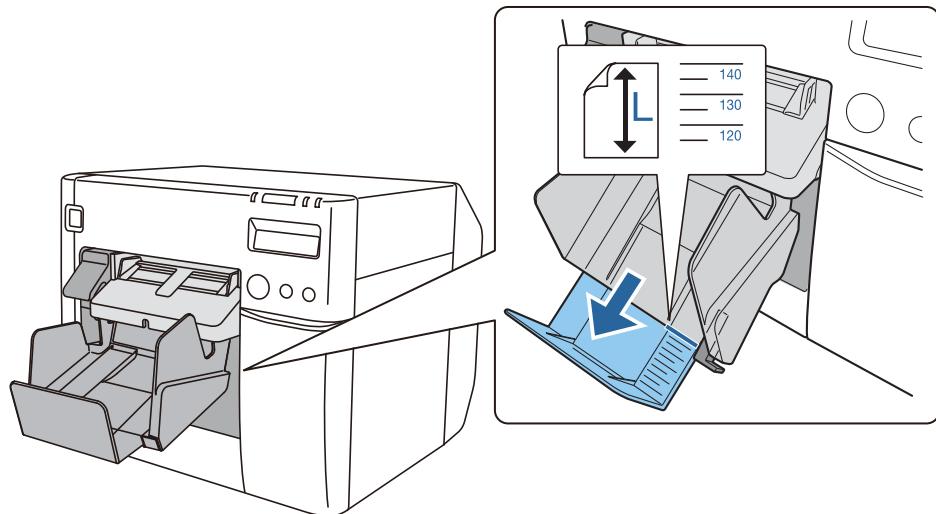
- 1 排紙ガイド下側のフックに、排紙トレイを取り付けます。



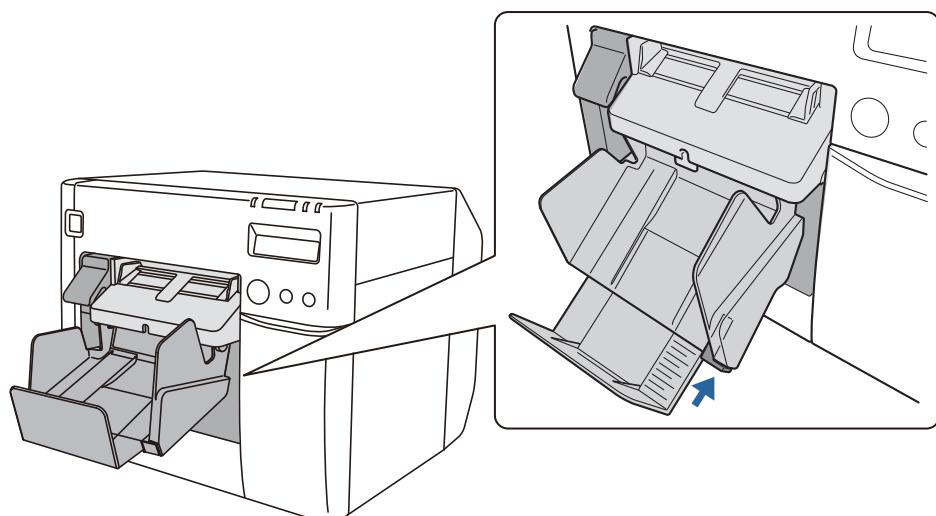
- 2 排紙トレイ右下のレバーを引いて、ロックを解除します。



3 排紙トレイの手前側を引き出し、用紙の長さに合わせます。



4 排紙トレイ右下のレバーを押し込んで、ロックします。



LCD の設定

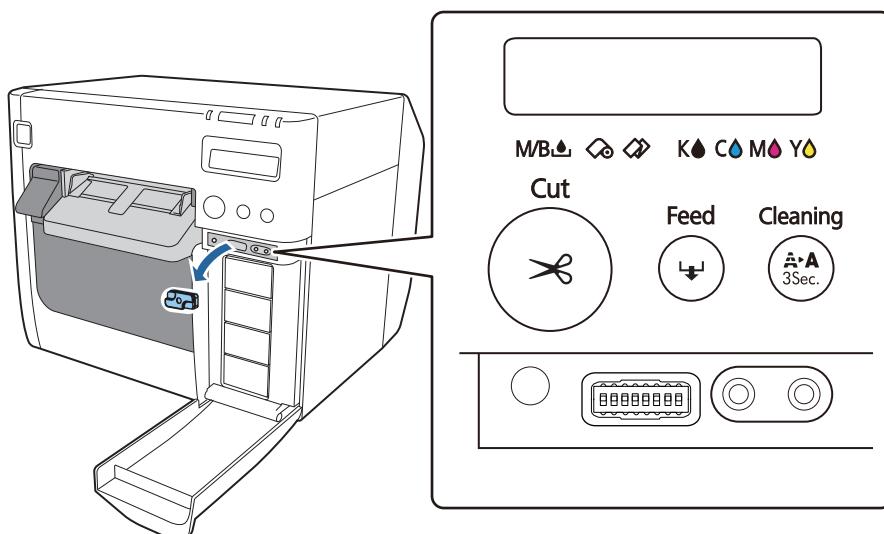
LCD の各種設定を行います。

表示言語

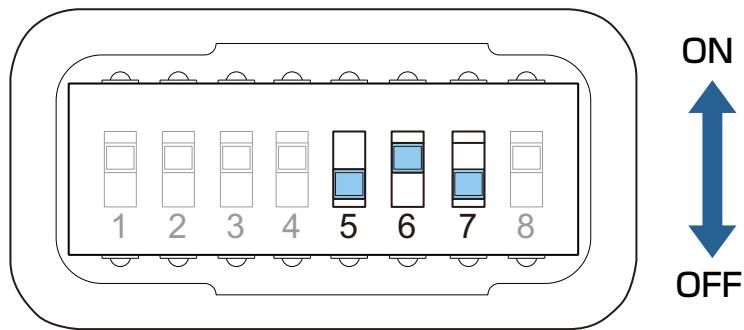
以下の手順で、LCD の表示言語を設定します。

⚠ 注意	ディップスイッチのカバーを取り外すときは、本製品の電源をオフにしてください。 電源がオンの状態で取り外した場合、ショートして本製品が故障するおそれがあります。
-------------	--

- 1** 本製品の電源をオフにします。([42 ページ「電源のオフ」](#))
- 2** インクカートリッジカバーを開き、ディップスイッチのカバーを取り外します。



- 3** 先の細いものを使って、ディップスイッチを操作します。
ディップスイッチは左から順に番号が振られています。上側が ON、下側が OFF の状態です。各言語のディップスイッチの設定は以下の表のとおりです。



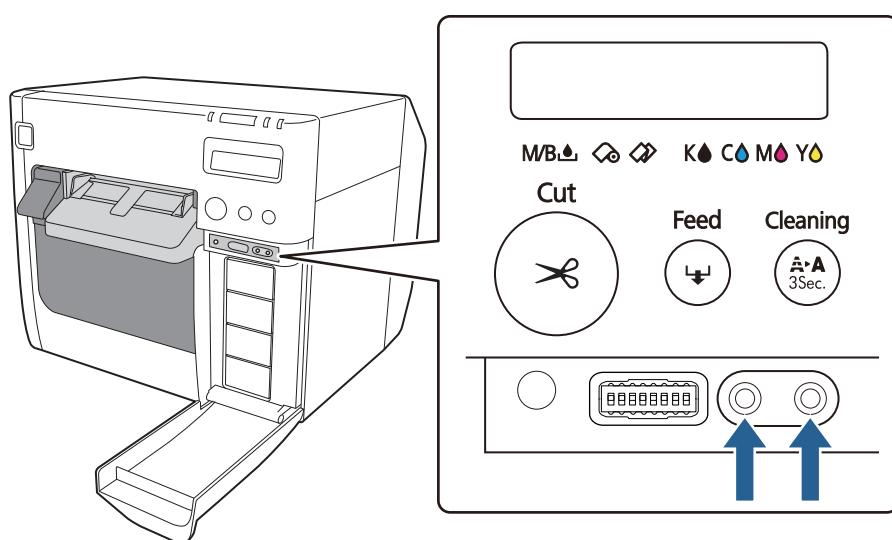
言語設定	スイッチ番号		
	5	6	7
日本語（カナ）	OFF	OFF	OFF
English	OFF	OFF	ON
French	OFF	ON	OFF
Italian	OFF	ON	ON
German	ON	OFF	OFF
Spanish	ON	OFF	ON
Portuguese	ON	ON	OFF
Dutch	ON	ON	ON

- 4** ディップスイッチのカバーを取り付け、インクカートリッジカバーを閉じます。
- 5** 電源をオンにして、表示言語が変更されていることを確認します。

コントラスト調整

以下の手順で、LCD のコントラストを調整します。変更した設定は、電源をオフにしても保持されます。

- 1** 本製品の電源をオンにします。[\(☞41 ページ「電源のオン」\)](#)
- 2** インクカートリッジカバーを開きます。
- 3** LCD コントラスト調整ボタンを押して、コントラストを調整します。
左側のボタンを押すと高くなり、右側のボタンを押すと低くなります。



基本の操作

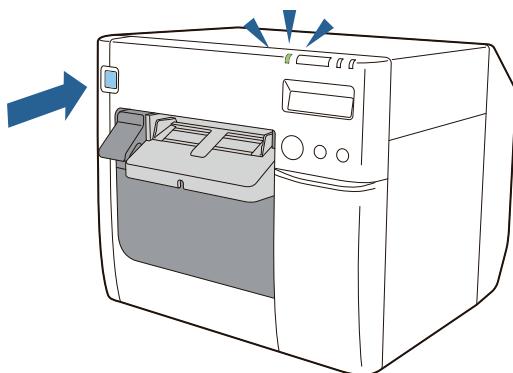
本章では、本製品の基本的な操作方法について説明しています。

電源のオン / オフ

ここでは、本製品の電源をオン / オフにする方法を説明します。

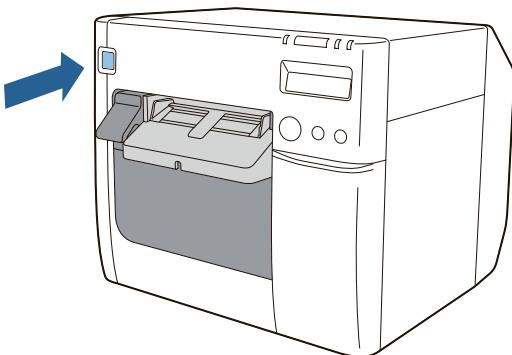
電源のオン

（電源）ボタンを長押し（1秒以上）します。 （電源）LED が点灯して、電源がオンになります。



電源のオフ

① (電源) ボタンを長押し (1 秒以上) します。① (電源) LED が消灯して、電源がオフになります。



警告

- 本製品の電源をオンにしたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。感電・火災のおそれがあります。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ (ふた) をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。



参考

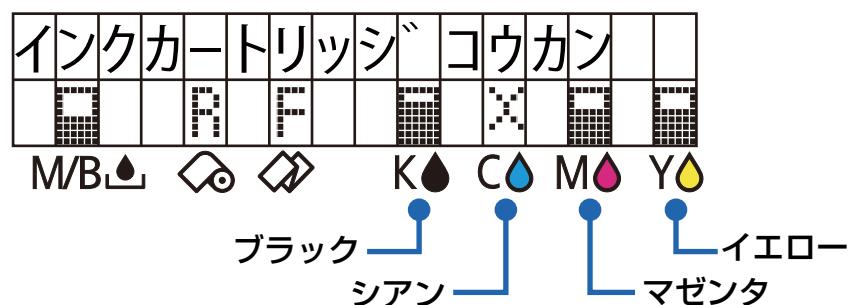
同梱のパワースイッチカバーを取り付けると、パワースイッチの誤操作を防止できます。(☞『開発者ガイド』)

インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法を説明します。

インク残量の確認

インク LED が点灯し、LCD にインクカートリッジコウカンと表示されたら、インクカートリッジの交換時期です。また、どのインクカートリッジが該当するかは LCD で確認できます。(☞ 66 ページ「消耗品の交換時期」)



インクカートリッジの交換手順

34 ページ「インクカートリッジのセット」を参照してください。

同様の手順で交換できます。使用済みのインクカートリッジは、ゆっくり押し込んでロックを解除した後、手前に引き抜いて取り外してください。

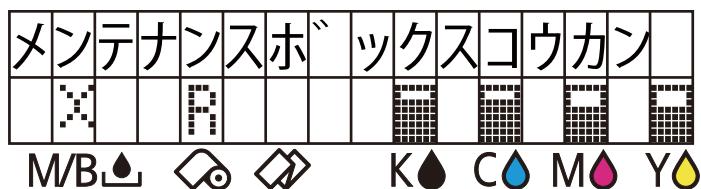
インクカートリッジの型番は、186 ページ「インクカートリッジ」を参照してください。

メンテナンスボックスの交換

ここでは、メンテナンスボックスの交換方法を説明します。

メンテナンスボックスの空き容量の確認

インク LED が点灯し、LCD にメンテナンスボックスコウカンと表示されたらメンテナンスボックスの交換時期です。（☞ 66 ページ「消耗品の交換時期」）

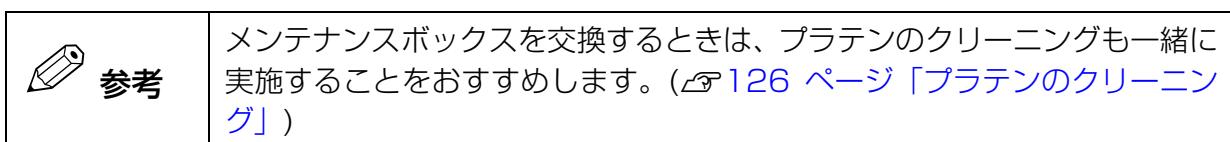
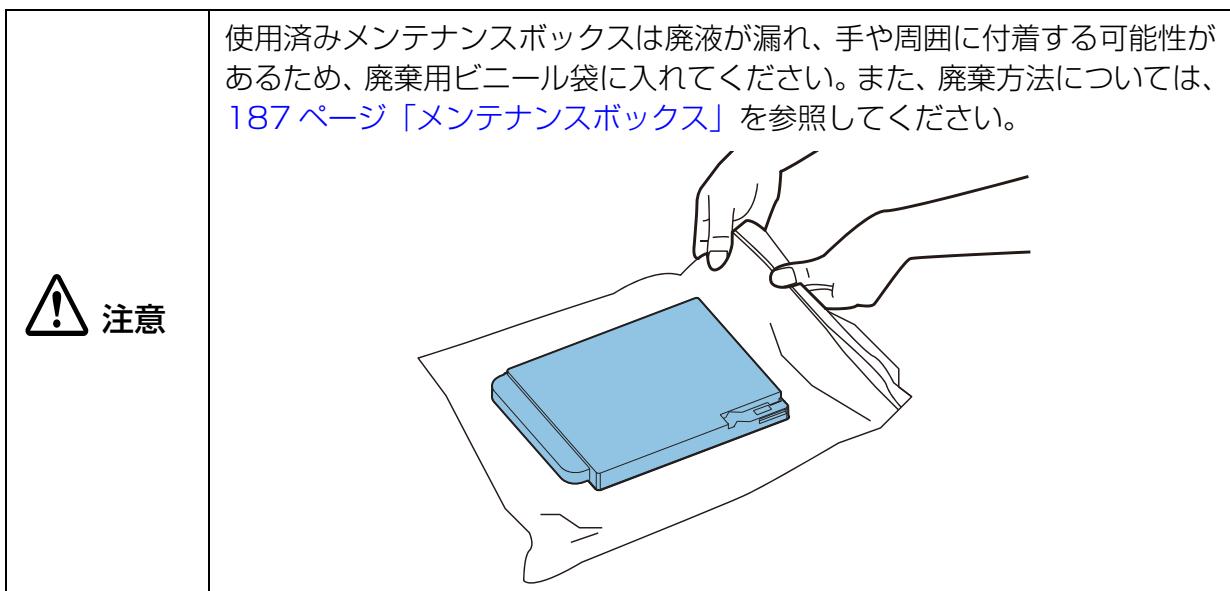


メンテナンスボックスの交換手順

32 ページ「メンテナンスボックスのセット」を参照してください。

同様の手順で交換できます。使用済みのメンテナンスボックスは、手前に引き抜いて取り外してください。

メンテナンスボックスの型番は、187 ページ「メンテナンスボックス」を参照してください。



ロール紙のセット・交換

ここでは、ロール紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、次のように、交換前後の用紙のサイズと形状（ロール紙 / ファンフォールド紙）によって異なります。



重要

用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前にプリンタードライバーの用紙設定を変更してください。（[71 ページ「プリンタードライバーの使い方」](#)）

交換手順一覧

はじめてロール紙をセットするとき、または幅の違うロール紙に交換するとき



ファンフォールド紙からロール紙に変更するとき



ロール紙を使い終わって、新しいロール紙に交換するとき

- | | | | |
|----|----|---|--|
| 1 | 1 | 1 | 製品の電源をオンにする（ 46 ページ ） |
| 2 | 2 | 2 | PrinterSetting を起動し、給紙装置の設定をする（ 46 ページ ） |
| 3 | 3 | 2 | ロール紙カバーを開ける（ 47 ページ ） |
| 4 | 4 | | 紙送りガイドを取り除く（ 47 ページ ） |
| 5 | 5 | | ロール紙ガイドのロックを解除する（ 48 ページ ） |
| 6 | 6 | | ロール紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する（ 48 ページ ） |
| 7 | 7 | 3 | ロール紙をセットする（ 49 ページ ） |
| 8 | 8 | | ロール紙ガイドをロックする（ 49 ページ ） |
| 9 | 9 | | プラテンシャッターを用紙幅に合わせて調整する（ 50 ページ ） |
| 10 | 10 | | 排紙ガイドのロックを解除する（ 50 ページ ） |
| 11 | 11 | 4 | ロール紙の先端を引き出す（ 51 ページ ） |
| 12 | 12 | | 排紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する（ 51 ページ ） |
| 13 | 13 | | 排紙ガイドをロックする（ 52 ページ ） |
| 14 | 14 | | ロール紙カバーを閉める（ 52 ページ ） |
| 15 | 15 | | LCD を確認する（ 53 ページ ） |

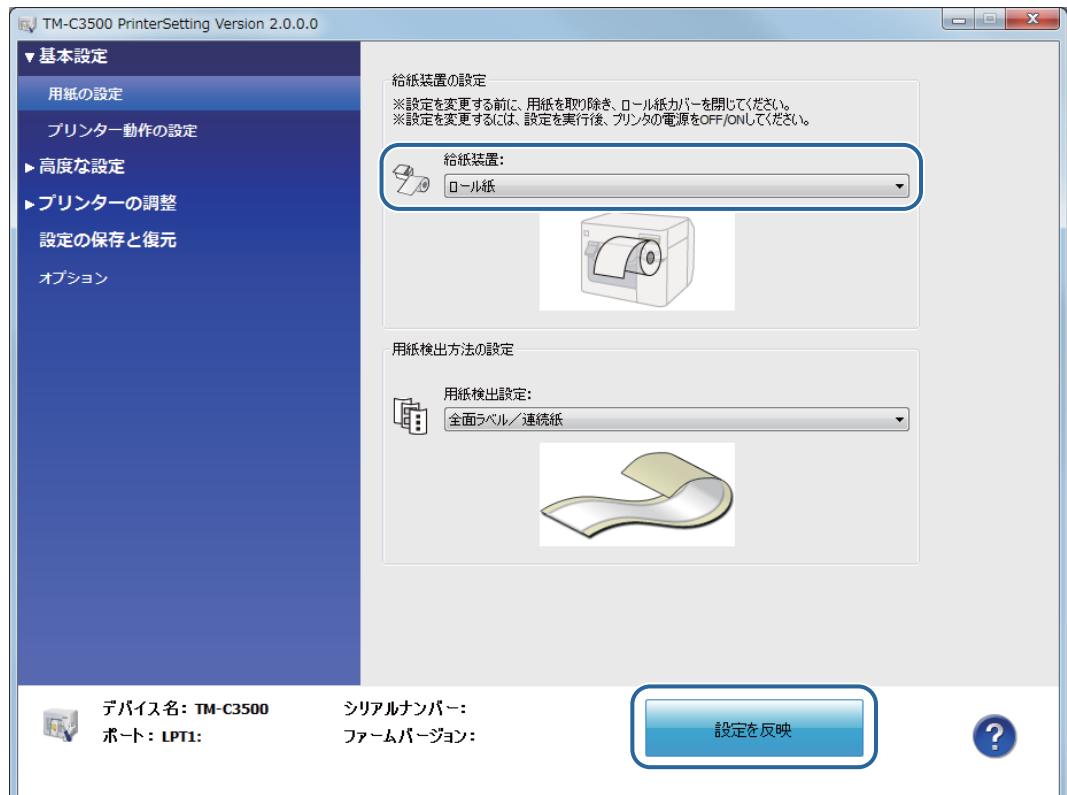
ロール紙のセット・交換手順



- 1 1 製品の電源をオンにする
本製品の電源がオンになっていることを確認します。（☞41 ページ「電源のオン」）

2 PrinterSetting を起動し、給紙装置の設定をする

コンピューターから PrinterSetting を起動し、給紙装置設定を**ロール紙**に設定します。設定を変更した後は、**設定を反映**をクリックし本製品を再起動してください。（☞106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」）





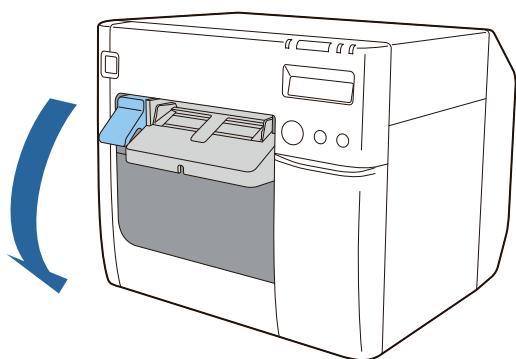
3

3

2

ロール紙カバーを開ける

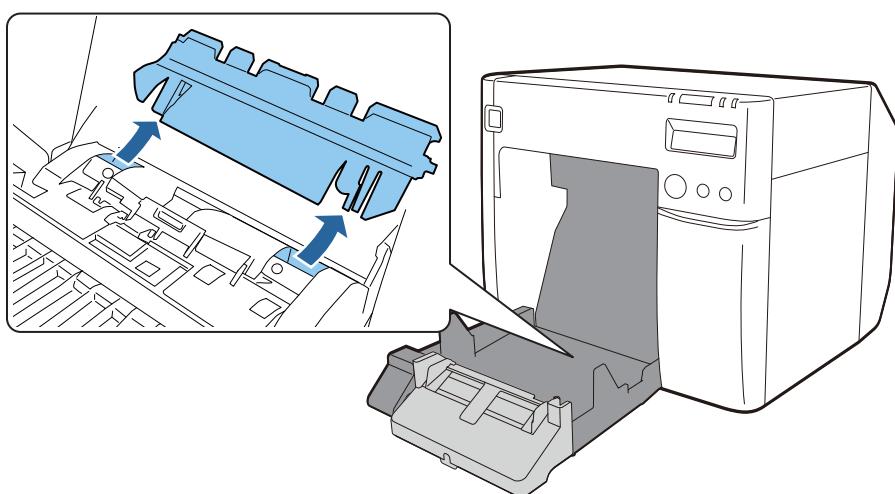
リリースレバーを手前に引いて、ロール紙カバーを開けます。
プリンター内部に使用済のロール紙や芯が残っている場合は、取り除いてください。



4

紙送りガイドを取り除く

紙送りガイドを引き抜いて取り除きます。





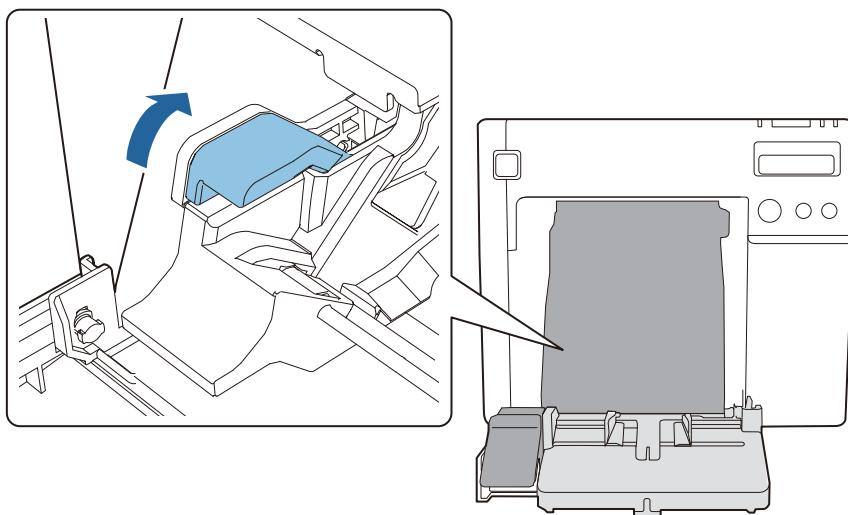
4

5

6

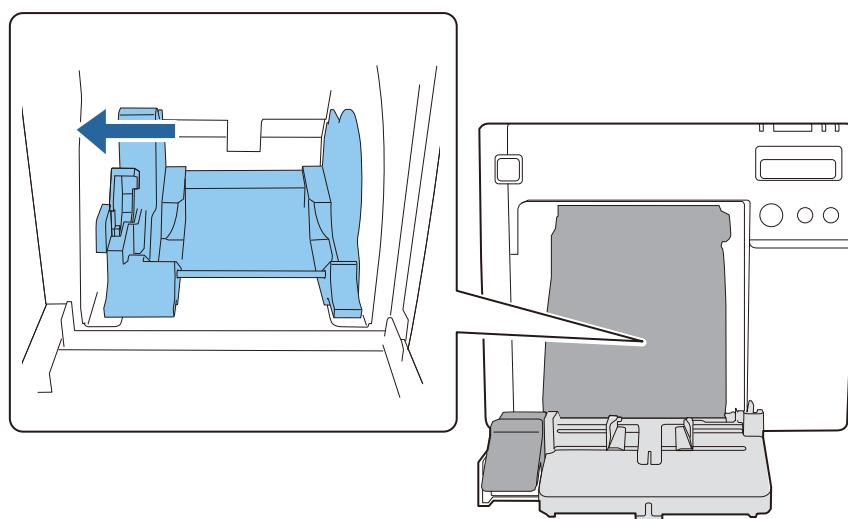
ロール紙ガイドのロックを解除する

ロール紙ガイドのロックレバーを引き上げます。



ロール紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する

ロール紙ガイドを手で広げます。





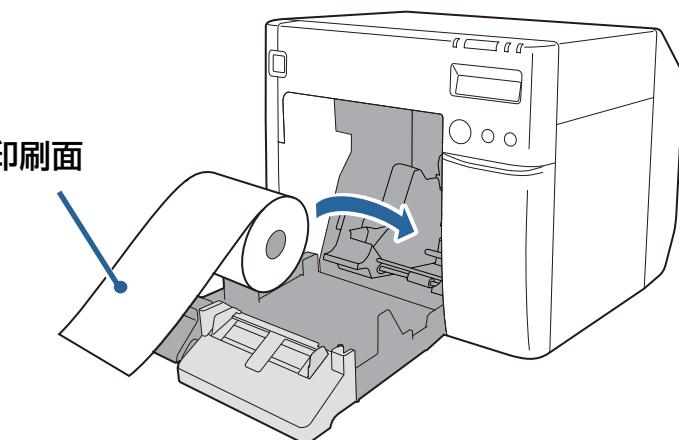
6

7

3

ロール紙をセットする

ロール紙ガイドの間にロール紙を入れ込みます。

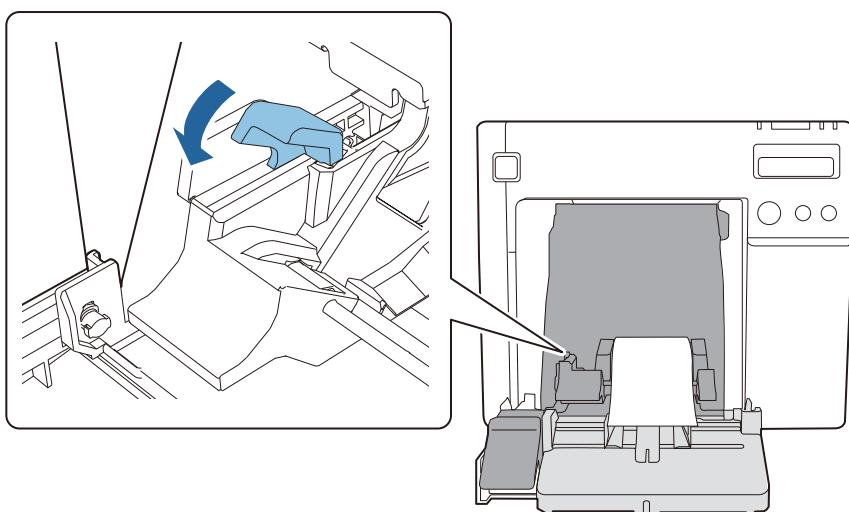


7

8

ロール紙ガイドをロックする

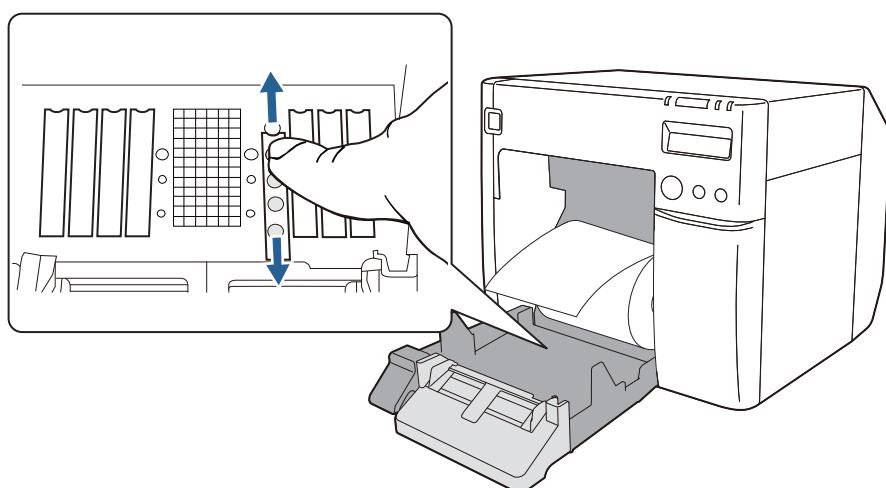
ロール紙カバーのロックレバーを押し下げます。



- 8
- 9
- 10

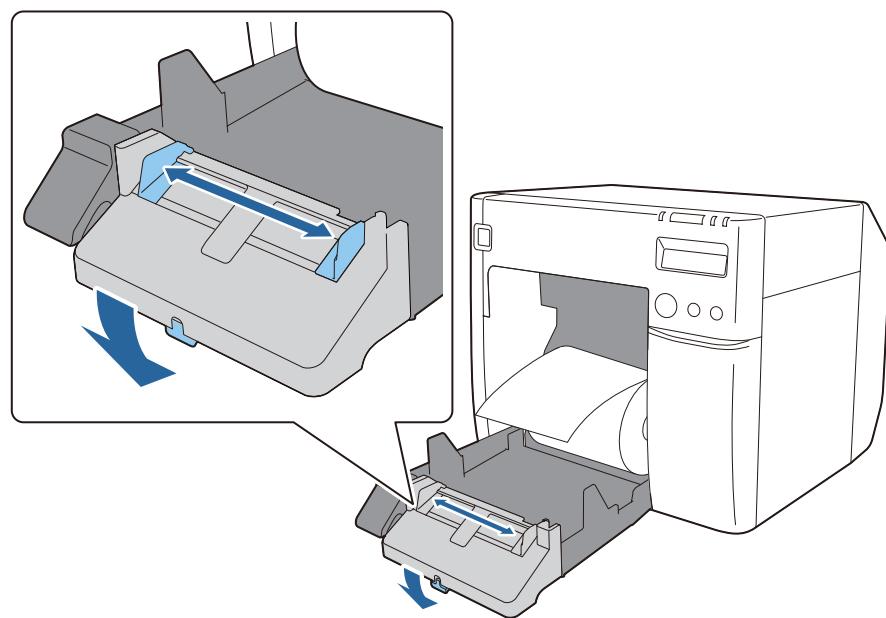
プラテンシャッターを用紙幅に合わせて調整する

プラテン上のシャッターを用紙幅に合わせて開閉します。(☞64ページ「シャッターの調整」)



排紙ガイドのロックを解除する

排紙ガイドのロックレバーを押し下げ、排紙ガイドを広げます。

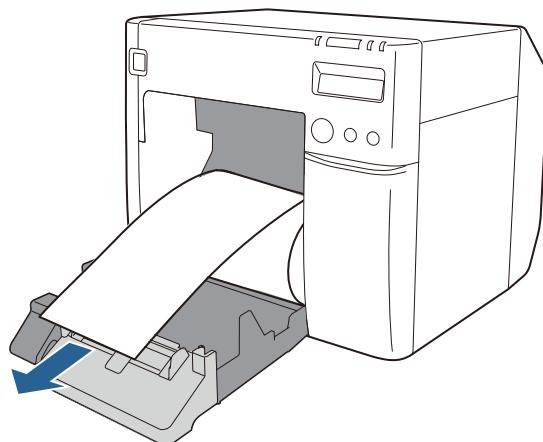




10 11 4

ロール紙の先端を引き出す

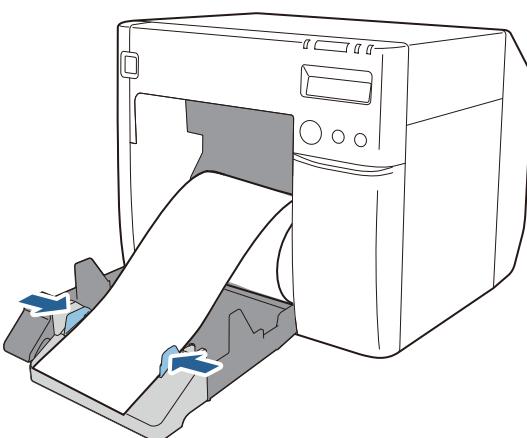
印刷面が上を向くようにロール紙を引き出します。



11 12

排紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する

排紙ガイドを内側に移動し、引き出した用紙の幅にぴったり合わせます。

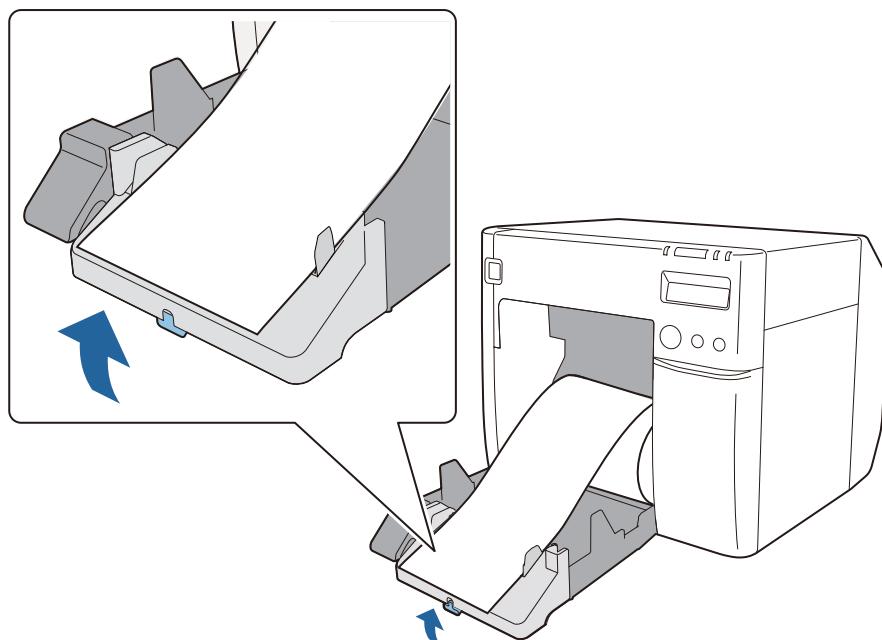




12 13

排紙ガイドをロックする

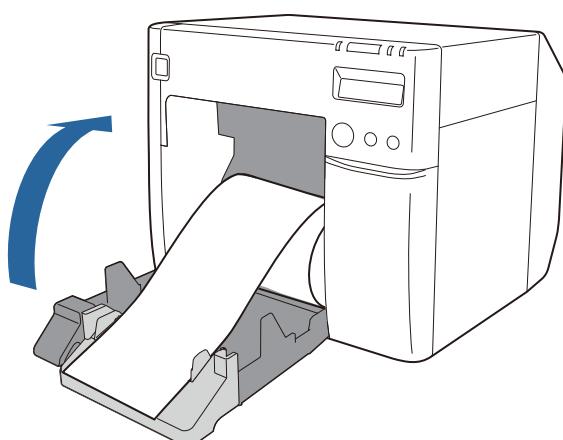
排紙ガイドのロックレバーを、カチッと音がするまで手前に引き上げます。

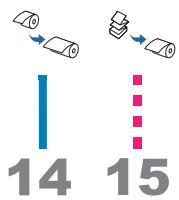


13 14 5

ロール紙カバーを閉める

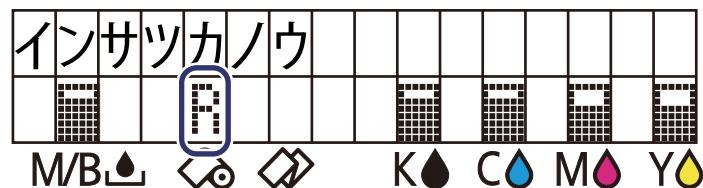
用紙を引き出したまま、ロール紙カバーを閉じます。





LCD を確認する

製品の LCD の表示が R と表示されていることを確認します。
表示が確認できない場合は、用紙をセットし直すか、PrinterSetting の設定をや
り直してください。



以上で、ロール紙のセットは終了です。

ファンフォールド紙のセット・交換

ここでは、ファンフォールド紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、次のように、交換前後の用紙のサイズと形状（ロール紙 / ファンフォールド紙）によって異なります。



重要

用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前にプリンタードライバーの用紙設定を変更してください。（[71 ページ「プリンタードライバーの使い方」](#)）

交換手順一覧



はじめてファンロール紙をセットするとき、ロール紙からファンフォールド紙に交換するとき



幅の違うファンフォールド紙に変更するとき



ファンフォールド紙を使い終わって、新しいファンフォールド紙に交換するとき

- | | | | |
|----|----|----|--|
| 1 | 1 | 1 | 製品の電源をオンにする（ 55 ページ ） |
| 2 | 2 | 2 | PrinterSetting を起動し、給紙装置の設定をする（ 55 ページ ） |
| 3 | 3 | 3 | ロール紙カバーを開ける（ 56 ページ ） |
| 4 | 4 | 4 | 紙送りガイドを取りつける（ 56 ページ ） |
| 5 | 5 | 5 | プラテンシャッターを用紙幅に合わせて調整する（ 57 ページ ） |
| 6 | 6 | 6 | 排紙ガイドのロックを解除する（ 57 ページ ） |
| 7 | 7 | 7 | 排紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する（ 58 ページ ） |
| 8 | 8 | 8 | 排紙ガイドをロックする（ 58 ページ ） |
| 9 | 9 | 9 | ロール紙カバーを閉める（ 59 ページ ） |
| 10 | 10 | 10 | ファンフォールド紙カバーを開ける（ 59 ページ ） |
| 11 | 11 | 11 | ファンフォールド紙ガイドのロックを解除する（ 60 ページ ） |
| 12 | 12 | 12 | ファンフォールド紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する（ 60 ページ ） |
| 13 | 13 | 13 | ファンフォールド紙ガイドをロックする（ 61 ページ ） |
| 14 | 14 | 14 | 用紙先端を挿入する（ 61 ページ ） |
| 15 | 15 | 15 | ファンフォールド紙カバーを閉める（ 62 ページ ） |
| 16 | 16 | 16 | ファンフォールド紙をプリンター背面にセットする（ 62 ページ ） |
| 17 | 17 | 17 | LCD を確認する（ 63 ページ ） |

ファンフォールド紙のセット・交換手順



- 1 1 製品の電源をオンにする
本製品の電源がオンになっていることを確認します。(☞41 ページ「電源のオン」)

- 2 PrinterSetting を起動し、給紙装置の設定をする
コンピューターから PrinterSetting を起動し、給紙装置設定をファンフォールド紙に設定します。設定を変更した後は、**設定を反映**をクリックし本製品を再起動してください。(☞106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)





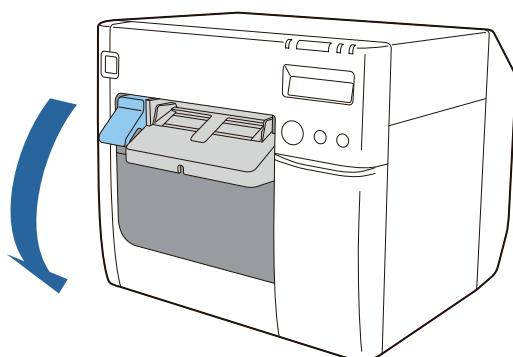
3

2

2

ロール紙カバーを開ける

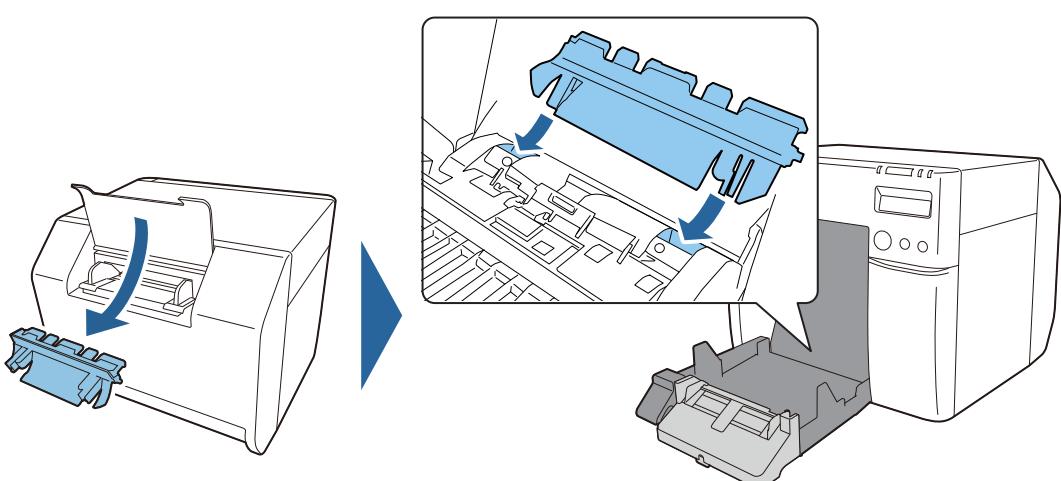
リリースレバーを手前に引いて、ロール紙カバーを開けます。
プリンター内部に用紙が残っている場合は、取り除いてください。紙詰まりの原因となります。



4

紙送りガイドを取りつける

ファンフォールド紙カバーをあけ、紙送りガイドを取り出します。
紙送りガイドをロール紙カバー内側の溝に差し込みます。



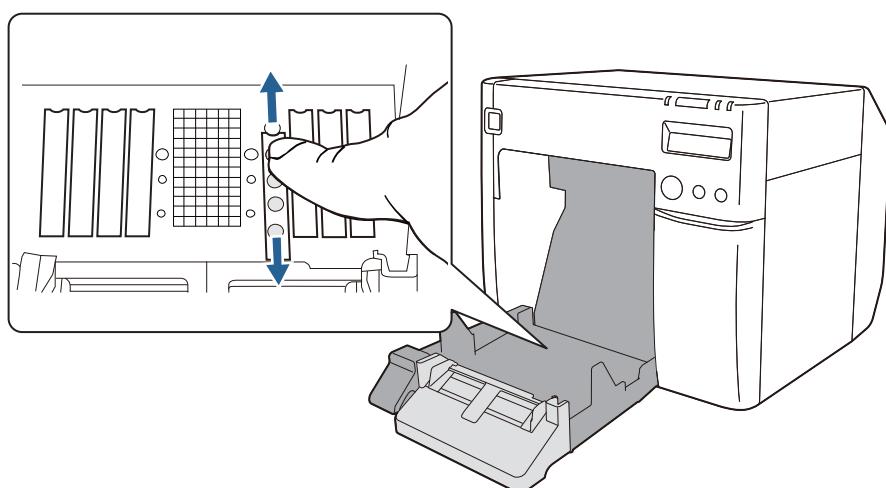


5

3

プラテンシャッターを用紙幅に合わせて調整する

プラテン上のシャッターを用紙幅に合わせて開閉します。(☞64ページ「シャッターの調整」)

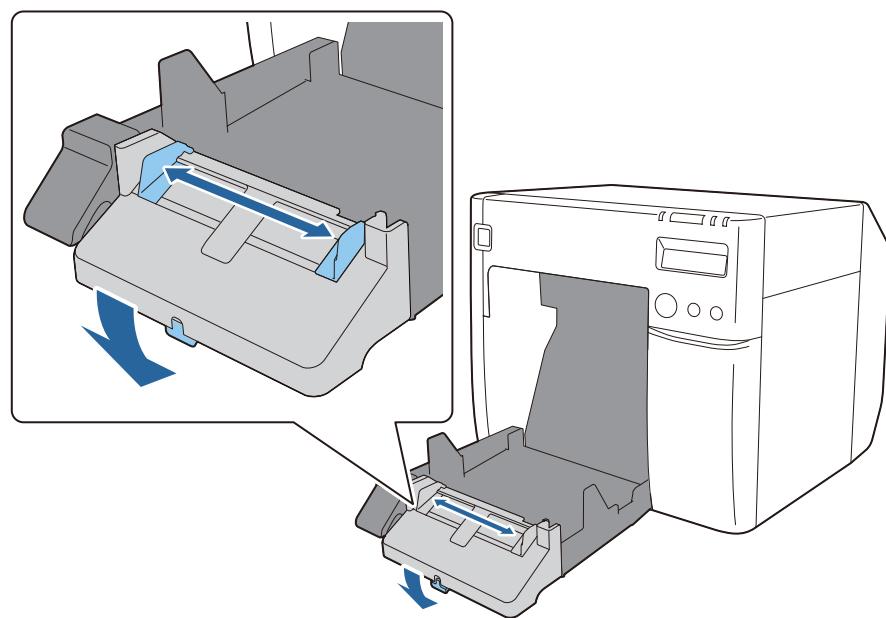


6

4

排紙ガイドのロックを解除する

排紙ガイドのロックレバーを押し下げ、排紙ガイドを広げます。



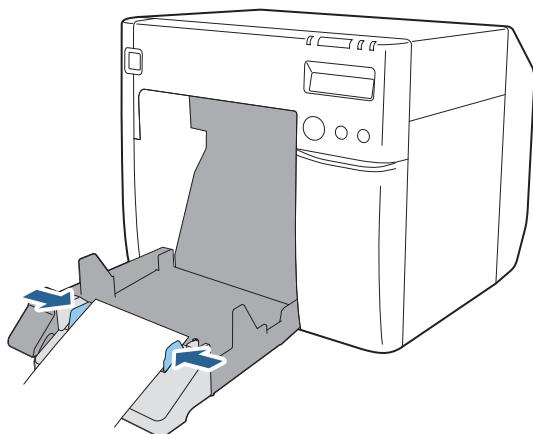


7

5

排紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する

排紙ガイドを内側に移動し、用紙の幅にぴったり合わせます。

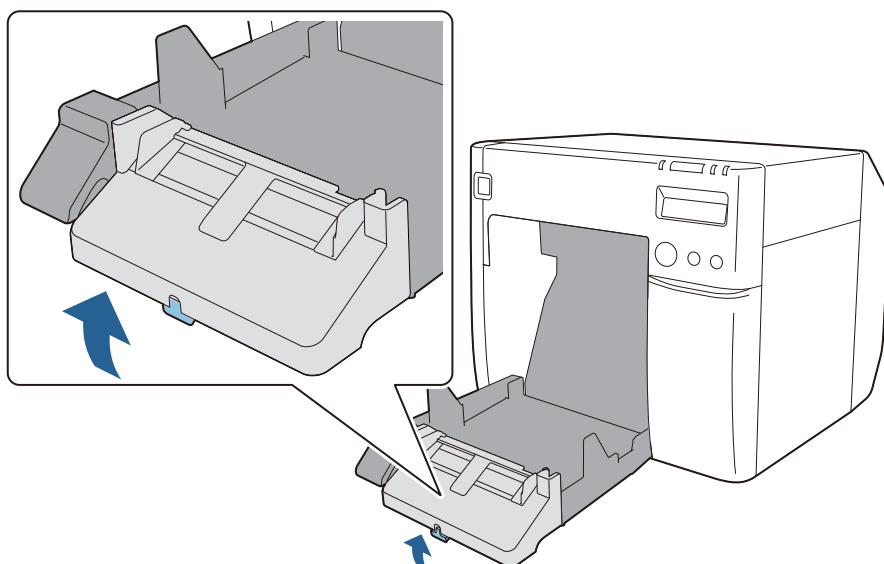


8

6

排紙ガイドをロックする

排紙ガイドのロックレバーを、カチッと音がするまで手前に引き上げます。



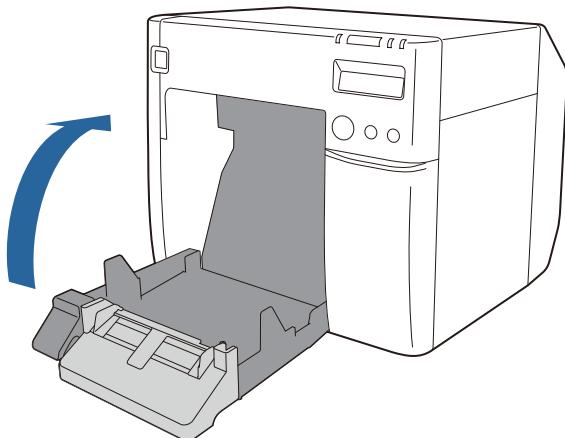


9

7

3

ロール紙カバーを閉める

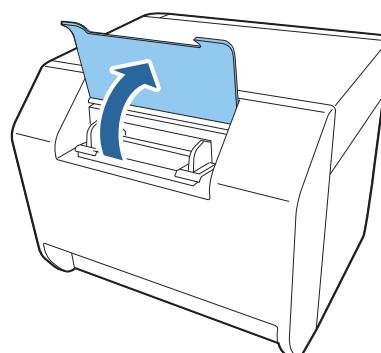


10

8

4

ファンフォールド紙カバーを開ける



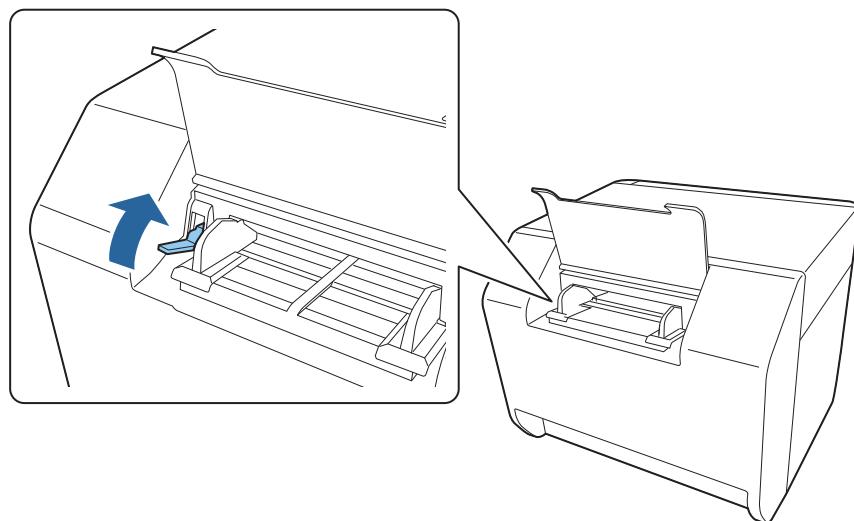


11

9

ファンフォールド紙ガイドのロックを解除する

ファンフォールド紙ガイドのロックレバーを引き上げます。

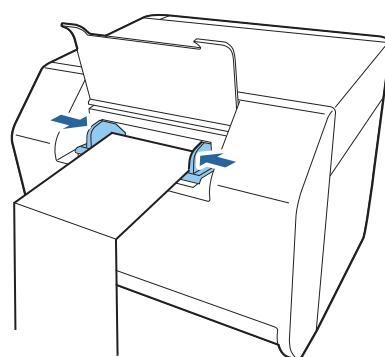


12

10

ファンフォールド紙ガイドを用紙幅に合わせて調整する

ファンフォールド紙ガイドを内側に移動し、用紙の幅にぴったり合わせます。

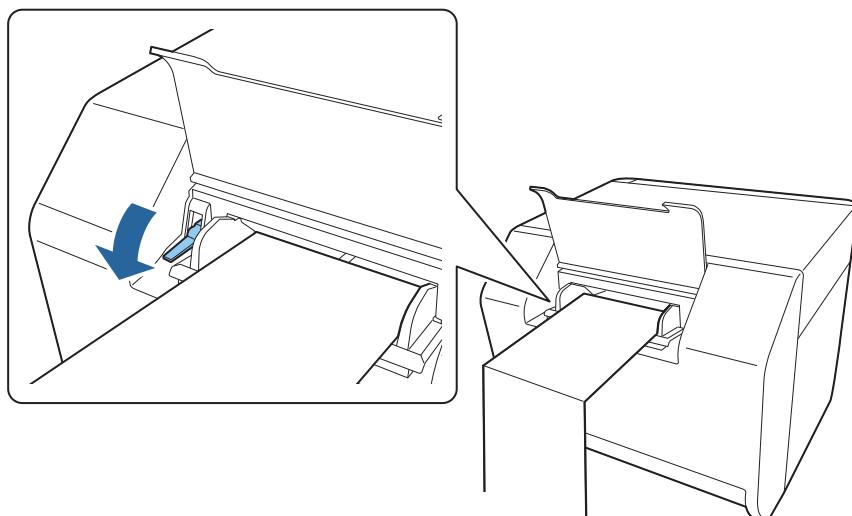




13 11

ファンフォールド紙ガイドをロックする

ファンフォールド紙ガイドのロックレバーを押し下げます。

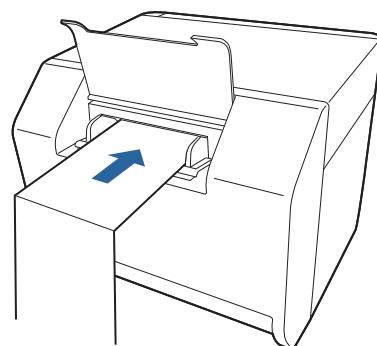


14 12 5

用紙先端を挿入する

印刷面を上にして、用紙の先端を挿入します。100 mm 程度挿入すると、自動的にプリンター内部に用紙が送られます。

このとき本体前面のロール紙カバーが閉じていることを確認してください。ロール紙カバーが開いていると、紙詰まりの原因となります。

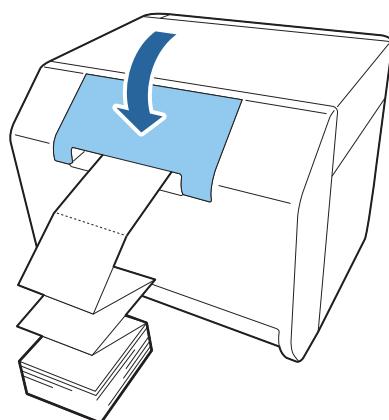




15 13 6

ファンフォールド紙カバーを閉める

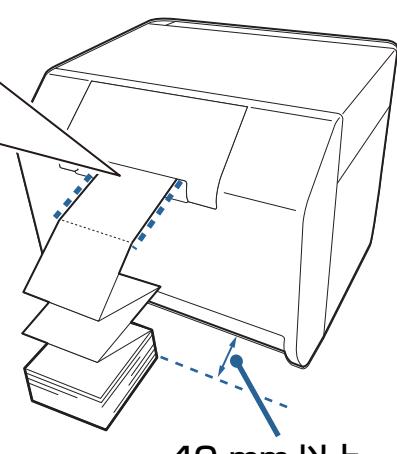
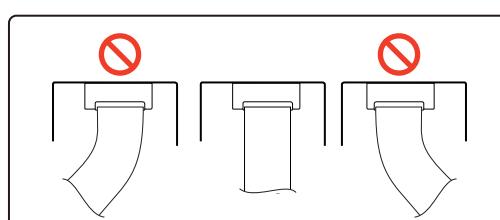
ファンフォールド紙カバーを閉じます。液体やホコリがプリンター内部に侵入するのを防ぎます。



16 14 7

ファンフォールド紙をプリンター背面にセットする

ファンフォールド紙は、プリンター背面から 40 mm 以上離して置きます。また、用紙が給紙口に対して垂直であることを確認します。

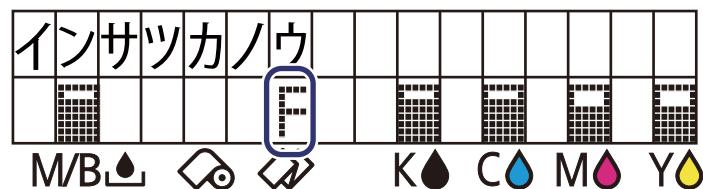


40 mm 以上

17 15

LCD を確認する

製品の LCD の表示が F と表示されていることを確認します。
表示が確認できない場合は、用紙をセットし直すか、PrinterSetting の設定をや
り直してください。

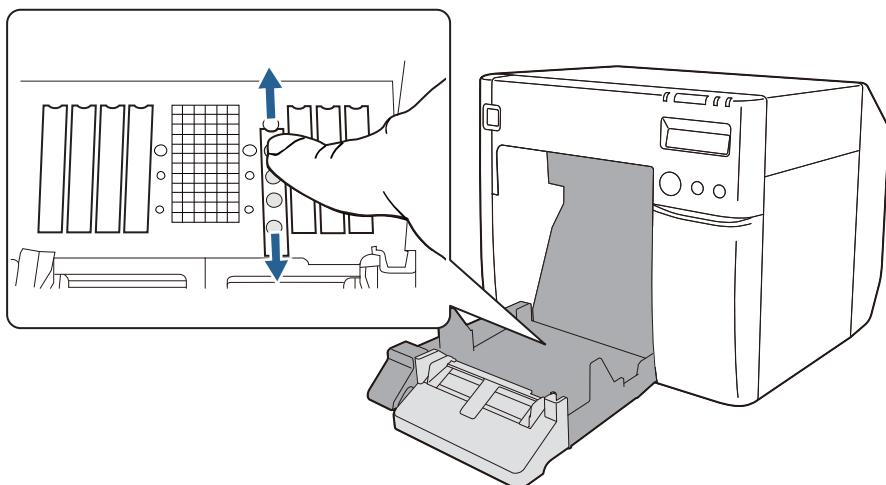


以上で、ファンフォールド紙のセットは終了です。

シャッターの調整

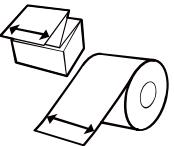
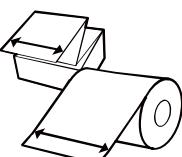
ロール紙カバーの内側には、印刷時に用紙吸引を調整するためのシャッターがあります。

お使いの用紙幅に合わせて、シャッターを正しく開閉する必要があります。シャッターは指で動かして開閉することができます。また、用紙幅は本体天面のラベルで確認することもできます。



シャッターが正しく開閉されていない場合、用紙詰まり、用紙汚れが発生する場合があります。

用紙幅、台紙幅	シャッターの状態
30 mm 以上 62 mm 未満	すべてのシャッターを閉じる
62 mm 以上 79 mm 未満	内側のシャッターのみ開ける
79 mm 以上 97 mm 未満	内側 2 列のシャッターのみ開ける

用紙幅、台紙幅	シャッターの状態
97 mm 以上 112 mm 未満	内側 3 列のシャッターのみ開ける 
112 mm	すべてのシャッターを開ける 

プリンターの状態を確認する

LED の点灯 / 点滅と LCD 表示の組み合わせによって、プリンターの状態を確認できます。

また、セルフテスト印刷によって、プリンターの各種設定状態やノズルチェックパターンを確認できます。

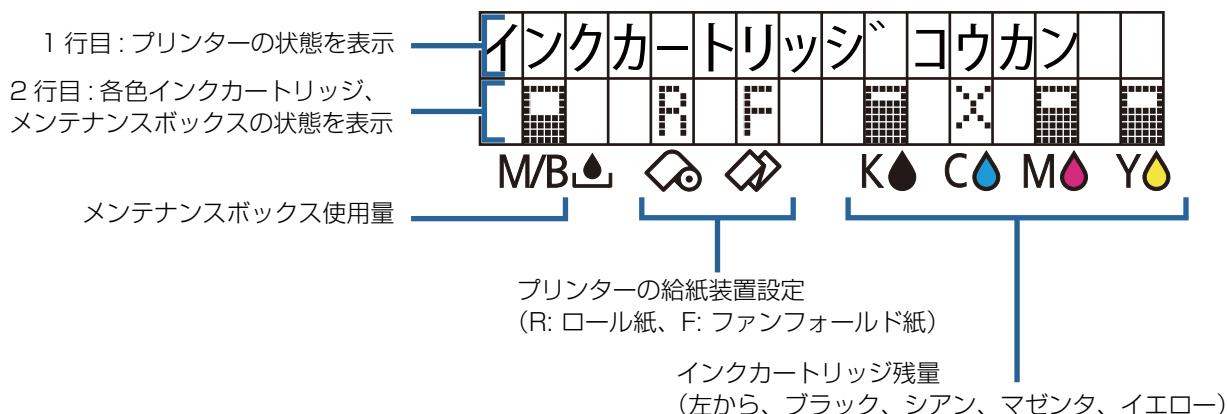


参考

LCD の言語はディップスイッチで切り替えることができます。(☞38 ページ「表示言語」)

消耗品の交換時期

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態は LCD で確認できます。



アイコン表示	LCD 表示	状態
	インサツカカノウ	インクの残量は十分です。
		メンテナンスボックスの空き容量は十分です。
	インクコウカンマヂカ	インクの残量が少なくなり、インクカートリッジの交換時期が近づいています。新しいカートリッジを準備してください。
	メンテナンスボックスコウカンマヂカ	メンテナンスボックスの空き容量が少なくなり、メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。新しいメンテナンスボックスを準備してください。

X	インクカートリッジコウカン	インクの残量がなくなり、インクカートリッジの交換が必要です。新しいカートリッジがセットされるまで印刷できません。
	メンテナンスボックスコウカン	メンテナンスボックスの空き容量がなくなり、メンテナンスボックスの交換が必要です。新しいメンテナンスボックスがセットされるまで印刷できません。
B	インクカートリッジナシ	インクカートリッジがセットされていません。セットしてください。
	メンテナンスボックスナシ	メンテナンスボックスがセットされていません。セットしてください。

ステータスとエラー

LED の点滅 / 点灯と LCD 表示の組み合わせで、本製品のステータスを確認できます。

エラーの解決方法については、[132 ページ「操作パネルにメッセージが表示された」](#) を参照してください。

■/■ : 点灯 ■/■ : 点滅 □ : 消灯 — : 変化なし ## : エラーコード

LED				LCD 表示	プリンター状態
① Power	Status	Paper	Ink		
■	■	—	—	インサツカノウ	印刷可能状態
■	■	—	—	キドウチュウ	起動中
■ (高速)	■	—	—	パワーオフチュウ	電源をオフにする 処理中
■	■	—	—	インサツチュウ	印刷中
■	■	—	—	インクジュウテンチュウ	インク充てん中
■	■	—	—	ドウサチュウ	動作中
■	■	—	—	ヘッドメンテナンスチュウ	プリントヘッドメン テナンス中
—	■	■	—	ヨウシケイタイエラー	用紙形態エラー
—	■	■	—	ヨウシサイズエラー	用紙サイズエラー
—	■	■	—	ヨウシヅマリエラー##	用紙詰まりエラー
—	■	■	—	ヨウシジョキヨエラー	用紙除去エラー

LED				LCD 表示	プリンター状態
① Power	Status	Paper	Ink		
—	—		—	ヨウシナシ	用紙無し
—			—	ヨウシナシエラー	用紙無しエラー
—			—	ロール紙カバーオープン	ロール紙カバー オープン
—		—		インクカバーオープン	インクカートリッジ カバーオープン
—		—		インクカートリッジナシ	インクカートリッジ 無し
—		—		インクカートリッジエラー	インクカートリッジ 読み取りエラー
—		—		メンテナンスカバーオープン	メンテナンスボック スカバーオープン
—		—		メンテナンスボックスナシ	メンテナンスボック ス無し
—		—		メンテナンスボックスエラー	メンテナンスボック ス読み取りエラー
—	—	—		インクコウカンマヂカ	インクカートリッジ 交換間近
—		—		インクカートリッジコウカン	インクカートリッジ 交換要
—	—	—		メンテナンスボックスコウカン マヂカ	メンテナンスボック ス交換間近
—		—		メンテナンスボックスコウカン	メンテナンスボック ス交換要
—	—	—	—	ノズルレヅマリアリ	プリントヘッドノズ ル詰まりあり
—	—	—	—	カットドウサフカジョウタイ	用紙カット不可状態
—	—	—	—	サービスコールマヂカ##	サービス期間近
				プリンターエラー##	プリンターエラー
				サービスコール##	サービス要求
				アップデートチュウ	ファームウェア アップデート中
				アップデートチュウ	ファームウェア アップデート完了
				アップデートチュウ	ファームウェア アップデート失敗

セルフテスト印刷

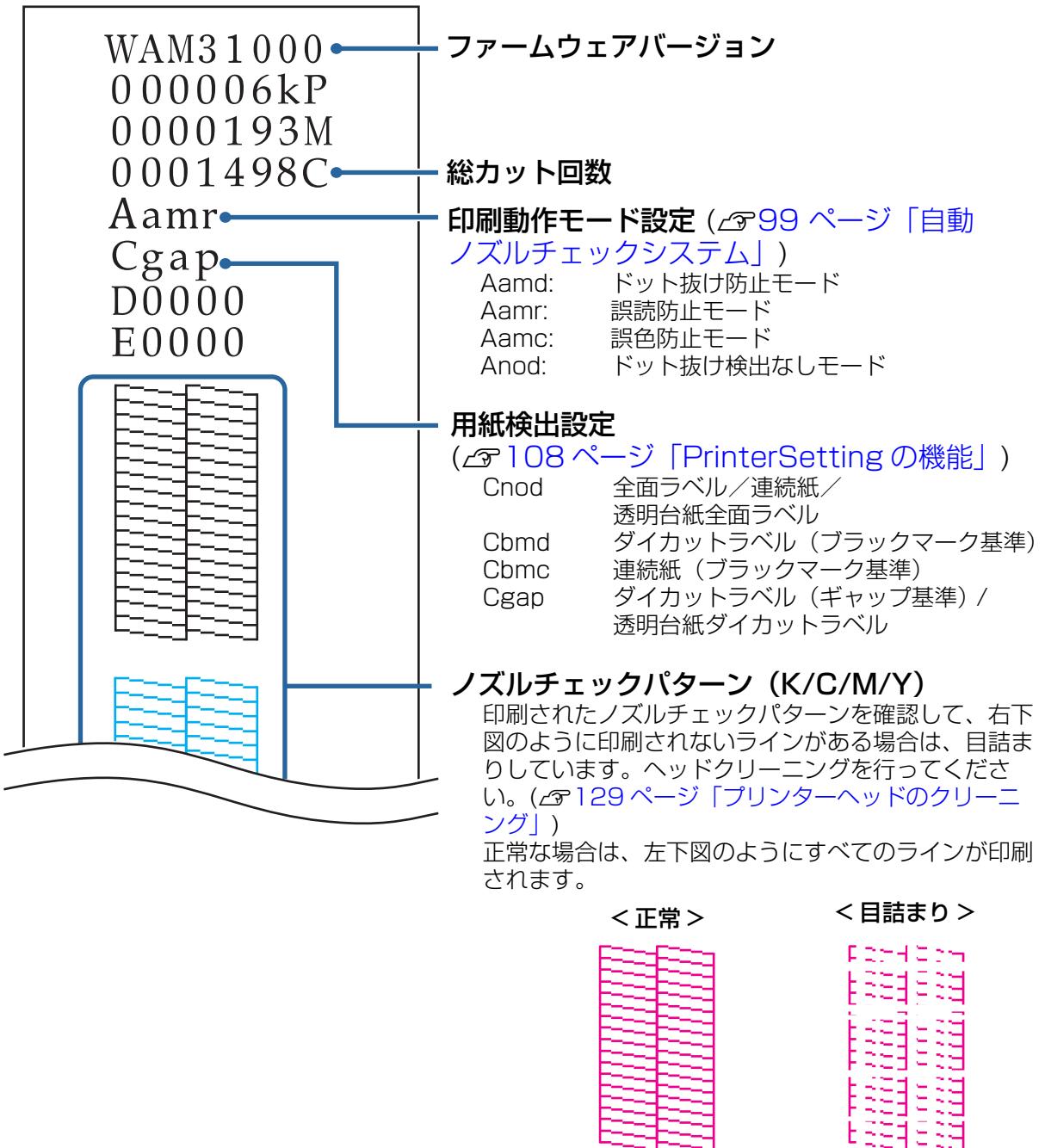
セルフテスト印刷することで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態や、ドット抜けなどの印字不良が発生していないかを確認できます。

 重要	プリンタードライバーの用紙設定に関わらず、セットされている用紙に印刷します。ダイカットラベルの場合、台紙に印刷し手が汚れる可能性があります。連続紙、全面ラベルを使用することをおすすめします。
---	---

セルフテスト印刷の方法は以下のとおりです。

- 1 連続紙、または全面ラベルをセットします。
(☞45 ページ「ロール紙のセット・交換」)

- 2** Feed ボタンを押しながら  (電源) ボタンを押します。① (電源) LED が点滅を始めるまで  (電源) ボタンを離さないでください。
- セルフテスト印刷が始まります。印刷される項目は以下のとおりです。



プリンタードライバーの使い方

本章では、プリンタードライバーの操作方法について説明しています。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンターを制御するソフトウェアです。プリンタードライバーの画面で印刷設定すると、最適な印刷結果が得られます。また、ユーティリティーを使うとプリンターの状態の確認やメンテナンスもできます。

プリンタードライバーの表示方法

アプリケーションから表示する

使用中のアプリケーションだけに設定を反映させたいときは、アプリケーションソフトから表示します。

- 1 アプリケーションのファイルメニューの**印刷**または**印刷設定**をクリックします。
- 2 プリンターで**EPSON TM-C3500**を選択します。
- 3 プロパティまたは**詳細設定**をクリックします。
プリンタードライバーが表示されます。

コントロールパネルから表示する

すべてのアプリケーションソフトに設定を反映させたいときは、コントロールパネルから表示します。

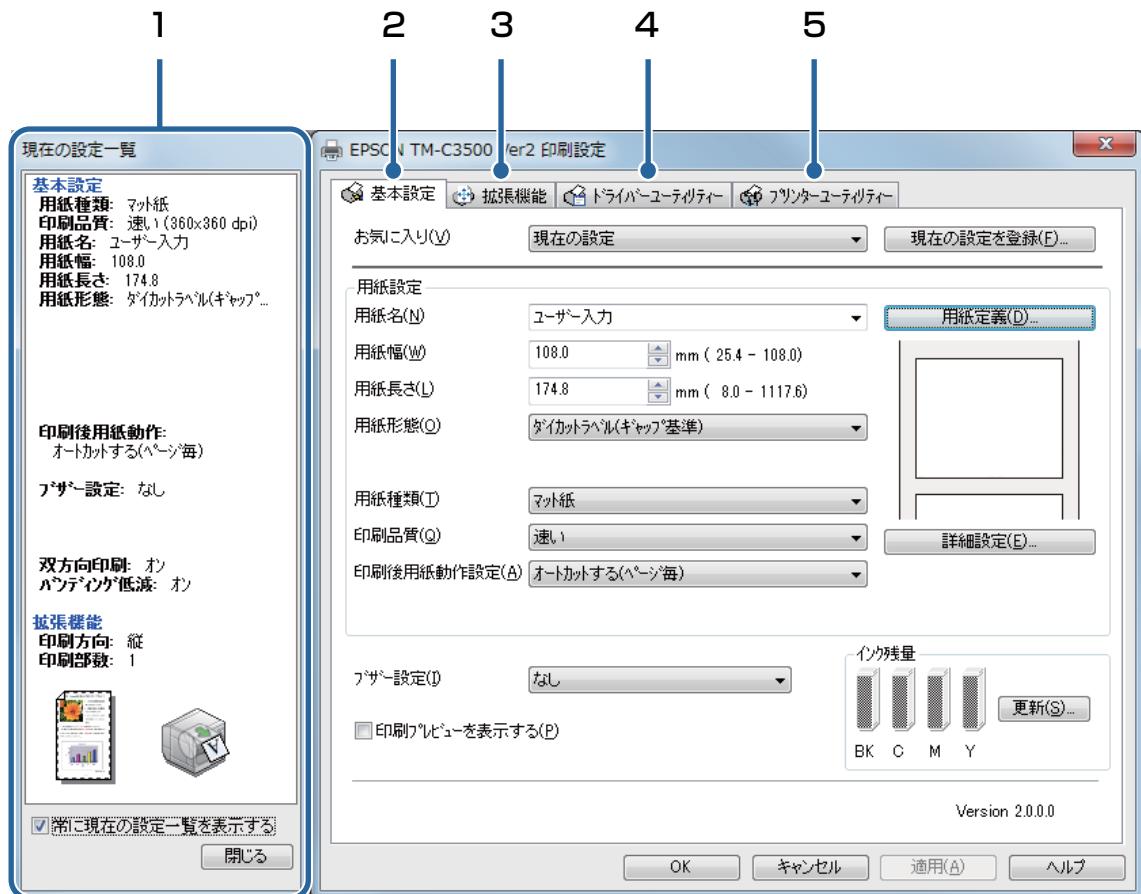
- 1 デバイスとプリンターを開きます。
 - Windows 10 の場合：
スタートを右クリックし、コントロールパネルを選択します。ハードウェアとサウンドをクリックし、デバイスとプリンターをクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 8 の場合：
デスクトップのサイドバー設定からコントロールパネルを選択します。ハードウェアとサウンドをクリックし、デバイスとプリンターをクリックします。
 - Windows 7 の場合：
スタートメニューのコントロールパネルでデバイスとプリンターの表示をクリックします。
 - Windows Vista の場合：
スタートメニューのコントロールパネルでプリンタをクリックします。

- Windows XP Professional の場合：
スタートメニューの**プリンタとFAX**をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合：
スタートメニューの**コントロールパネル**をクリックし、**プリンタとFAX**をクリックします。

2 EPSON TM-C3500 を右クリックし、**印刷設定**をクリックします。
プリンタードライバーが表示されます。

プリンタードライバーの画面構成

プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。



1 現在の設定一覧画面

現在のドライバーの設定状態を表示します。

2 基本設定タブ

用紙のサイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。

3 拡張機能タブ

印刷の向きや部数、印刷位置を調整するときに設定します。

4 ドライバーユーティリティタブ

ドライバーの応用的な設定ができます。

5 プリンターユーティリティタブ

マニュアルヘッドクリーニングやノズルチェックなどのメンテナンス機能の実行と、PrinterSetting を起動できます。

用紙を登録する（用紙定義）

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義としてプリンタードライバーに登録しておくことができます。あらかじめ登録しておくと、アプリケーションから印刷するときにドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。

用紙定義は最大 100 件まで登録できます。



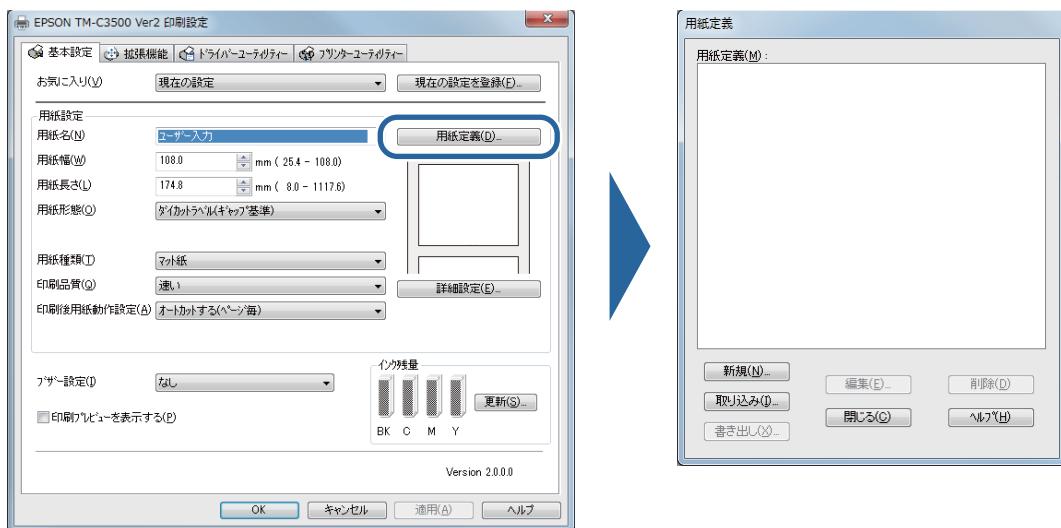
参考

用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、**基本設定タブ**の**用紙名**プルダウンから**ユーザー入力**を選択します。**基本設定タブ**内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

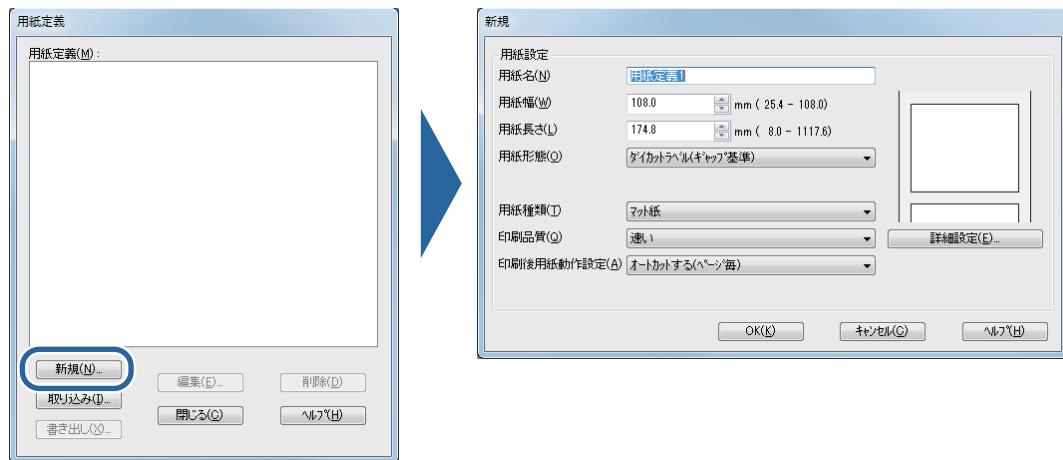
新規登録

以下の手順で、用紙定義を新規に登録します。

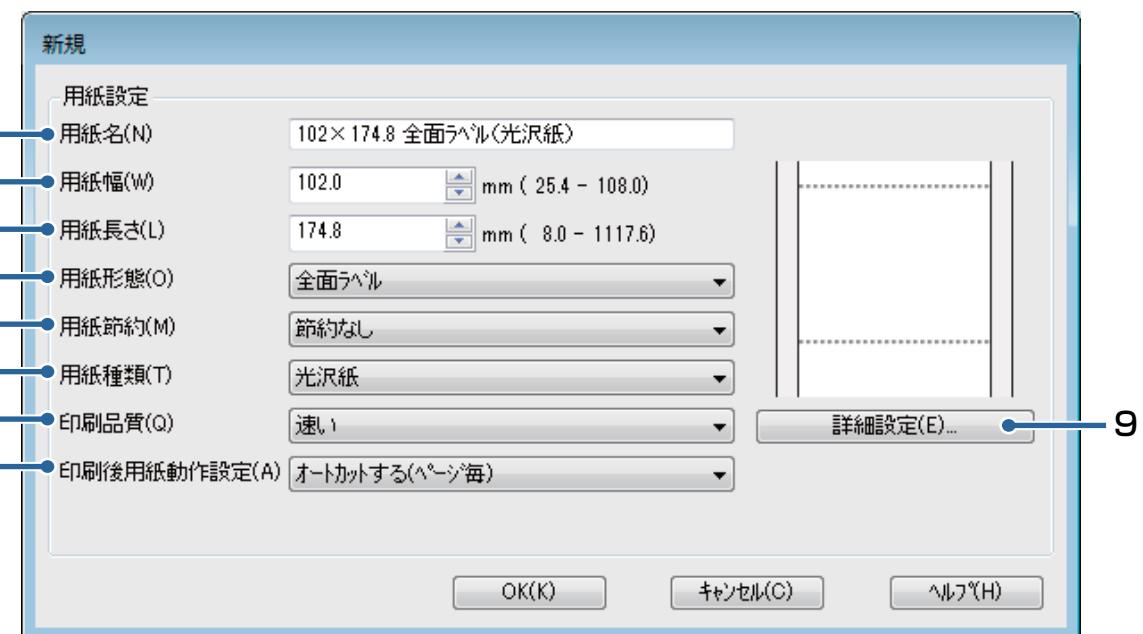
- 1 プリンタードライバーを表示します。（[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#)）
- 2 基本設定タブの**用紙定義**ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



- 3** 新規ボタンをクリックします。
新規画面が表示されます。



- 4** 使用する用紙に合わせて、用紙名から印刷後用紙動作設定まで入力・設定します。



1 用紙名

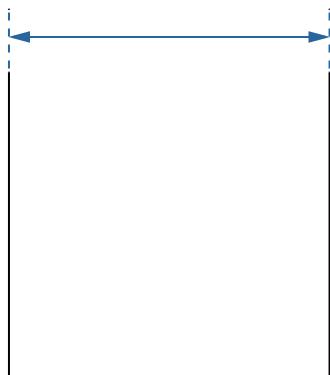
用紙定義の名称を入力します。
アプリケーションから用紙サイズを選択するときに表示される名称です。

2

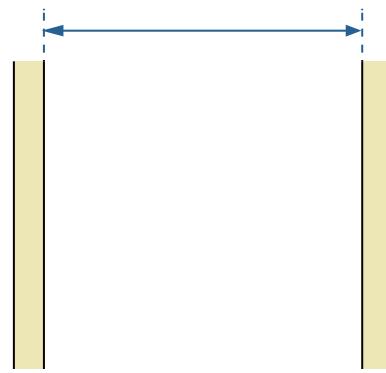
用紙幅

用紙の幅を入力します。

- 連続紙：用紙幅をそのまま入力

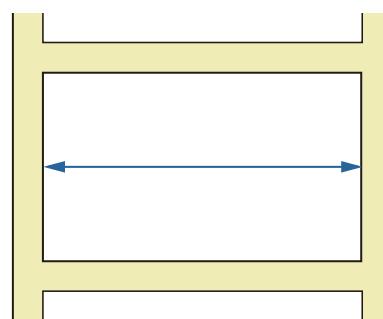


- 全面ラベル：台紙を除いた用紙幅



全面ラベル

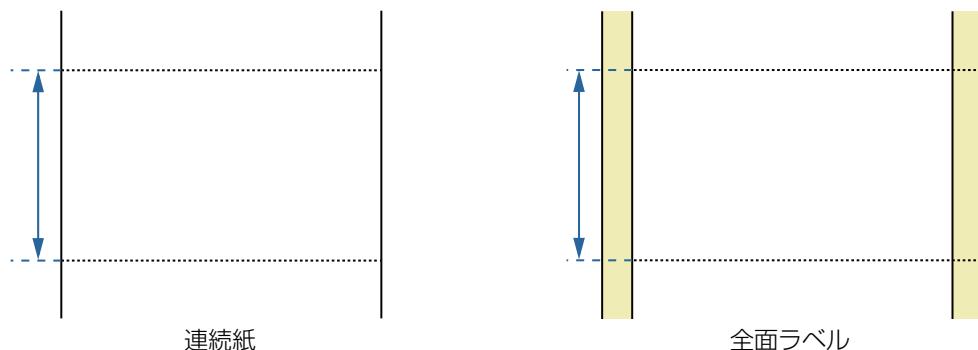
- ダイカットラベル：台紙とカス部分を除いた用紙幅



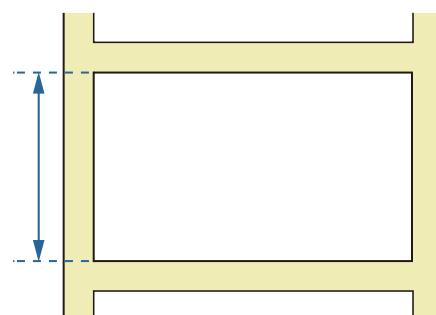
3 用紙長さ

用紙の長さを入力します。

- 連続紙・全面ラベル：印刷範囲の長さ（1ページの長さ）



- ダイカットラベル：カス部分を除いた用紙の長さ

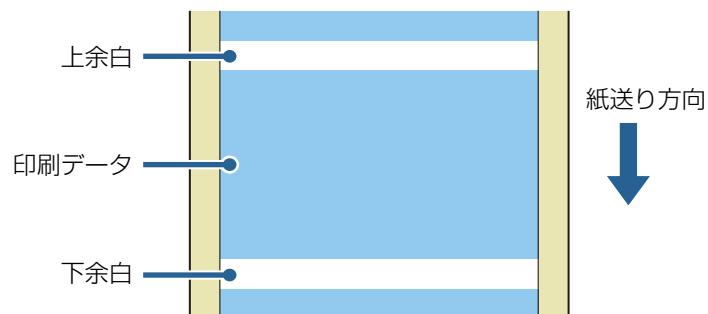


4 用紙形態

用紙の形態を選択します。（☞17ページ「用紙の形態」）

5 用紙節約（連続紙・全面ラベルのみ）

用紙の節約設定を選択します。1ページ分の印刷データの前後に余白を作らないようにできます。



- **節約なし**：印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをするため、印刷データの上下部分に余白を作ります。
- **下節約**：印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの下部分に余白を作りません。
- **上下節約**：印刷開始前と印刷終了後に用紙送りをしないため、印刷データの上下部分に余白を作りません。

参考	印刷後用紙動作設定でオートカットするを選択する場合、用紙長さは最小でも 15 mm 確保されます。印刷データが 15 mm 未満の場合は、下節約や上下節約の設定をしても余白が残ります。
----	--

The diagram shows the relationship between print data length and minimum paper length. It features a blue horizontal bar representing 'print data length'. To its right, a total height is indicated with a double-headed arrow, labeled 'minimum paper length: 15 mm'. The difference between the print data length and this total height is labeled 'margin'.

6 用紙種類

用紙の種類を選択します。（☞18 ページ「使える用紙一覧」）

7 印刷品質

印刷の品質を選択します。

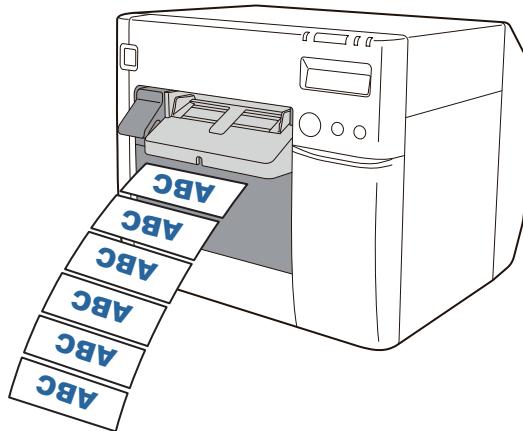
- 速い：360×360 dpi
- きれい：720×360 dpi
- バンディング低減：720×360 dpi

印刷品質によって、印刷速度が変わります。（☞148 ページ「製品仕様」）

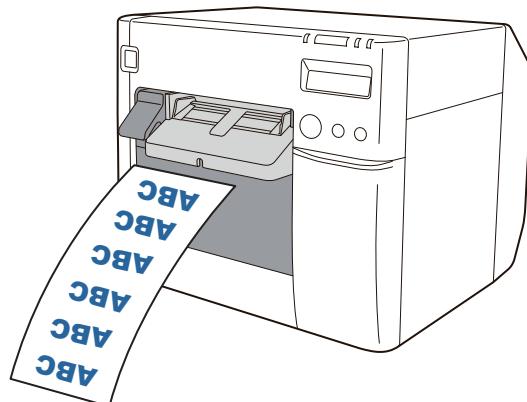
8 印刷後用紙動作設定

印刷後の用紙のカットに関する設定を行います。

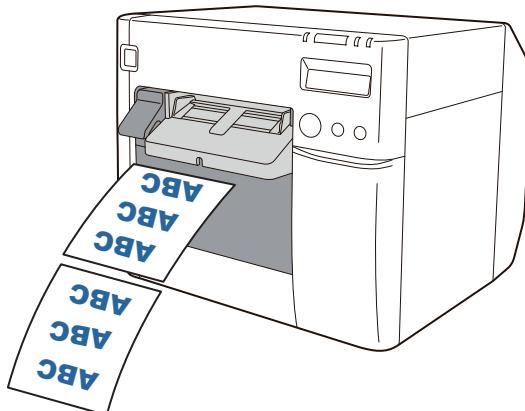
- オートカットする（ページ毎）：各ページの印刷後、自動的にカットします。



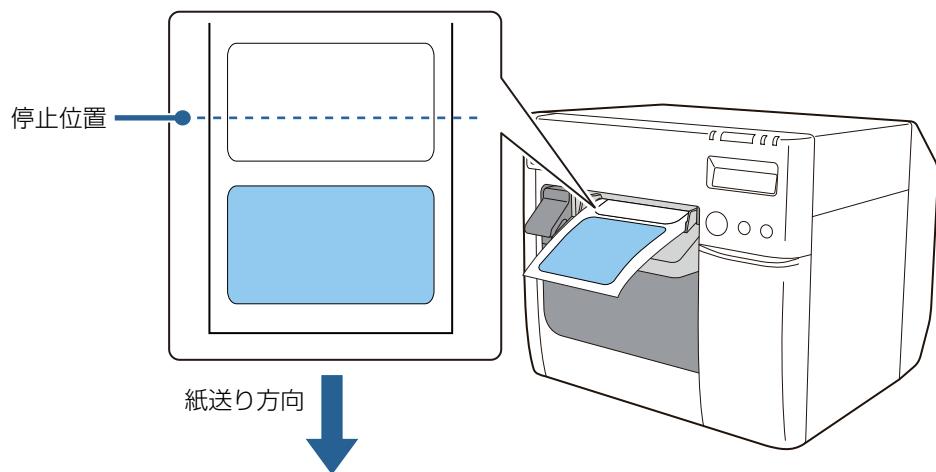
- オートカットする（最終ページのみ）：最終ページのみ、自動的にカットします。



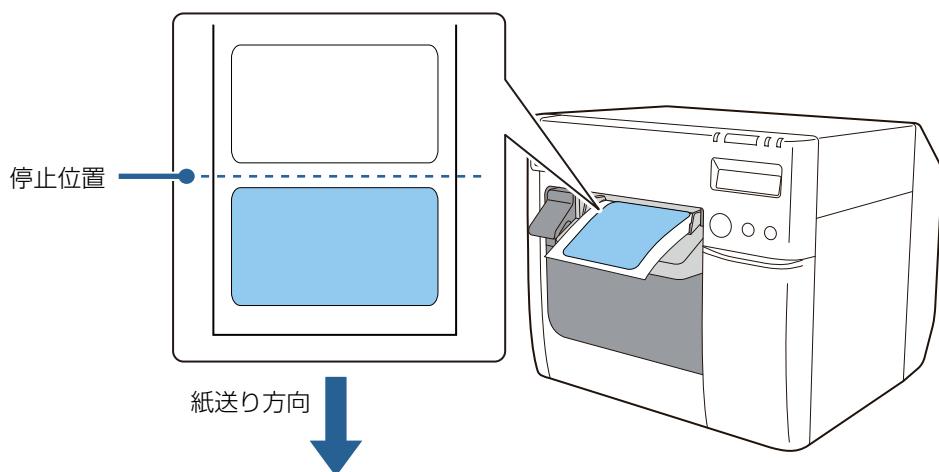
- オートカットする（指定ページ毎）：カット間隔で指定したページごと、印刷後に自動的にカットします。ただし、最終ページは必ずカットされます。最大ページ数は 255 です。



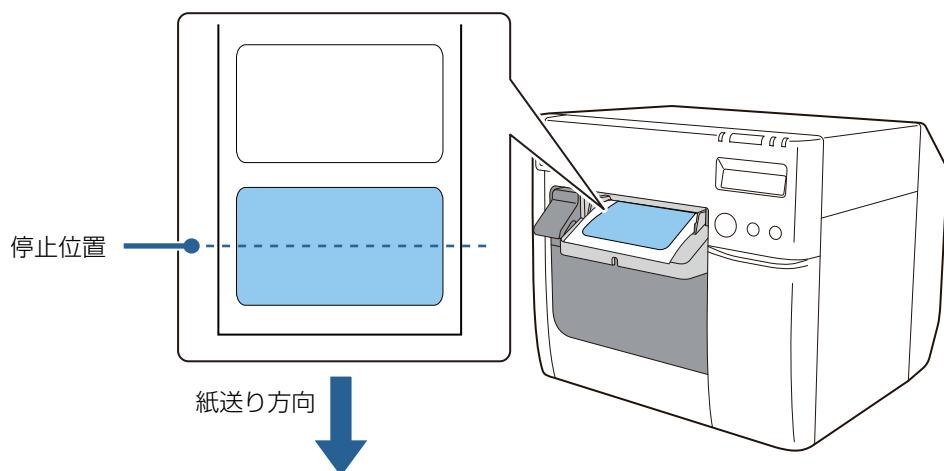
- オートカットしない（ハクリ位置まで移動）：印刷後、ラベルのハクリ位置まで用紙を送ります。



- オートカットしない（カット位置まで移動）：印刷後、カット位置まで用紙を送ります。



- オートカットしない（印刷終了位置で停止）：印刷後、印刷終了位置で停止し、用紙を送りません。1秒以上次の印刷データがプリンターに送信されない場合、カット位置に用紙を送り、停止します。

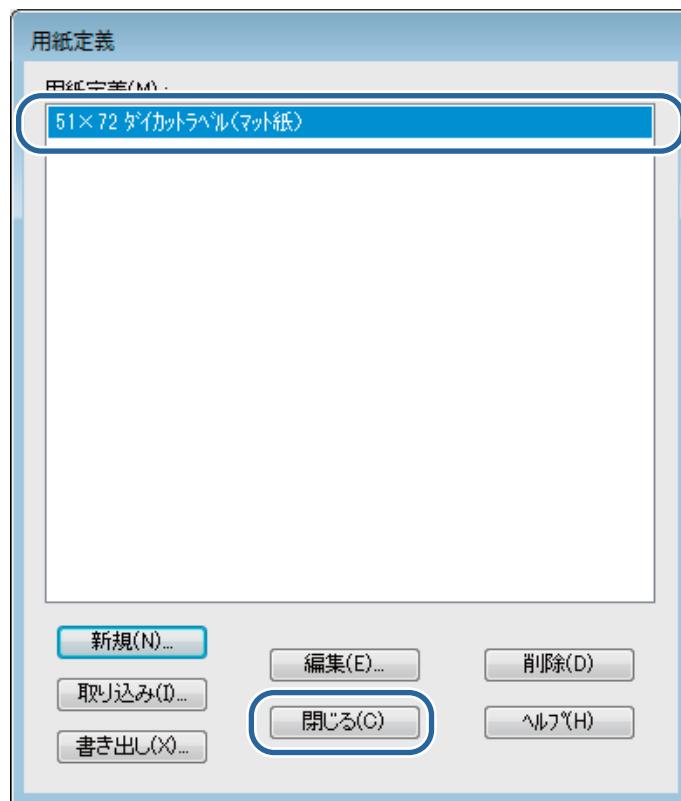


9 詳細設定

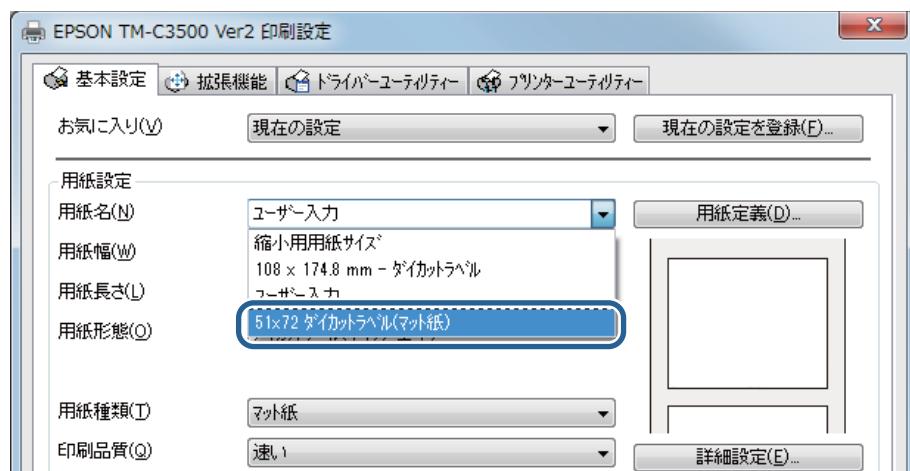
印刷色の調整や印刷方向などを設定できます。

5 OK をクリックします。

6 用紙定義画面に登録した用紙名が表示されていることを確認して、閉じるをクリックします。



7 基本設定タブの用紙名で、登録した用紙名を選択できることを確認します。



8 OK ボタンをクリックして、ドライバーを閉じます。

以上で用紙の登録（用紙定義）は終了です。

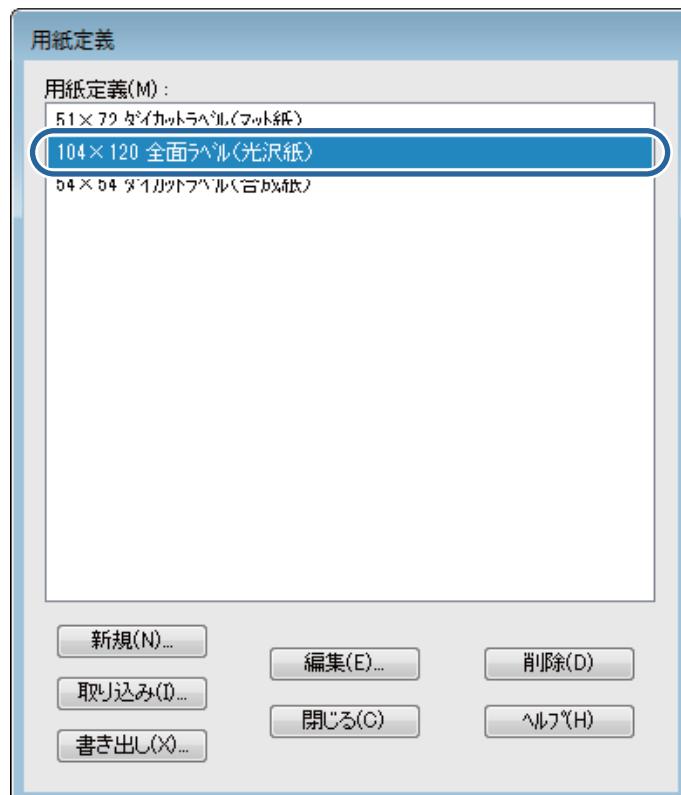
編集と削除

以下の手順で、登録した用紙定義の編集・削除を行います。

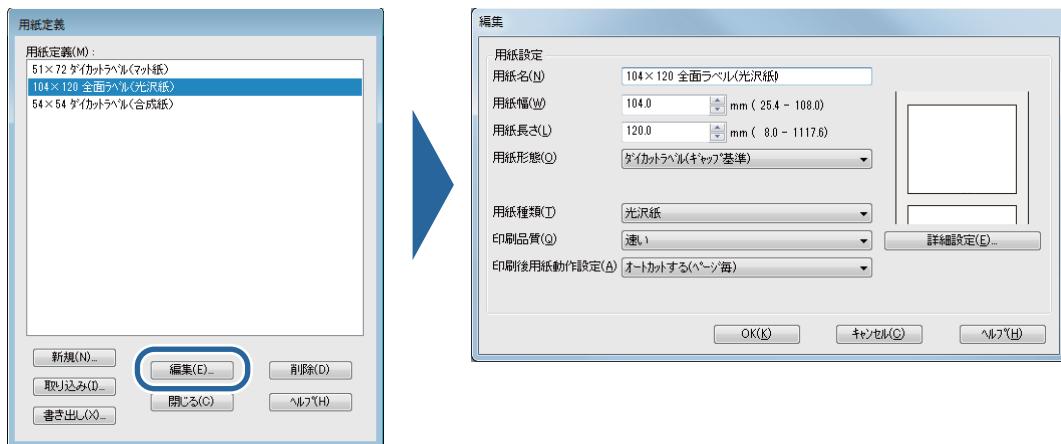
- 1 プリンタードライバーを表示します。(☞71ページ「プリンタードライバーの表示方法」)
- 2 基本設定タブの用紙定義ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



- 3 編集・削除したい定義をクリックして選択します。



4 定義内容を変更したい場合は、**編集**ボタンをクリックします。**編集**画面が表示され、定義の変更ができます。



定義を削除したい場合は、**削除**ボタンをクリックします。画面が表示され、**OK** ボタンをクリックすると定義が削除されます。



以上で、用紙定義の編集・削除は終了です。

フチなし

ここでは、プリンタードライバーの拡張機能タブのフチなし機能について説明します。



フチなしにチェックを入れると、ドライバーでは余白を確保しません。チェックを外すと、印刷ページの上下左右に余白を 1.5 mm ずつ確保します。

! 重要	フチなしの場合は、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷が台紙にはみ出す可能性があります。手や用紙を汚さないために、フチなしのチェックを外すもしくは印刷データに1.5 mm 以上余白を確保することをおすすめします。
参考	<ul style="list-style-type: none">フチなしの設定を用紙定義に登録することはできません。切り替える場合は、その都度プリンタードライバーの設定を変更してください。印刷領域幅の最大値は 104 mm です。用紙幅が 104 mm を超える場合、左右に余白ができます。

プリンタードライバーのアンインストール

プリンタードライバーをコンピュータから削除するには、以下の手順に従ってください。

- 1** 本製品の電源をオフにします。[42 ページ「電源のオフ」](#)
- 2** コンピュータで起動しているすべてのアプリケーションソフトを終了させます。
- 3** プログラムのアンインストール（またはプログラムの追加と削除）を開きます。
 - Windows 10 の場合：
スタートを右クリックし、コントロールパネルを選択します。プログラムのアンインストールをクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 8 の場合：
デスクトップのサイドバー設定からコントロールパネルを選択します。プログラムのアンインストールをクリックします。
 - Windows 7 の場合：
スタートメニューのコントロールパネルを選択します。プログラムのアンインストールをクリックします。
 - Windows Vista の場合：
スタートメニューのコントロールパネルを選択します。プログラムのアンインストールをクリックします。
 - Windows XP Professional の場合：
スタートメニューのコントロールパネルでプログラムの追加と削除をクリックします。
 - Windows XP Home Edition の場合：
スタートメニューのコントロールパネルでプログラムの追加と削除をクリックします。
- 4** 削除するドライバーを選択します。
- 5** アンインストールまたは削除をクリックします。
- 6** 画面の指示に従って操作します

ラベルの作成と印刷

本章では、ラベルの作成と印刷方法について説明しています。



参考

アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

ラベルの作成

ラベルは、ラベル作成ツールや Microsoft® Word、Excel、ペイントツールなどの Windows アプリケーションを使って作成します。

ラベルの印刷

基本的な印刷手順を説明します。

- 1** アプリケーションソフトから印刷するファイルを開きます。
- 2** ファイル - 印刷（またはプリントなど）- プリンターから、EPSON TM-C3500 を選択します。
- 3** プロパティ（または詳細設定など）をクリックして、プリンタードライバーの画面を表示させます。
- 4** お使いの用紙に合わせて用紙サイズを入力するか、あらかじめ登録しておいた用紙定義を選択します。（[74 ページ「用紙を登録する（用紙定義）」](#)）
- 5** OK をクリックして、プリンタードライバーの画面を閉じます。
- 6** 印刷をクリックします。

ラベルの作成から印刷まで

ここでは Microsoft® Word 2010 を使って、ラベルの作成から印刷するまでを例にして説明します。実際に印刷する場合は、お客様がご使用になる環境に合わせて変更してください。

- 用紙形状：ロール紙
- 用紙形態：ダイカットラベル（ギャップ基準）
- 用紙種類：マット紙
- ラベルサイズ：72.0 × 51.0 mm
- 印刷する内容：



 参考	<ul style="list-style-type: none">Microsoft® Word 2010 のインストール方法、および操作方法は、Microsoft® Word 2010 のマニュアル等を参照してください。バージョンの異なる Microsoft® Word を使用する場合、設定画面や手順が異なる場合があります。Microsoft® Word 2010 の仕様で、横長のラベルサイズを使用すると印刷が意図したとおり行われません。横長のラベルサイズを使用する場合、他のアプリケーションを使用してください。
--	--

操作の流れは以下のとおりです。

用紙定義の登録

プリンタードライバーで、使用する用紙に合わせた設定を登録します。

Microsoft® Word の準備

文書の余白と用紙サイズを設定します。

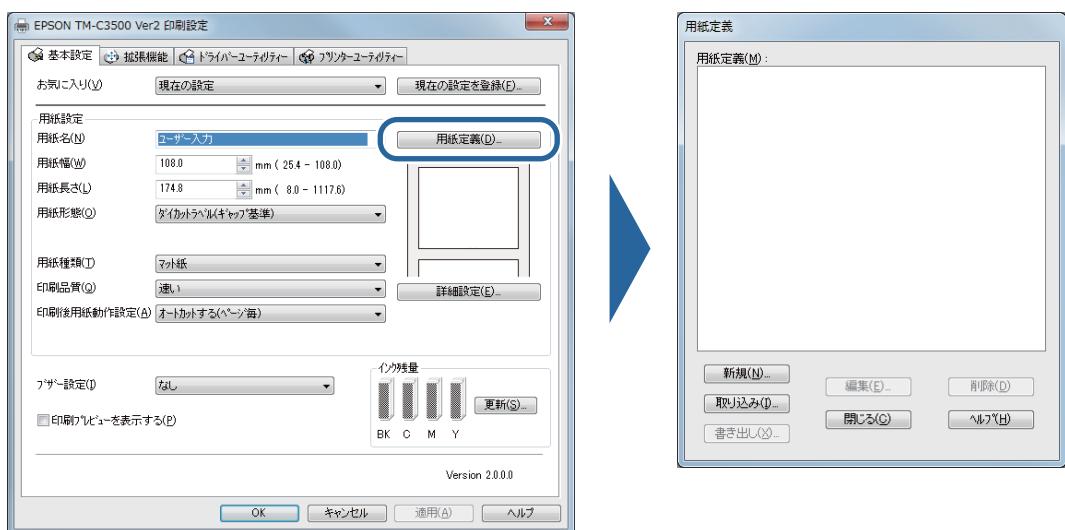
ラベルのデザイン

用途に応じたラベルをデザインします。

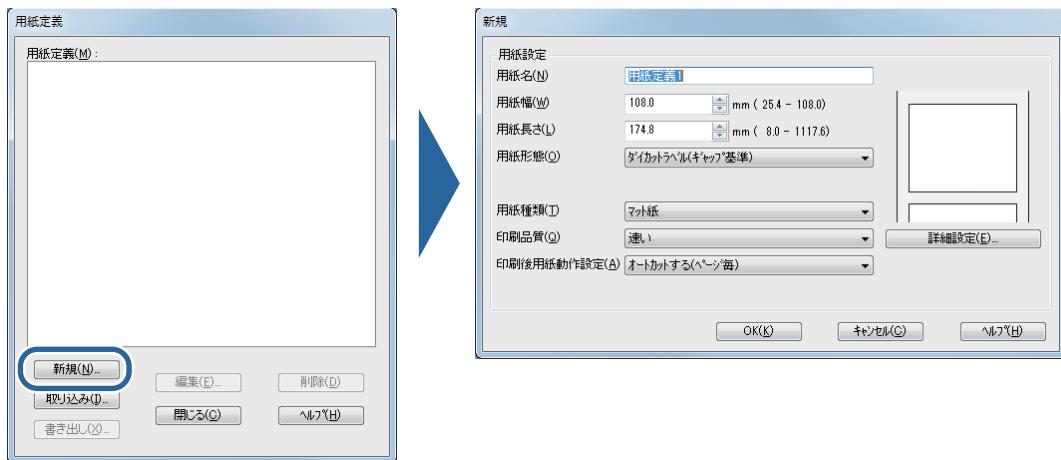
印刷

本製品で印刷を実行します。

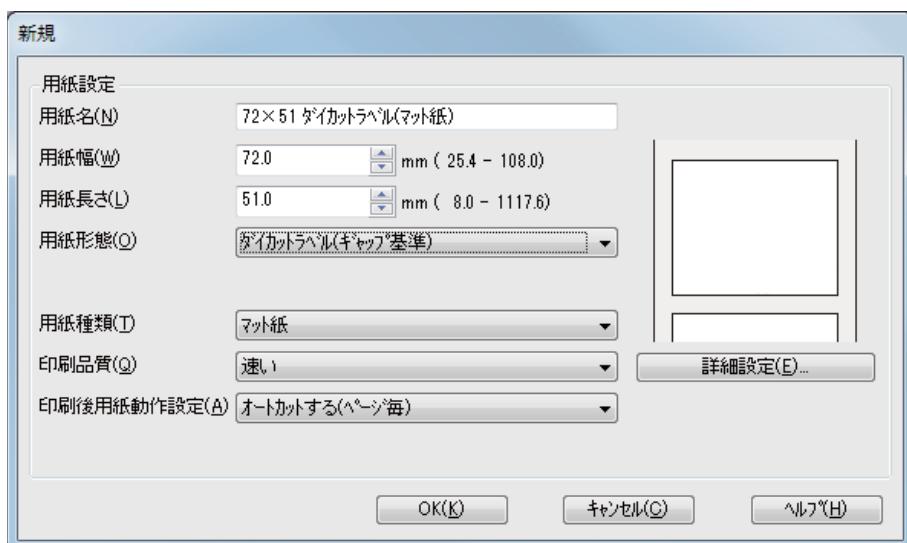
- 1 プリンタードライバーを表示します。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))
- 2 基本設定タブの用紙定義ボタンをクリックします。
用紙定義画面が表示されます。



- 3** 新規ボタンをクリックします。
新規画面が表示されます。



- 4** 使用する用紙に合わせて、以下のとおり用紙名から印刷後用紙動作設定まで入力・設定します。(☞74ページ「用紙を登録する（用紙定義）」)



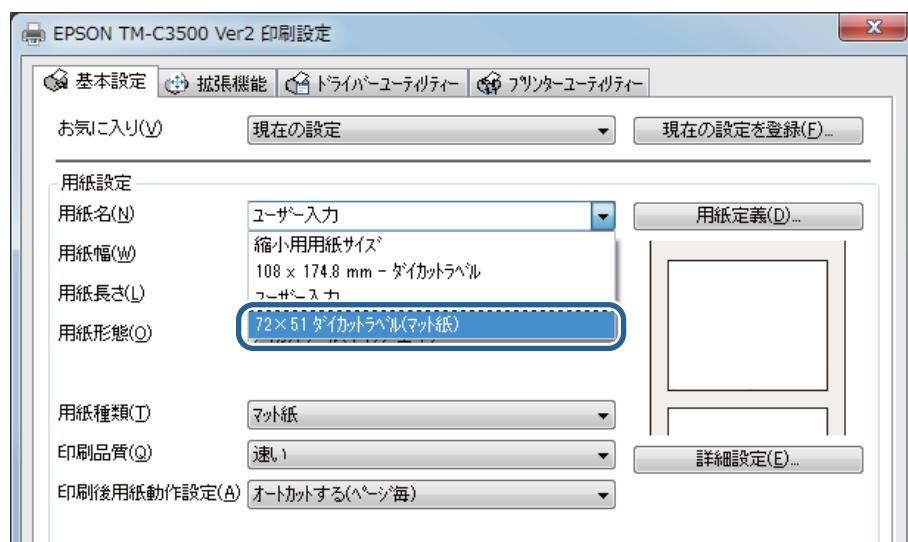
用紙名：72×51 ダイカットラベル（マット紙）
用紙幅：72.0
用紙長さ：51.0
用紙形態：ダイカットラベル（ギャップ基準）
用紙種類：マット紙
印刷品質：速い
印刷後用紙動作設定：オートカットする（ページ毎）

5 OK をクリックします。

6 用紙定義画面に登録した用紙名が表示されていることを確認して、閉じるをクリックします。



7 基本設定タブの用紙名で、登録した用紙名を選択できることを確認します。



8 OK ボタンをクリックして、ドライバーを閉じます。

- 9** Microsoft® Word 2010 を起動し、ファイル - 印刷 - プリンターから、EPSON TM-C3500 を選択します。
- 10** 余白のプルダウンメニューからユーザー設定の余白をクリックし、上下左右の余白を 1.5 mm に設定します。
- 11** 用紙サイズのプルダウンメニューから、72×51 ダイカットラベル（マット紙）を選択します。
- 12** ホームに戻って、ラベルデザインを作成します。
- 13** ファイル - 印刷をクリックし、印刷ボタンを押します。
プリンターが印刷を開始します。

以上で、ラベルの作成と印刷は終了です。

ダイカットラベルのフチなし印刷

ここでは、ダイカットラベルにフチなし印刷（ラベルの上下左右に余白がない印刷）するための推奨条件を説明します。



重要

フチなし印刷の場合は、実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷が台紙にはみ出す可能性があります。手や用紙が汚れる可能性があるので、取り扱いには十分に注意してください。

推奨ダイカットラベル紙

カスありダイカットラベル（ブラックマーク基準）

ラベルはハーフカットされており、余白部分を残した用紙です。ラベルサイズより大きめに印刷することでフチなし印刷できます。また、ブラックマークはラベル先端より 1.5 mm 上側に配置されたものを使用してください。



重要

- 余白部分がない型抜きされたカス取りダイカットラベルを使用すると、台紙にインクが付着して手やプリンター内部が汚れることがあります。取り扱いには十分に注意してください。
- 印刷領域幅の最大値は 104 mm です。用紙幅が 104 mm を超える場合、左右に余白ができます。

プリンタードライバーの設定

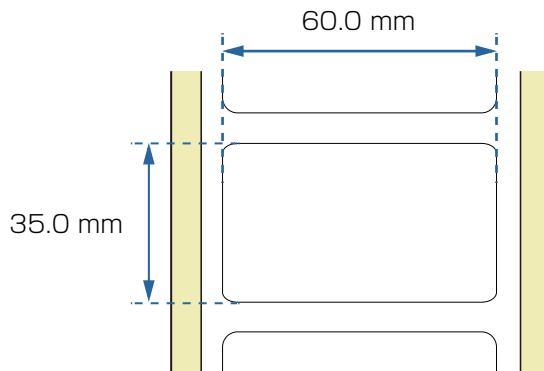
- 用紙サイズよりも上下左右 1.5 mm 大きい印刷領域を設定します。
- 用紙形態は**連続紙（ブラックマーク基準）**を選択します。
- フチなし**にチェックを入れます。

設定例

ここでは、フチなし印刷のドライバー設定例を紹介します。

使用する用紙

- カスありダイカットラベル
- ラベル幅：60.0 mm
- ラベル高さ：35.0 mm

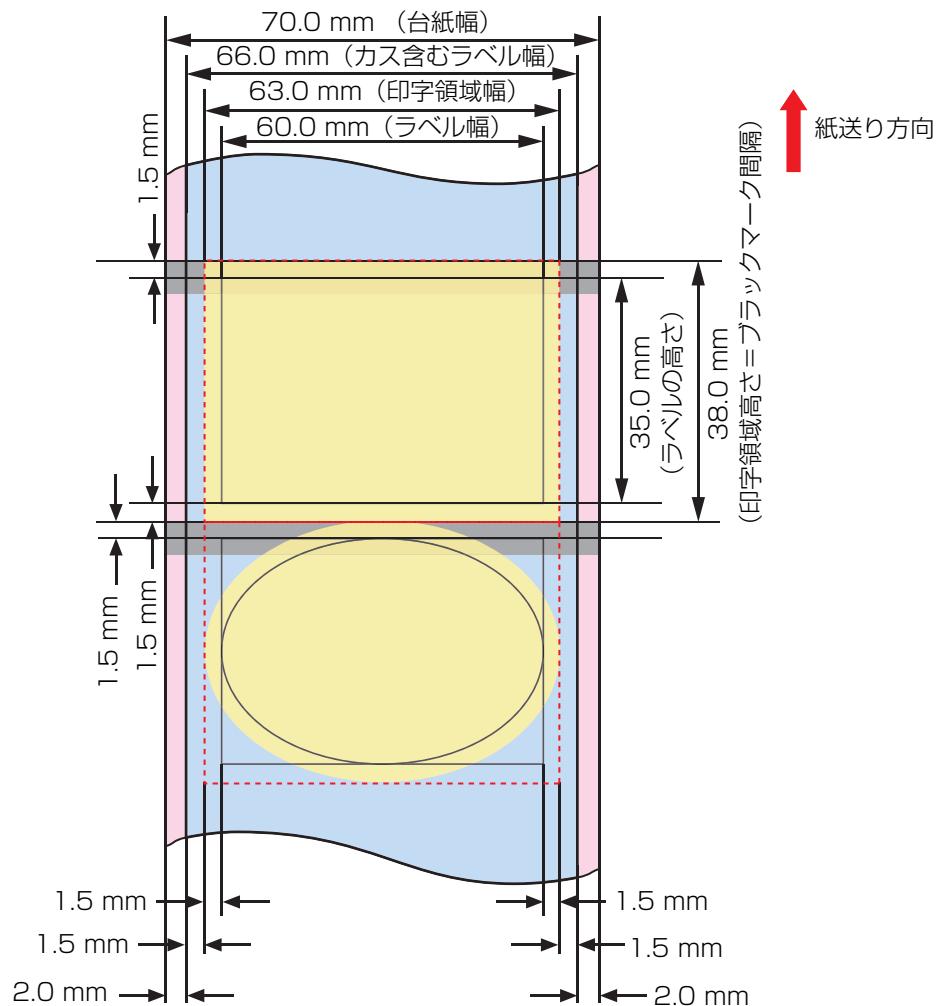


プリンタードライバーの設定

- 用紙形態：連続紙（ブラックマーク基準）
- フチなし：チェックする
- 用紙幅：63.0 mm
- 用紙長さ：38.0 mm



印刷領域



□ プリンタードライバーで指定する用紙定義の印刷領域

■ 印刷データを配置する領域
(上: 63.0 × 38.0 mm の長方形 / 下: 63.0 × 38.0 mm の楕円)

■ ラベル領域

■ 台紙

■ ブラックマーク位置 (裏側)

高度な使い方

本章では、本製品の応用的な使い方について説明しています。

プリンターの機能と使い方

ブザー

ここでは、ブザーの機能と設定について説明します。

ブザーは、印刷できない時と印刷が完了した時に鳴ります。本製品から離れた場所にいても、ブザーで本製品の状況を確認できます。

ブザーの仕様と設定は以下のとおりです。

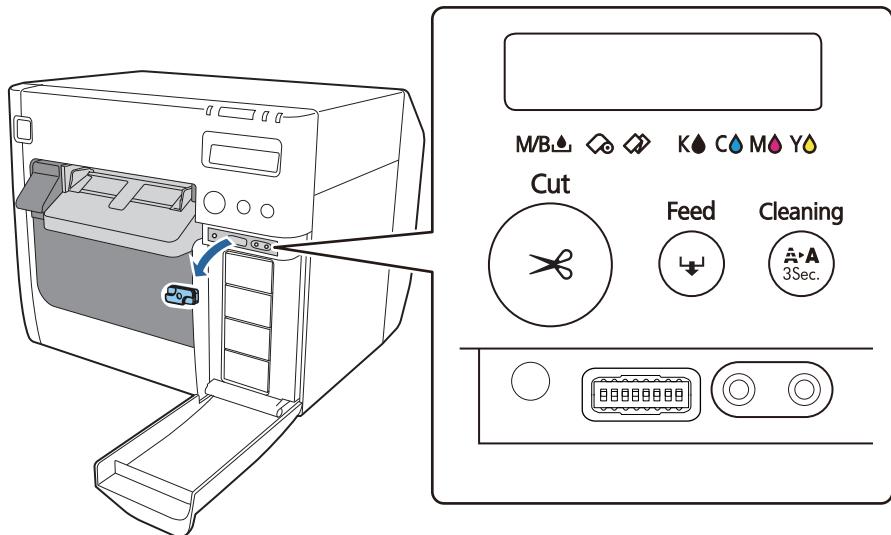
項目	説明
周波数	2.5 kHz 固定
音量	小 / 大 変更方法：ディップスイッチ 8(95 ページ「音量調整」)
ブザー通知条件	印刷できない時 (97 ページ「印刷できない時」) 印刷完了時 (98 ページ「印刷完了時」)

音量調整

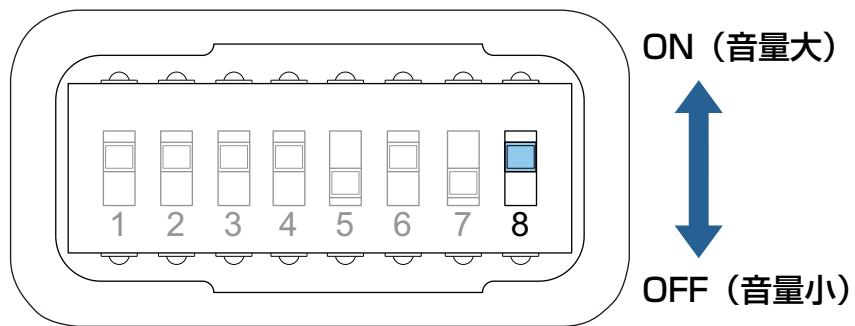
以下の手順で、ブザーの音量を調整します。

 注意	ディップスイッチのカバーを取り外すときは、本製品の電源をオフにしてください。電源がオンの状態で取り外した場合、ショートして本製品が故障するおそれがあります。
--	--

- 1 本製品の電源がオフになっていることを確認します。
- 2 インクカートリッジカバーを開き、ディップスイッチのカバーを取り外します。



- 3 先の細いものを使って、ディップスイッチを操作します。
ディップスイッチは左から順に番号が振られています。上側が ON、下側が OFF の状態です。ディップスイッチ 8 を ON にすると音量を大きく、OFF にすると小さくできます。



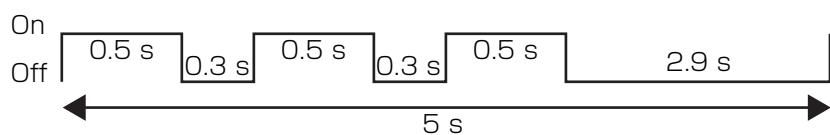
- 4 ディップスイッチのカバーを取り付け、インクカートリッジカバーを閉じます。

以上でブザーの音量調整は終了です。

ブザー通知条件と設定

印刷できない時

印刷できない時に、以下のパターンを繰り返してブザーを鳴らします。



印刷できない時とは、以下の状態です。

プリンターの状態	
<ul style="list-style-type: none">・ ロール紙カバーオープン・ インクカートリッジカバーオープン・ メンテナンスボックスカバーオープン・ インクカートリッジ交換要・ メンテナンスボックス交換要・ インクカートリッジなし・ メンテナンスボックスなし	<ul style="list-style-type: none">・ インクカートリッジ読み取りエラー・ メンテナンスボックス読み取りエラー・ 用紙形態エラー・ 用紙サイズエラー・ 用紙詰まりエラー・ 用紙除去エラー・ 用紙なしエラー *・ プリンターエラー・ サービス要求

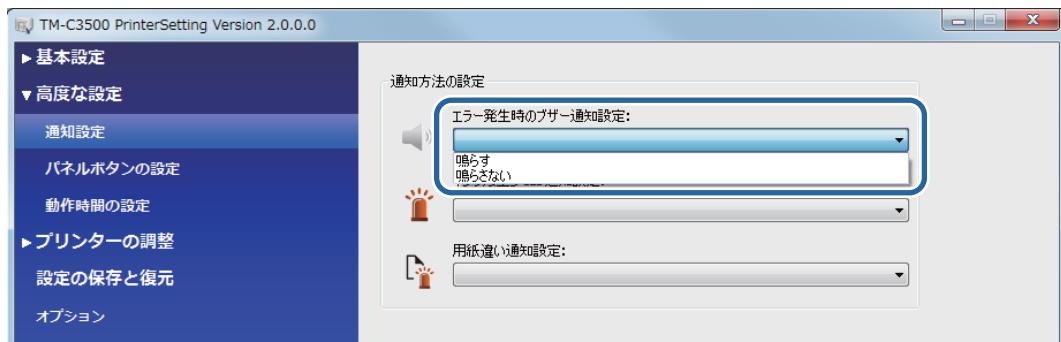
* 印字データがない時の「用紙なし」状態は、ブザーを鳴らしません。

初期設定ではブザーを鳴らしません。設定を変更するには、PrinterSetting を操作します。

参考	特定の状態の時だけ、ブザーを鳴らしたり、鳴らさなかつたりすることはできません。
----	---

- 1 プリンタードライバーを表示します。(☞71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」)
- 2 プリンターユーティリティータブを選択し、プリンターの設定をクリックします。
- 3 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。高度な設定 - 通知設定を選択します。

- 4** 通知設定画面が表示されます。エラー発生時のブザー通知設定プルダウンメニューから、設定値を選択します。



- 5** 設定を反映をクリックします。

- 6** プリンターの電源をオンにします。

以上でブザーの設定は終了です。

印刷完了時

印刷が完了したときに、0.3秒間ブザーが鳴ります。ブザーの設定はプリンタードライバーで設定できます。

- 1** プリンタードライバーを表示します。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))

- 2** 基本設定タブのブザー設定プルダウンメニューから、設定値を選択します。

項目	説明
なし	ブザーを鳴らしません。
ページ毎	各ページの印刷ごとに、ブザーを鳴らします。
最終ページのみ	最終ページの印刷終了後、ブザーを鳴らします。

- 3** OKをクリックします。

以上でブザーの設定は終了です。

自動ノズルチェックシステム

本製品は、インク詰まりにより印刷物にドット抜けが生じることを防ぐために、自動ノズルチェックシステムを搭載しています。一定のタイミングでインクヘッドをチェックして、ドット抜けが発生した場合は自動的にヘッドクリーニングをします。

自動ノズルチェックシステムには 4 つの印刷動作モードがあります。求められる印刷品質から選択してください。

印刷動作モード	印刷品質	説明
ドット抜け防止モード	高品質 	ドット抜けを検出するとヘッドクリーニングすることで、ドット抜けを防ぐモードです。印刷物に高度な信頼性・安全性が求められる場合に設定してください。
誤読防止モード(初期設定)		ドット抜けにより文字の一部が印刷されないために、文字を読み違うことを防ぐモードです。
誤色防止モード		ドット抜けによりデータの一部が印刷されないことで印刷色が変わってしまい、色を間違えることを防ぐモードです。たとえば緑色に印刷する場合はシアンとイエローのインクで印刷しますが、シアンがドット抜けになるとイエローになってしまいます。 このように印刷色が変わることで色を誤認識してしまうことを防ぐモードです。
ドット抜け検出なしモード		自動ノズルチェックとヘッドクリーニングを行わないモードです。



重要

- 本機能は、100% ドット抜け防止を保証するものではありません。
- 極めて高い信頼性・安全性が要求される場合、印刷データで使用するフォントは、縦 3 ドット構成以上 (Arial フォントの場合、6 pt 以上) をおすすめします。
- ノズル詰まりが解消できなかった場合、自動ヘッドクリーニングを 5 回繰り返します。それでも解消できなかったときは、LCD にノズル詰まりアリが表示され、印刷を停止します。



参考

- ドット抜け検出に微量のインクを消費します。
- クリーニング実行時にインクを消費します。

自動クリーニングの条件とタイミング

印刷動作モード	自動ヘッドクリーニング条件 (インク詰まりドット数)	タイミング
ドット抜け防止モード	1 ドット抜け以上	電源投入時 休止時
誤読防止モード(初期設定)	2 ドット抜け以上	ヘッドクリーニング後 ロール紙カバーを閉じた時
誤色防止モード	連続した 3 ドット以上のドット抜け または 10 ドット抜け以上	インクカートリッジカバーを閉じた時 メンテナンスボックスカバーを閉じた時 本製品に衝撃を検出した後 連續印刷時の定期チェック時 *

* 印刷が約 8 秒中断する場合があります。

自動ノズルチェックシステムの設定

- 1 プリンタードライバーを表示します。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))
- 2 プリンターユーティリティータブを選択し、プリンターの設定をクリックします。
- 3 TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。基本設定 - プリンター動作の設定を選択します。
- 4 プリンター動作の設定画面が表示されます。印刷動作モード プルダウンメニューから、設定値を選択します。



- 5 設定を反映をクリックします。

以上で設定は終了です。

ネットワーク設定

ここでは、ネットワーク設定について説明します。

本製品は、ブロードバンドルーターなどの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーから自動的に割り当てられるネットワーク設定を使用することができます。また、IP アドレスなどを手動で設定することもできます。

設定方法

ネットワークを設定するには以下の方法があります。それぞれの方法で設定できる項目が異なります。(☞ [101 ページ「設定項目」](#))

お使いの環境に合わせて選択してください。

- InstallNavi

製品同梱の CD から起動して設定します。設定方法は、InstallNavi 起動後の画面に従って操作してください。

- EpsonNetConfig (Windows OS のユーティリティー)

コンピューターからネットワーク経由でプリンターのネットワーク設定をします。EpsonNetConfig は、製品同梱の CD からコンピューターにインストールしてください。設定方法は、EpsonNetConfig のインストール時にインストールされる EpsonNetConfig 操作ガイドを参照してください。

- EpsonNetConfig (Web バージョン)

コンピューターやタブレットのブラウザーからネットワーク経由で設定します。コンピューターやタブレットのネットワーク設定を、本製品と通信できる設定に変更する必要があります。起動方法は以下のページを参照してください。

(☞ [104 ページ「EpsonNetConfig \(Web バージョン\)」](#))

設定項目

ネットワーク設定の方法別に設定できる項目は以下のとおりです。

項目	InstallNavi	EpsonNetConfig	EpsonNetConfig (Webバージョン)
IP アドレス取得方法(自動/手動)	✓	✓	✓
IP Address	✓	✓	✓
Subnet Mask	✓	✓	✓
Default Gateway	✓	✓	✓
Primary DNS Server	-	✓	✓
Secondary DNS Server	-	✓	✓

項目	InstallNavi	EpsonNetConfig	EpsonNetConfig (Webバージョン)
Proxy Server	-	✓	✓
Port Number	-	✓	✓
ロケーション、デバイス名	-	✓	-
WSD (Web Services on Devices) 設定	-	✓	-
SNMP 設定	-	✓	-
LPR ポート、RAW ポート	-	✓	-
タイムアウト時間	-	✓	-

ネットワークの初期設定

ネットワークの初期設定は以下のとおりです。

項目	初期設定
Obtain IP Address (IP アドレス設定モード)	Auto (自動)
IP Address (IP アドレス)	192.168.192.168 *

* Obtain IP Address (IP アドレス設定モード) を Manual (手動) に設定した時

 参考	プリンタードライバーには、プリンターに設定された IP アドレスを自動的に追従する機能はありません。Obtain IP Address (IP アドレス設定モード) を Auto (自動) のままでプリンターを使用すると、印刷できなくなる場合がありますので、あらかじめネットワーク管理者にご相談いただくか、各種ユーティリティー (InstallNavi、EpsonNet Config、EPSON Deployment Tool など) を使って固定の IP アドレスを設定することをおすすめします。 （☞ 101 ページ「ネットワーク設定」）
--	---

ネットワーク設定を初期設定に戻す

ネットワーク設定を初期設定に戻す方法は以下のとおりです。

- 1 本製品の電源がオフになっていることを確認します。
- 2 ステータスシートボタンを押したまま電源をオンにして、そのままステータスシートボタンを 10 秒以上押し続けます。[（☞ 23 ページ「コネクター」）](#)

設定内容の確認（ステータスシート印刷）

プリンター背面のステータスシートボタンを押すと、以下のステータスシートが印刷されます。ステータスシートでネットワークの設定状態を確認することができます。

EpsonNetConfig (Web バージョン)

ここでは、EpsonNetConfig (Web バージョン) の機能と使用方法について説明します。

コンピューターやタブレットのブラウザーから、ネットワーク経由で本製品の情報を取得したり、ネットワーク設定をしたりできます。コンピューターとタブレットは本製品と同一ネットワーク内に接続してください。

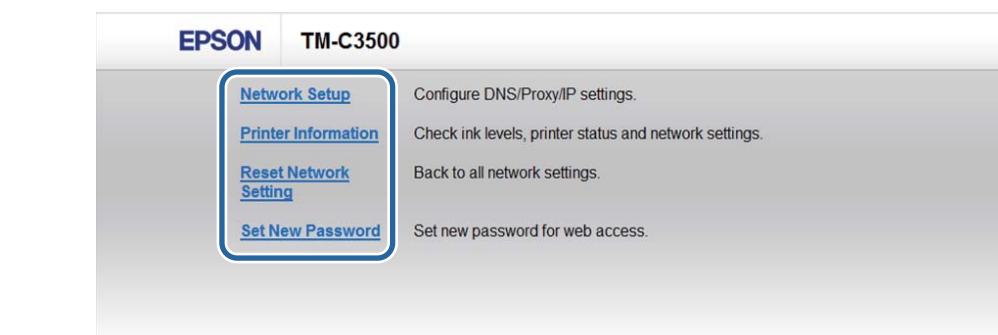
以下の機能があります。

- ネットワークの設定
- ネットワーク設定の確認
- ネットワーク設定の初期化
- インク残量の確認

EpsonNetConfig の起動方法

EpsonNetConfig を起動する方法は、以下のとおりです。

- 1 プリンターのステータスシートを印刷して、IP アドレスを確認します。[\(☞ 103 ページ「設定内容の確認（ステータスシート印刷）」\)](#)
- 2 コンピューターやタブレットが、プリンターと同じネットワークにあることを確認します。同じネットワークにない場合は、コンピューターのネットワーク設定を変更してください。
- 3 コンピューターやタブレットのブラウザーを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレスバーに、本製品の IP アドレスを入力します。
- 5 Main 画面が表示されます。設定または確認する項目をクリックします。



6 パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力します。
パスワード: epson (初期設定)

7 選択した画面が表示されます。

致命的なエラーの通知設定

致命的なエラーが発生した時には EPSON プリンタウィンドウ !3 画面が表示されます。

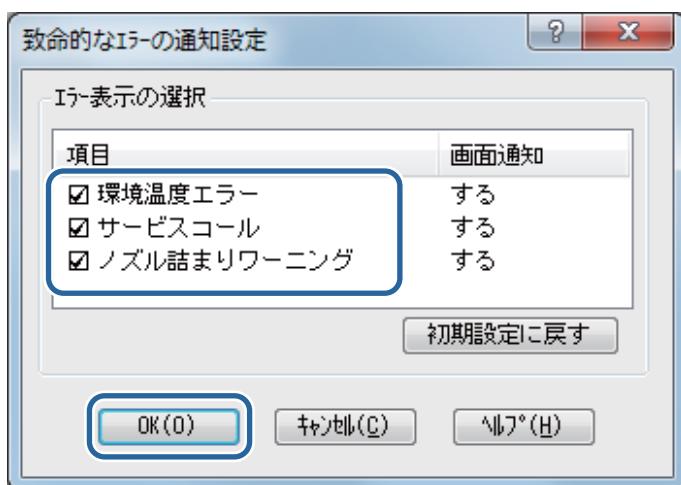


エラーの項目は以下のとおりです。

- 環境温度エラー : プリンター内部の温度が上昇した時
- サービスコール : 修理が必要なエラーが発生した時
- ノズル詰まりワーニング : インクヘッドのノズル詰まりを検出した時

設定を変更する方法は、以下のとおりです。

- 1 プリンタードライバーを表示します。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))
- 2 ドライバーユーティリティータブを選択し、致命的なエラーの通知設定をクリックします。
- 3 致命的なエラーの通知設定画面が表示されます。エラー発生時に表示させない項目のチェックを外し、OK をクリックします。



以上で設定は終了です。

PrinterSetting の機能と使い方

PrinterSetting とは、Windows コンピューターから本製品の設定をするためのユーティリティです。

PrinterSetting の起動方法

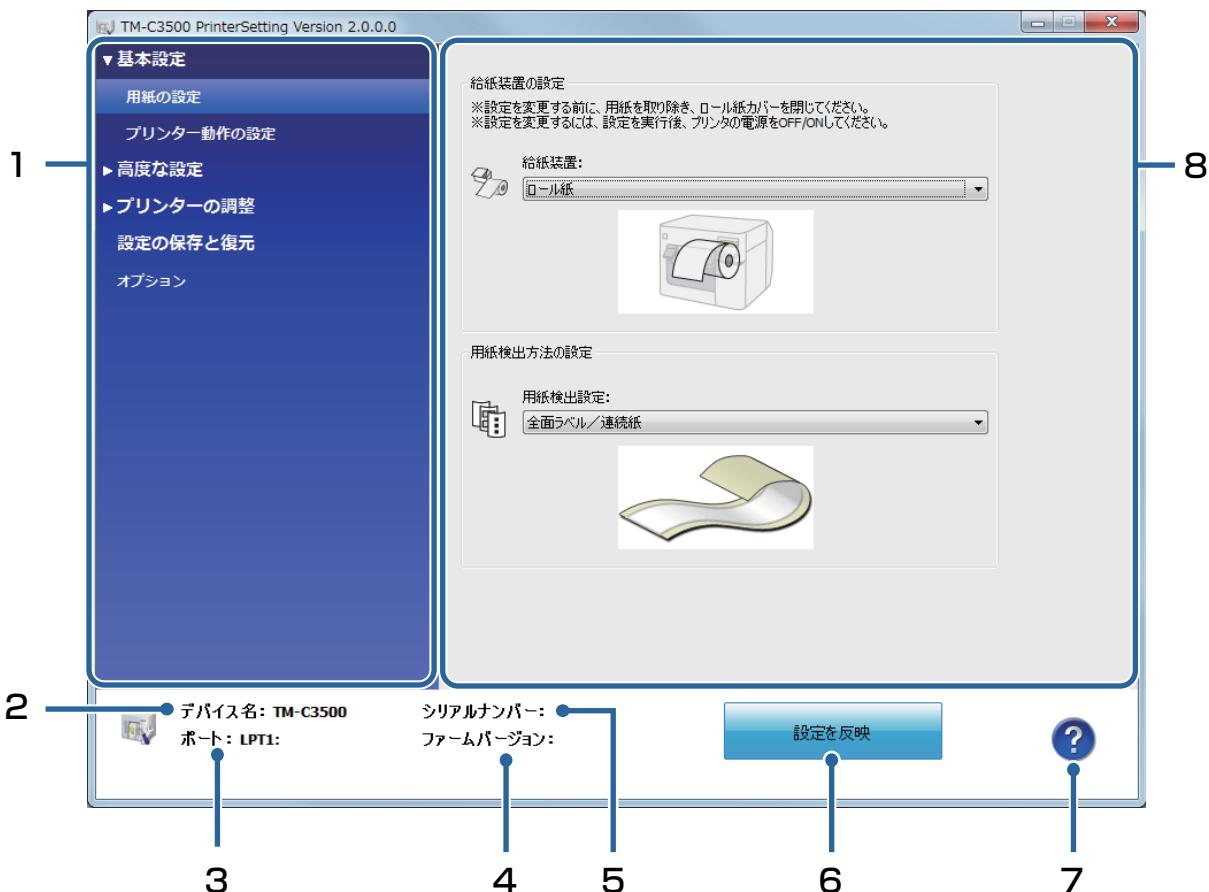
以下の手順で、PrinterSetting を起動します。

- 1 本製品の電源をオンにします。
- 2 プリンタードライバーを表示します。(☞[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#))
- 3 プリンターユーティリティータブを選択し、プリンターの設定をクリックします。

TM-C3500 PrinterSetting 画面が表示されます。

PrinterSetting の画面構成

PrinterSetting には、ヘルプ機能が搭載されています。ヘルプボタンをクリックすると、設定項目の説明が表示されます。



1 メニュー

設定項目のメニューを表示します。(☞ 108 ページ「PrinterSetting の機能」)

2 デバイス名

プリンターのキューネームを表示します。

3 ポート

コンピューターのポート名を表示します。

4 ファームバージョン

プリンターに搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。

5 シリアルナンバー

プリンターのシリアルナンバーを表示します。

6	設定を反映
プリンターに設定を反映させます。	
7	ヘルプ
ヘルプ画面を表示します。	
8	設定エリア
設定項目と設定値を表示します。	

PrinterSetting の機能

PrinterSetting では、以下のプリンターの設定を変更することができます。

メニュー	設定項目	説明
基本設定	用紙の設定	給紙装置の設定 プリンターにセットする用紙に合わせて給紙装置を設定します。
		用紙検出方法の設定 用紙形態に合わせて、用紙の先頭を検出する方法を設定します。
	プリンターアクションの設定	印刷動作モードの設定 自動ノズルチェックシステムの設定をします。
		用紙頭出し動作の設定 プリンターの電源をオンにした時と用紙カバーを閉じた時の、用紙頭出し動作の設定をします。
高度な設定	通知設定	エラー発生時のブザー通知設定 エラー発生時にブザー通知するかどうかを設定します。
		インク残量少LED通知設定 インク残量が少なくなった時にInk LED を点滅させるかどうかを設定します。
		用紙違い通知設定 プリンターの設定と異なる用紙がセットされたときに、エラー通知するかどうかを設定します。
	パネルボタンの設定	パネルボタンの設定 操作パネルの紙送りボタン、カットボタン、クリーニングボタンを無効にするかどうかを設定します。
	動作時間の設定	プラテン吸引動作休止時間の設定 データ待ち時間の設定 印刷した後の、プラテン吸引用のファンの動作時間やデータの待ち時間を設定します。

メニュー	設定項目	説明
プリンターの調整	紙送りの調整 カット位置の調整 印刷開始位置の調整（垂直方向） 印刷開始位置の調整（水平方向）	オートカッターのカット位置、印刷開始位置（垂直方向、水平方向）の調整します。
	センサーの調整 ラベル間ギャップ検出センサーの調整 ブラックマーク検出センサーの調整	用紙のラベル間ギャップやブラックマークを検出できないとき、センサーの設定値を調整します。
	プリントヘッドの調整 紙送りのずれの調整 双方向印刷のずれの調整	印刷結果に、白スジや黒スジが発生する、罫線がずれる、文字のピントがずれる場合に設定します。 (☞ 118 ページ「プリントヘッドの調整」)
設定の保存と復元	プリンターの設定をファイルに保存 設定ファイルからの復元	プリンターの設定をバックアップファイルに保存したり、バックアップファイルの設定をプリンターに反映したりします。
オプション	給紙装置設定オプション	給紙装置を接続する場合に設定します。

PrinterSetting の設定反映

各画面で設定した内容は、以下の手順で本製品に反映します。

- 1** PrinterSetting の各設定画面で本製品の設定を変更します。
- 2** 設定を反映をクリックします。

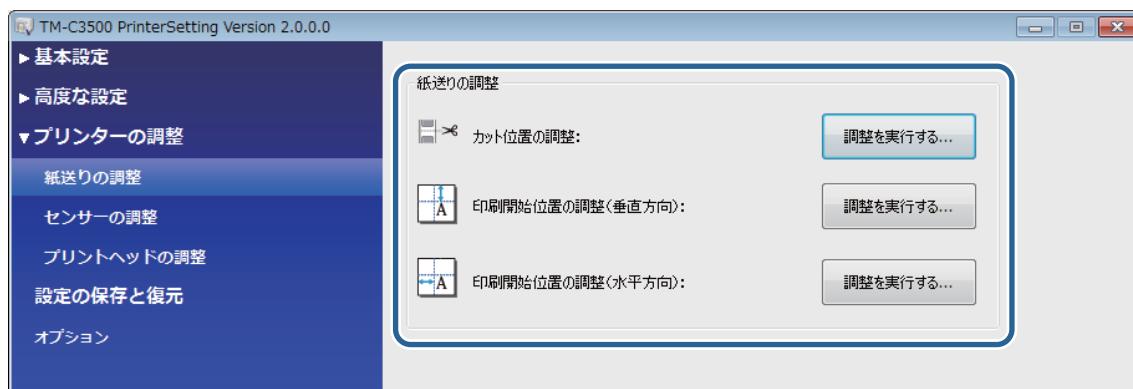


- 3** 確認画面が表示されます。はいをクリックすると、本製品に設定値を送信します。
- 4** OK をクリックして画面を閉じます。
再起動の案内が表示された場合は、本製品の電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。

以上で設定は終了です。

紙送りの調整

お使いの用紙に対して、オートカットの位置が合わなかったり、印刷開始位置がずれたりする場合に調整します。



設定	内容
カット位置の調整 (☞ 112 ページ)	カット位置を調整します。単位は 1/180inch です。-63 ~ 63 の範囲で調整できます。
印刷開始位置の調整 (垂直方向) (☞ 115 ページ)	垂直方向の印刷開始位置を調整します。単位は 1/180inch です。-63 ~ 63 の範囲で調整できます。
印刷開始位置の調整 (水平方向) (☞ 117 ページ)	水平方向の印刷開始位置を調整します。単位は 1/180inch です。-4 ~ 4 の範囲で調整できます。

参考	<ul style="list-style-type: none">180dpi 時の [dot] - [mm] - [inch] は以下のように変換されます。 1dot - 0.1411 mm - 0.0055inch 2dot - 0.2822 mm - 0.0111inch 3dot - 0.4233 mm - 0.0166inch 4dot - 0.5644 mm - 0.0222inch 5dot - 0.7055 mm - 0.0277inch 6dot - 0.8466 mm - 0.0333inch 7dot - 0.9877 mm - 0.0388inch 8dot - 1.1288 mm - 0.0444inch 9dot - 1.2700 mm - 0.0500inch 10dot - 1.4111 mm - 0.0555inch紙送りの調整後はじめて印刷するときは、用紙の位置を検出するために、紙送りとオートカットが実行されます。
----	---

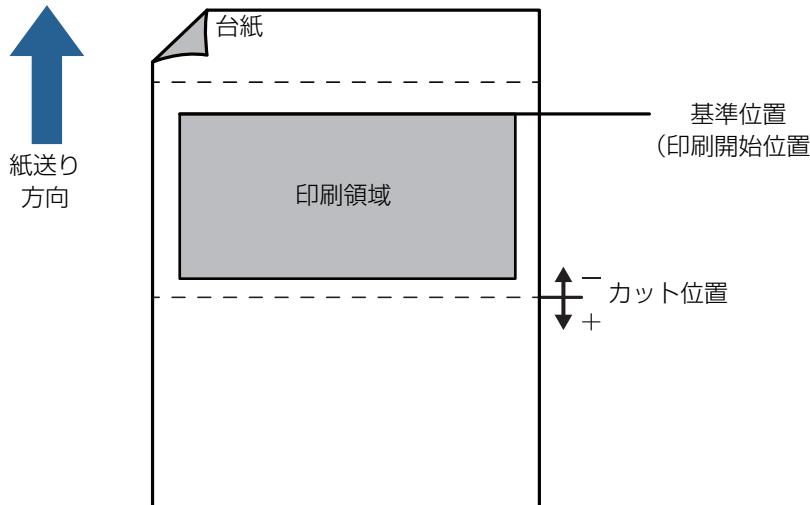
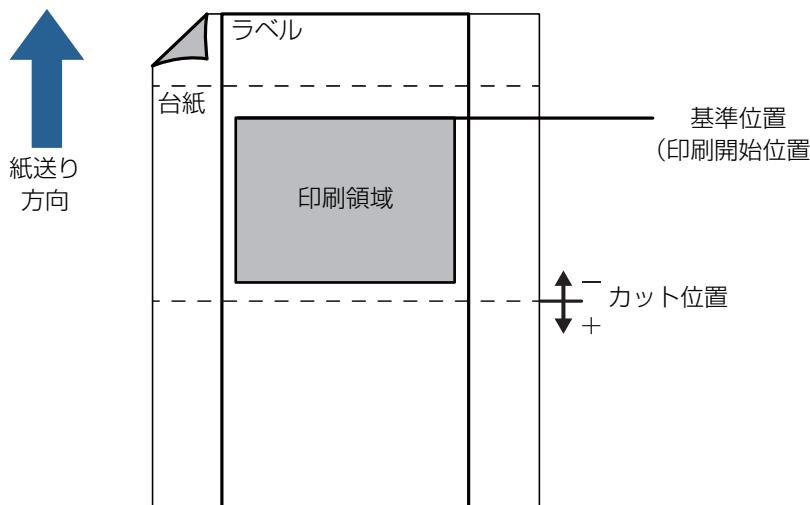
カット位置の調整方法

カット位置は、お使いの用紙形態に合わせて調整します。

ミシン目がある用紙を使用する場合、ミシン目をカットしないように調整してください。

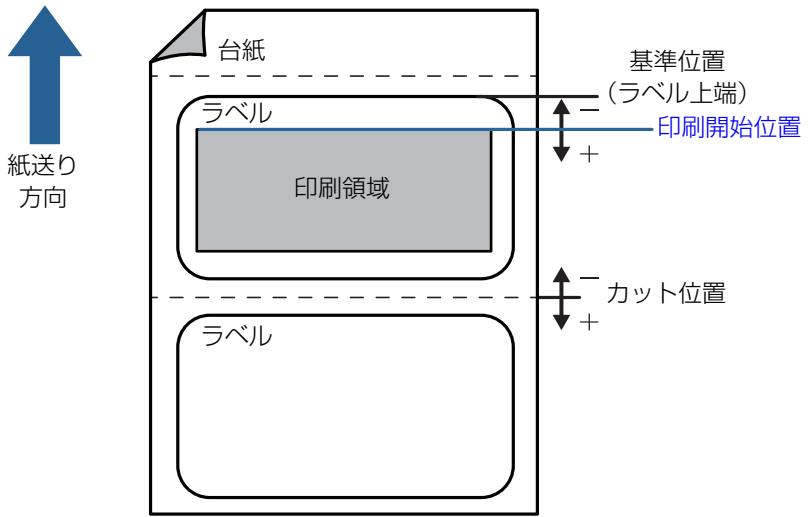
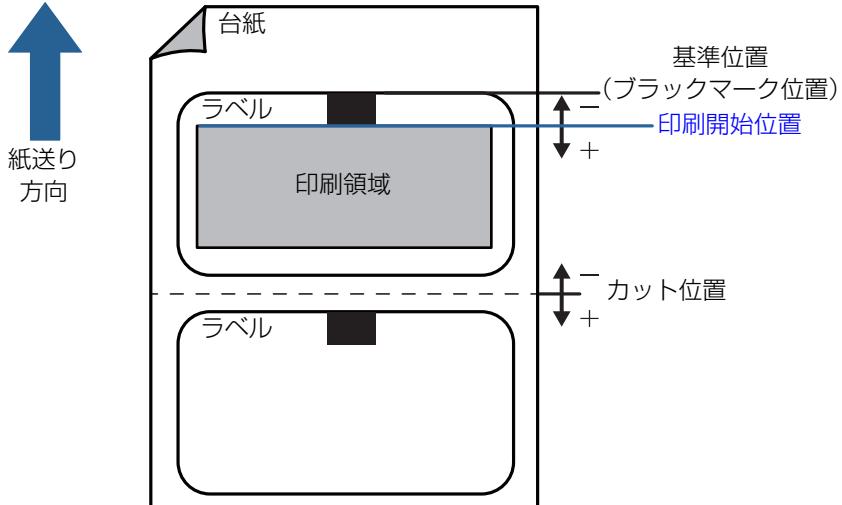
用紙形態	内容
ダイカットラベル (ギャップ基準)	<ul style="list-style-type: none">調整値が+の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）に近づきます。調整値が-の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）から離れます。 <p>↑ 紙送り 方向</p> <p>台紙 ラベル 印刷領域 ラベル 基準位置 (印刷開始位置) カット位置 -</p>

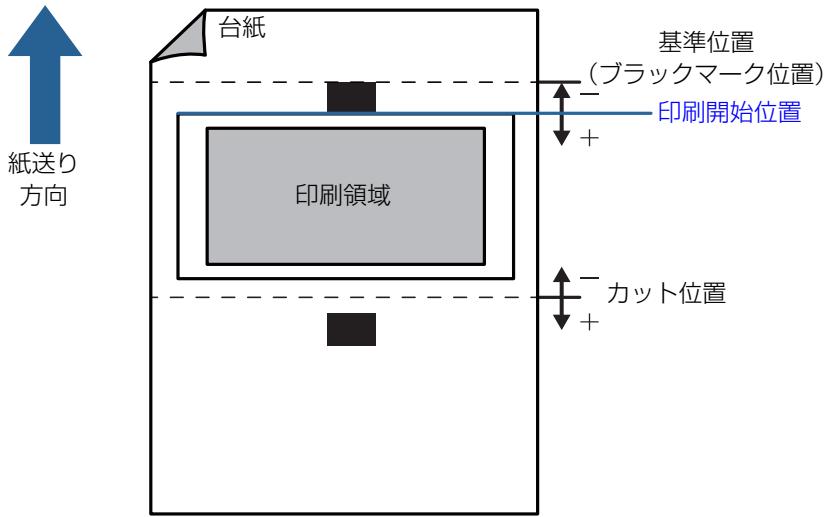
用紙形態	内容
ダイカットラベル (ブラックマーク基準)	<ul style="list-style-type: none"> 調整値が+の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）に近づきます。 調整値が-の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）から離れます。 <p>紙送り方向</p>
連続紙 (ブラックマーク基準)	<ul style="list-style-type: none"> 調整値が+の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）に近づきます。 調整値が-の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）から離れます。 <p>紙送り方向</p>

用紙形態	内容
全面ラベル 連続紙	<ul style="list-style-type: none"> 調整値が+の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）に近づきます。 調整値が-の場合、カット位置が基準位置（印刷開始位置）から離れます。  <p>The diagram illustrates the paper feeding direction and cutting position adjustment for full label continuous paper. A blue arrow labeled "紙送り方向" (Paper Feed Direction) points upwards. The paper is shown with a dashed line representing the "基準位置 (印刷開始位置)" (Standard Position (Print Start Position)). The "カット位置" (Cutting Position) is indicated by a double-headed vertical arrow with a plus sign (+) pointing up and a minus sign (-) pointing down from the standard position. The "印刷領域" (Printing Area) is shaded gray.</p>
	 <p>This diagram shows a cross-section of the paper stack. It consists of two layers: the "ラベル" (Label) on top and the "台紙" (Substrate) on the bottom. The "基準位置 (印刷開始位置)" (Standard Position (Print Start Position)) is marked on the substrate layer. The "カット位置" (Cutting Position) is shown as a double-headed vertical arrow relative to the standard position. The "印刷領域" (Printing Area) is located within the label layer. A blue arrow labeled "紙送り方向" (Paper Feed Direction) indicates the upward feeding of the entire stack.</p>

印刷開始位置の調整方法（垂直方向）

垂直方向の印刷開始位置は、お使いの用紙形態に合わせて調整します。
印刷位置開始位置を調整すると、同時にカット位置も調整されます。

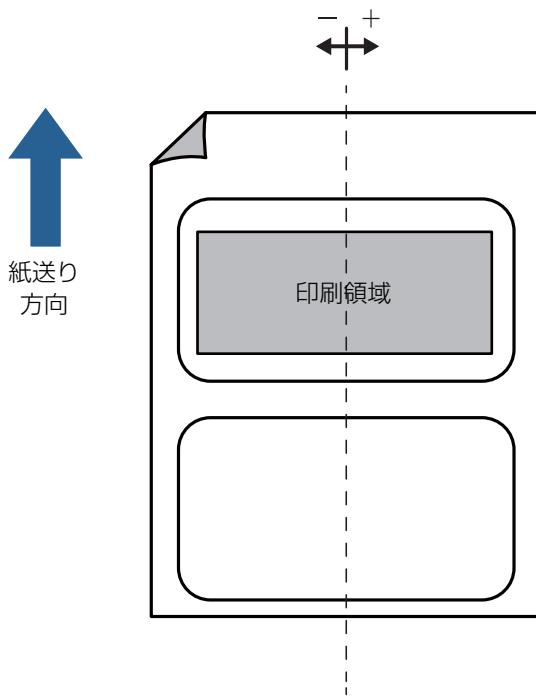
用紙形態	内容
ダイカットラベル (ギャップ基準)	<ul style="list-style-type: none">調整値が+の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ラベル上端）から離れます。調整値が-の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ラベル上端）に近づきます。 
ダイカットラベル (ブラックマーク基準)	<ul style="list-style-type: none">調整値が+の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ブラックマーク位置）から離れます。調整値が-の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ブラックマーク位置）に近づきます。 

用紙形態	内容
連續紙 (ブラックマーク基準)	<ul style="list-style-type: none"> 調整値が+の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ブラックマーク位置）から離れます。 調整値が-の場合、印刷開始位置とカット位置が基準位置（ブラックマーク位置）に近づきます。  <p>The diagram illustrates the paper transport direction and the relationship between the print start position and the cut position relative to the black mark reference position. A blue arrow labeled "紙送り方向" (Paper feed direction) points upwards. The "台紙" (Base paper) is shown as a large rectangle. Inside it, there are two horizontal dashed lines representing the "基準位置 (ブラックマーク位置)" (Reference position (Black mark position)). The upper dashed line is labeled "印刷開始位置" (Print start position). The lower dashed line is labeled "カット位置" (Cut position). Two vertical double-headed arrows indicate the adjustment range: one between the reference position and the print start position, and another between the reference position and the cut position. Both adjustment ranges have a minus sign (-) on the left and a plus sign (+) on the right, indicating that a negative value moves closer to the reference position, while a positive value moves away from it.</p>
全面ラベル 連續紙	変化しません。

印刷開始位置の調整方法（水平方向）

水平方向の印刷開始位置を調整します。

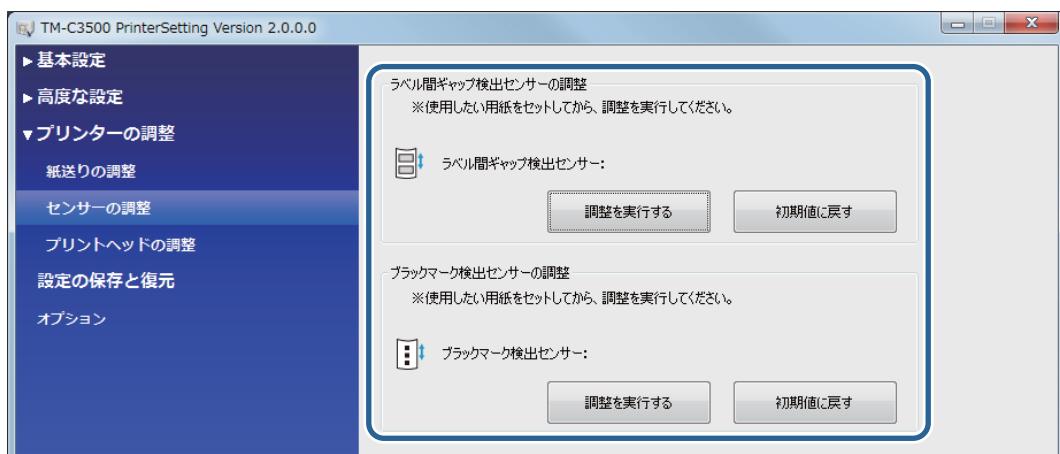
- 調整値が+の場合、製品側からみて左側にずれます。
- 調整値が-の場合、製品側からみて右側にずれます。



センサーの調整

使用する用紙の、ラベル間ギャップやブラックマークセンサーを検出できないときに、センサーのしきい値を調整することができます。

- 調整するセンサーの調整を実行するボタンをクリックします。



- 確認画面が表示されます。はいをクリックすると、センサーが調整されます。

プリントヘッドの調整

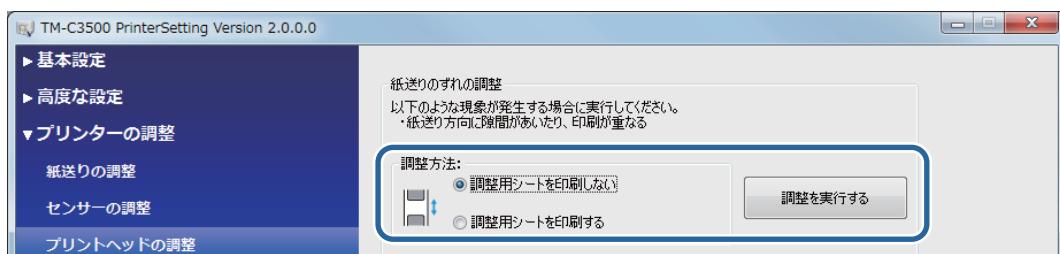
印刷結果に白スジや黒スジが生じる、縦横の罫線がずれる、文字がぼやける場合に、プリントヘッドの調整をします。



プリントヘッドの調整をすると、すき間や印刷の重なりを目立たなくすることができますが、完全に問題を解消できない場合があります。解消できない場合は [135 ページ「印刷品質に問題がある」](#) を参照してください。

紙送りのずれの調整

白スジや黒スジが生じる場合、紙送りずれの調整をします。

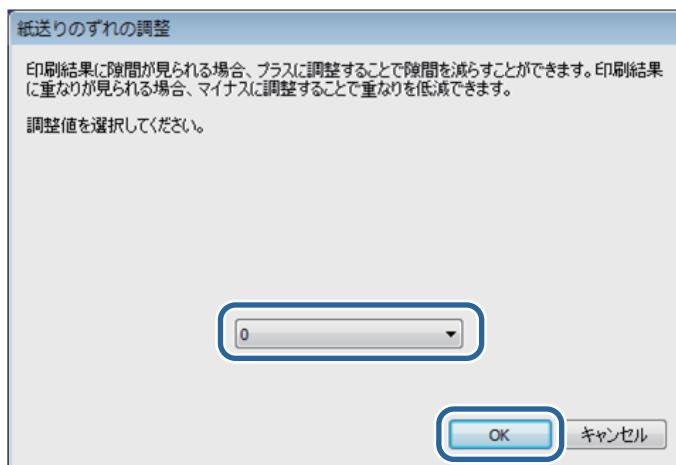


調整方法	説明
調整用シートを印刷しない (118 ページ「調整用シートを印刷しない」)	連続紙、全面ラベル紙、長さ 140 mm 以上のラベル紙が無い場合に選択します。すき間が目立つデータを用意し、印刷と調整を繰り返して設定します。
調整用シートを印刷する (120 ページ「調整用シートを印刷する」)	連続紙、全面ラベル紙、長さ 140 mm 以上のラベル紙に調整パターンを印刷し、その中から最適のものを設定します。

調整用シートを印刷しない

- 1 事前に、すき間が目立つデータを用意します。
- 2 本製品で、用意したデータを印刷します。
- 3 調整方法から調整用シートを印刷しないを選択し、調整を実行するをクリックします。

- 4** 紙送りのずれの調整画面が表示されます。印刷結果を見て、設定値を選択します。
設定値を選択後、OK をクリックします。
すき間が空いている（白スジ）場合、+ 方向に調整します。
印刷結果に重なりがある（黒スジ）場合、- 方向に調整します。
単位は 0.1411 mm (1/180 インチ) です。

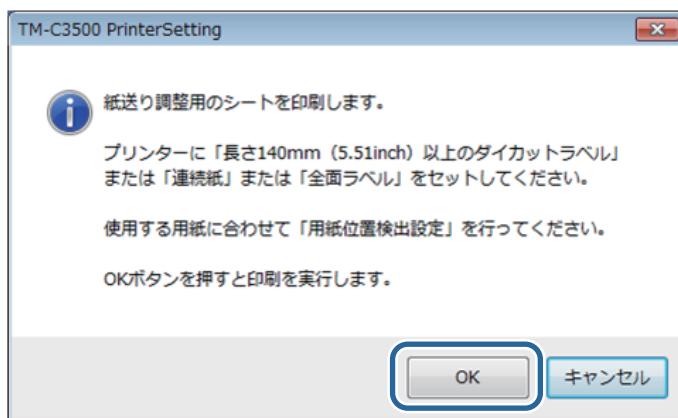


- 5** 調整開始の確認画面が表示されます。はいをクリックします。
- 6** 調整が終了すると、終了画面が表示されます。OK をクリックします。
- 7** 再度、手順 1 で用意したデータを印刷します。
- 8** 印刷結果を確認します。

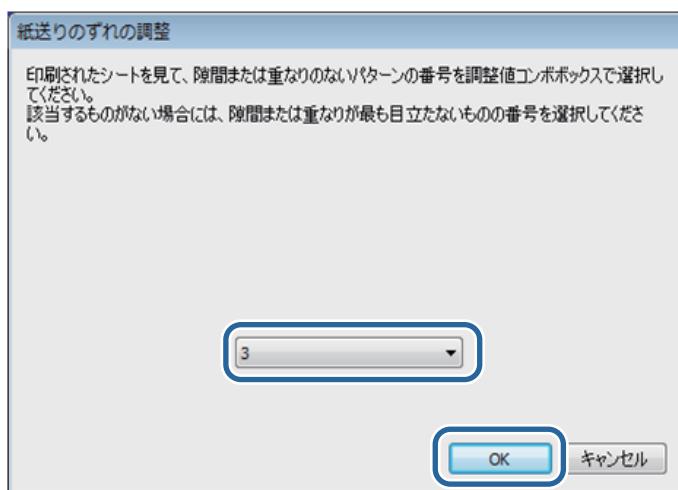
すき間が目立たなくなれば設定完了です。
さらに調整する場合、手順3～8を繰り返してください。

調整用シートを印刷する

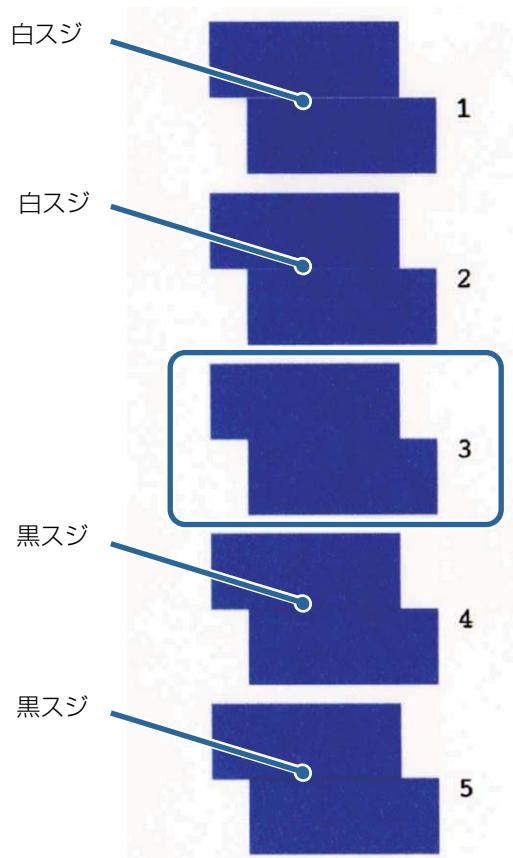
- 1** 長さ 140 mm 以上のダイカットラベル、連続紙または全面ラベル紙をプリンターにセットします。
- 2** 調整方法から**調整用シートを印刷する**を選択し、**調整を実行する**をクリックします。
- 3** 紙送り調整用のシート印刷画面が表示されます。プリンターに用紙がセットされていることを確認し、OK をクリックします。



- 4** 調整用シートが印刷され、**紙送りのずれの調整**画面が表示されます。シートを確認し、すき間または重なりがないパターンの番号を調整値から選択し OK をクリックします。



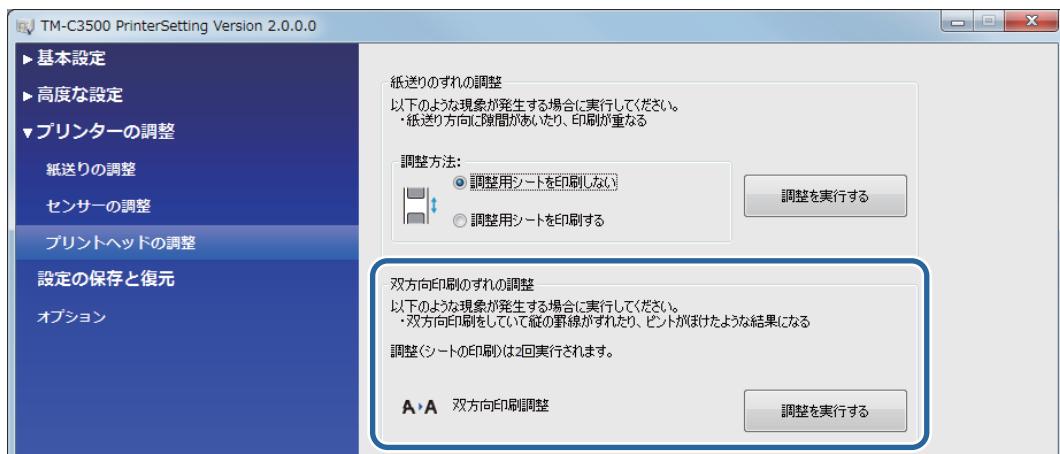
調整用シート印刷例（このパターンの場合、3が適正パターンの番号になります。）



- 5** 調整開始の確認画面が表示されます。**はい**をクリックします。
- 6** 調整が終了すると、終了画面が表示されます。**OK**をクリックします。

双方向印刷のずれの調整

縦横の罫線がずれたり、文字がぼやけたりするような印刷結果のときに、双方向印刷のずれの調整をします。

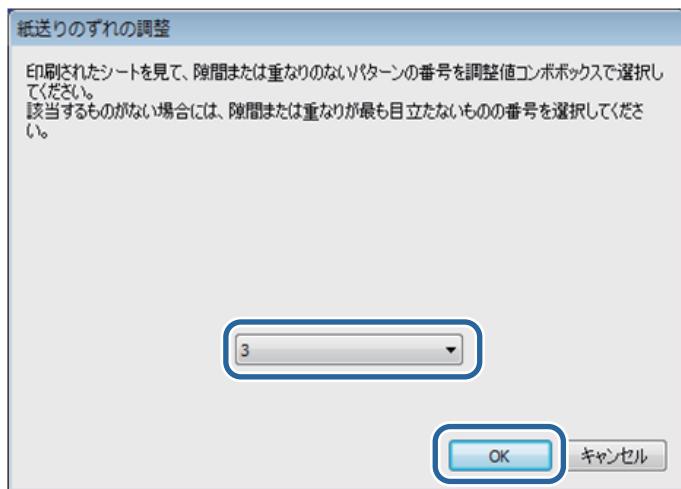


参考 双方向印刷をするかどうかは、プリンタードライバーの**印刷品質 - 詳細設定 - 双方向印刷**で設定します。

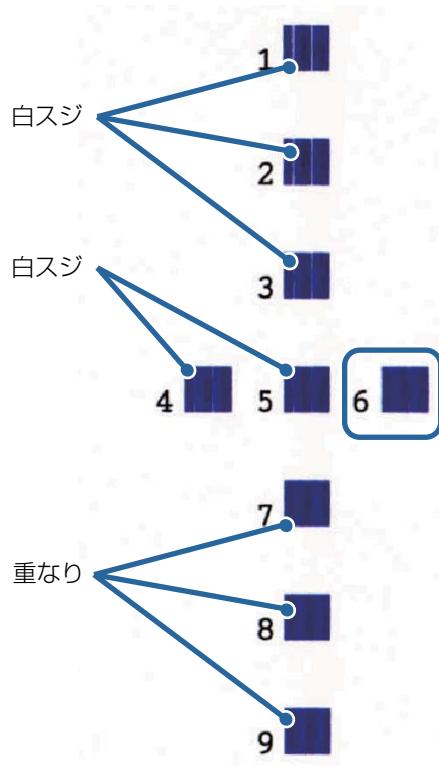
- 1 長さ 140 mm 以上のダイカットラベル、連続紙または全面ラベル紙をプリンターにセットします。
- 2 **調整を実行する**をクリックします。
- 3 双方向印刷 (360x360) 調整用のシート印刷画面が表示されます。プリンターに用紙がセットされていることを確認し、OK をクリックします。



- 4** 調整用シートが印刷され、紙送りのずれの調整画面が表示されます。シートを確認し、すき間または重なりがないパターンの番号を調整値コンボボックスで選択し **OK** をクリックします。

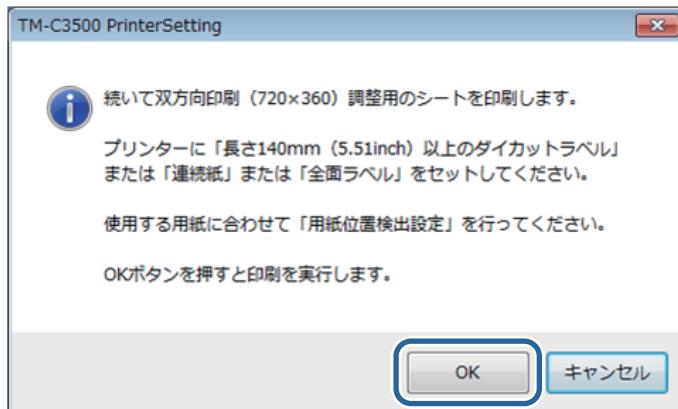


調整用シート印刷例（このパターンの場合、6が適正パターンの番号になります。）

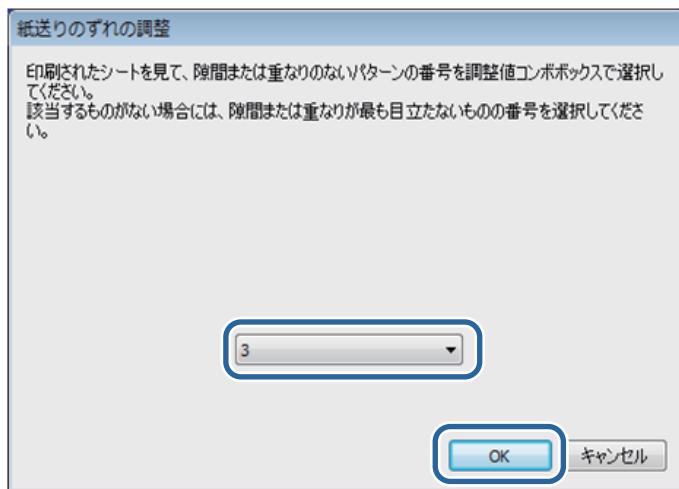


- 5** 調整開始の確認画面が表示されます。はいをクリックします。
- 6** 調整が終了すると、終了画面が表示されます。OK をクリックします。

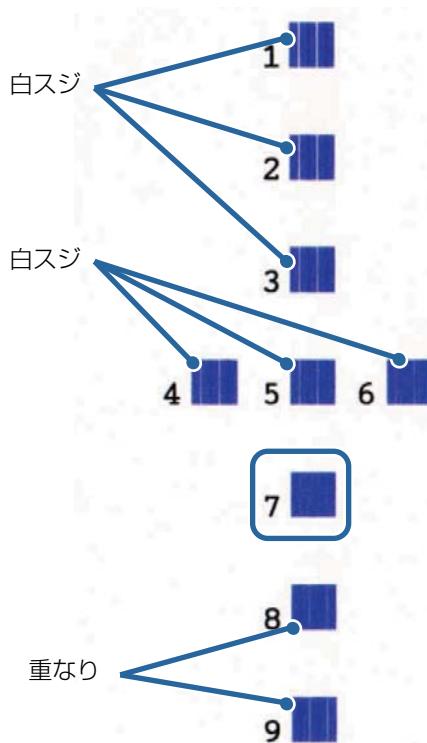
- 7 双方向印刷（720x360）調整用のシート印刷画面が表示されます。プリンターに用紙がセットされていることを確認し、OKをクリックします。



- 8** 調整用シートが印刷され、紙送りのずれの調整画面が表示されます。シートを確認し、すき間または重なりがないパターンの番号を調整値コンボボックスで選択し OK をクリックします。



調整用シート印刷例（このパターンの場合、7 が適正パターンの番号になります。）



- 9** 調整開始の確認画面が表示されます。はいをクリックします。

- 10** 調整が終了すると、終了画面が表示されます。OK をクリックします。

メンテナンス

本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。

外装のクリーニング



注意

汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクロレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

1 本製品の電源をオフにして、電源ケーブルをコンセントから取り外します。

2 乾いた布か少し湿らせた布で汚れを拭き取ってください。

プラテンのクリーニング

プラテンにインクが付着していると、手や用紙が汚れる原因となります。また、プラテン上の穴（3か所）が汚れて塞がっていると、プリンター内にインク汚れが発生することがあります。
不織布および綿棒を使用し、以下の手順でプラテンをクリーニングします。

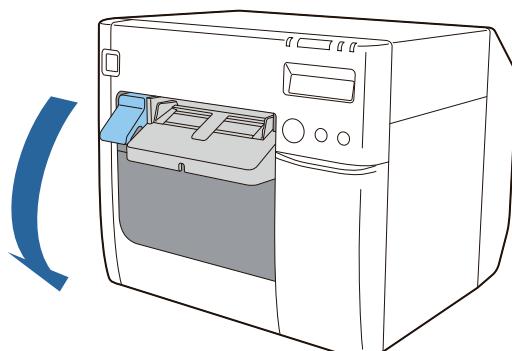


注意

- 水やアルコールは使用しないでください。
- プラテン上のシャッターの位置が変化しないようにしてください。シャッターを正しく開閉しないと、用紙詰まりや用紙汚れの原因となります。
- 3つの検出器を、変形または破損させないよう注意してください。

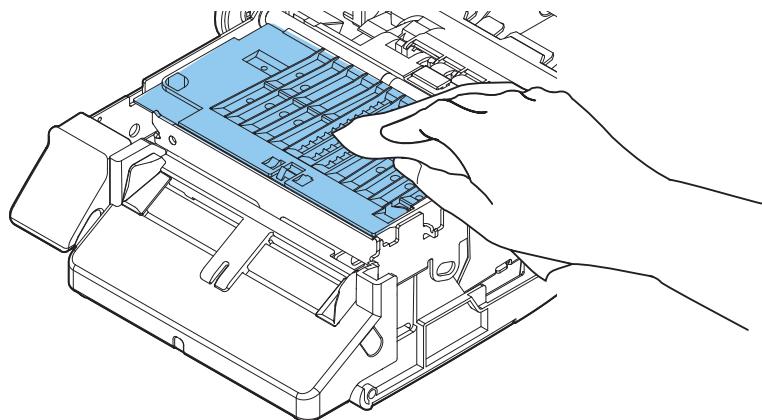
1 本製品の電源をオフにして、AC ケーブルをコンセントから取り外します。

2 リリースレバーを手前に引き、ロール紙カバーを開けます。

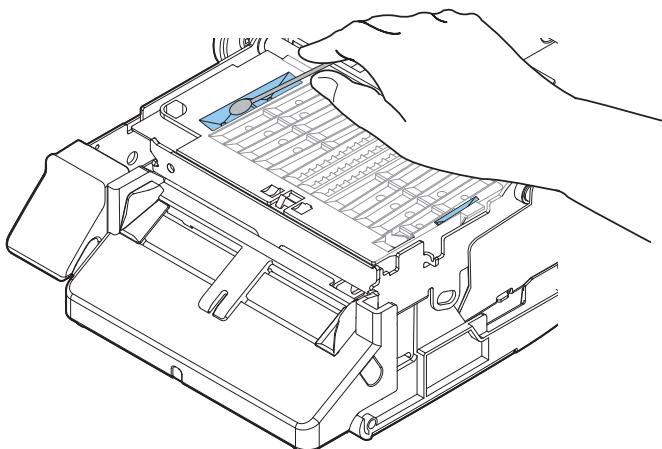


3 ロール紙または、ファンフォールド紙を取り出します。

4 プラテンクリーニング用不織布を使用し、プラテンをクリーニングします。



5 縄棒を使用し、穴や周囲の汚れをクリーニングします。穴が塞がっている場合は汚れを落として必ず貫通させてください。



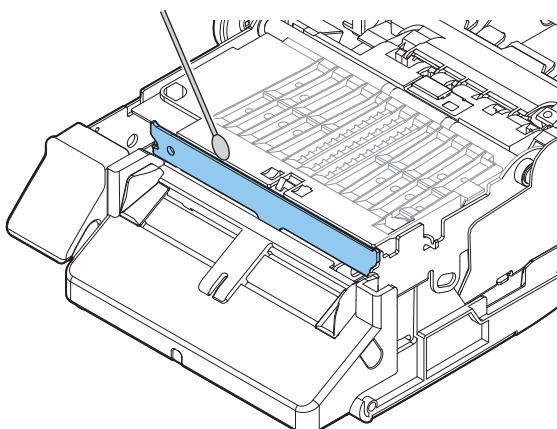
6 ロール紙カバーを閉じます。

以上でプラテンのクリーニングは終了です。

オートカッターのクリーニング

オートカッター固定刃にラベル紙の粘着剤が付着して切れ味が鈍くなる場合があります。
以下の手順でクリーニングしてください。

- 1** 本製品の電源をオフにして、AC ケーブルをコンセントから取り外します。
- 2** ロール紙カバーを開き、用紙を取り除きます。
- 3** ロール紙カバー側のオートカッター固定刃に付着した粘着物を取り除きます。
アルコールを含ませた綿棒などで取り除いてください。

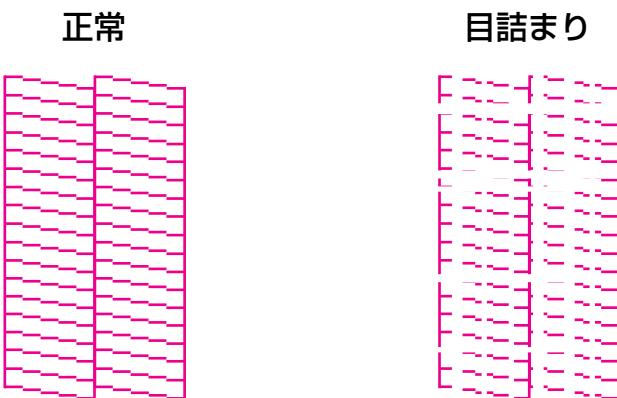


注意 オートカッター固定刃のエッジ部分に、指を直接触れないでください。
指をかけがするおそれがあります。

以上でオートカッターのクリーニングは終了です。

プリンターへのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。



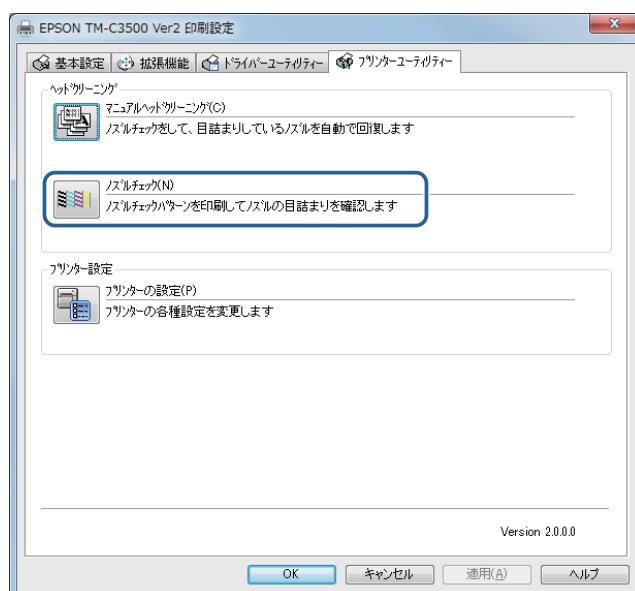
ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェックパターンは、セルフテスト印刷（[69 ページ「セルフテスト印刷」](#)）やプリンタードライバーのノズルチェック機能から印刷できます。

プリンタードライバーから印刷する

- 1 プリンタードライバーを起動します。（[71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」](#)）
- 2 プリンターアイリティタブのノズルチェックをクリックします。



ヘッドクリーニング



重要

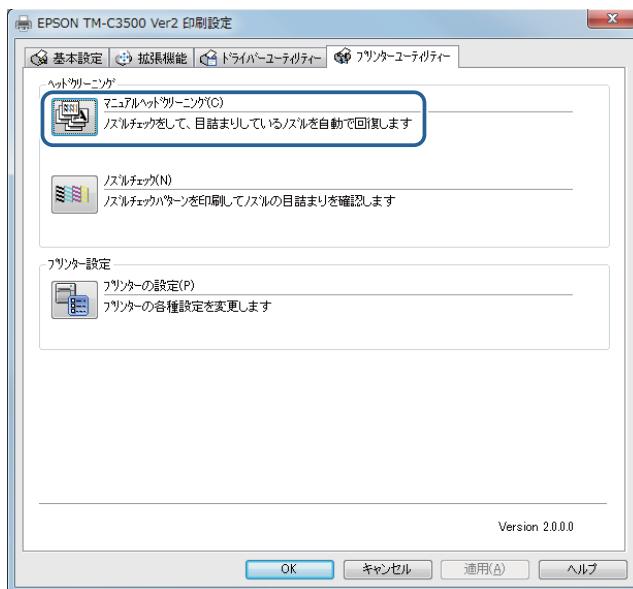
- ヘッドクリーニング中は電源を切ったり、カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングができないことがあります。インクカートリッジを交換してから実行してください。(☞43 ページ「インクカートリッジの交換」)

操作パネルから実行する

クリーニングボタンを 3 秒以上押すと、ヘッドクリーニングを実行します

プリンタードライバーから実行する

- 1 プリンタードライバーを起動します。(☞71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」)
- 2 プリンターウィザリティタブのマニュアルヘッドクリーニングをクリックします。



困ったときは

本章では、トラブルが発生した時の対処方法を説明しています。

トラブル	参照先
操作パネルにメッセージが表示された	132 ページ
印刷品質に問題がある	135 ページ
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる	142 ページ
用紙が詰まった	143 ページ
コンピューターの画面にメッセージが表示された	144 ページ
コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった	145 ページ
電源がオンにならない	147 ページ

操作パネルにメッセージが表示された

操作パネルの LCD にメッセージが表示されたら、以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

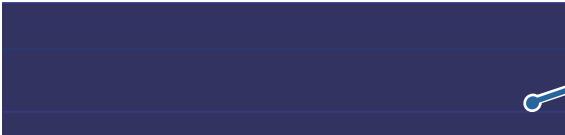
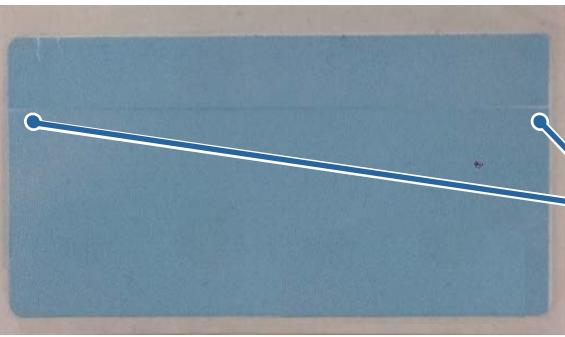
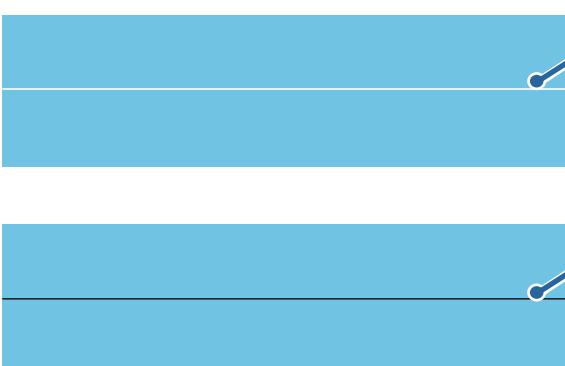
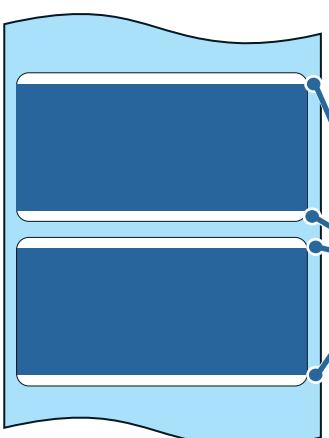
LCD 表示	エラー内容	対処方法と参照先
ヨウシケイタイエラー	「用紙検出設定」に対してセットされた用紙形態が異なります。	<ul style="list-style-type: none">用紙検出設定に合った用紙を使用してください。用紙に合わせて用紙検出設定を設定してください。(☞ 106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)
ヨウシサイズエラー	印刷データの大きさに対して用紙サイズが異なります。	<ul style="list-style-type: none">印刷領域のサイズに合った用紙をセットしてください。用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。(☞ 106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)
ヨウシヅマリエラー ## ## : 59	ファンフォールド紙設定のプリンターでロール紙をセットしました。	給紙装置に合った用紙をセットしてください。(☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞ 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」)
ヨウシヅマリエラー## ## : 01 ~ 0E, 44, 55 ~ 5C, 80	用紙詰まりが発生しました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。(☞ 143 ページ「用紙が詰まった」)
ヨウシヅマリエラー## ## : 81	ロール紙設定のプリンターにファンフォールド紙をセットしました。	給紙装置に合った用紙をセットしてください。(☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞ 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」)
ヨウシジョキヨエラー	プリンター内にファンフォールド紙が残っている状態で、ファンフォールド紙が挿入されました。	紙出口部にある用紙を取り除いた後、用紙をセットしてください。(☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞ 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」)
ヨウシナシ	用紙がありません。	用紙をセットしてください。(☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞ 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」)
ヨウシナシエラー	用紙がありません。	(☞ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞ 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」)
ロールシカバーオープン	ロール紙カバーが開いています。	ロール紙カバーを閉じてください。
インクカバーオープン	インクカートリッジカバーが開いています。	インクカートリッジカバーを閉じてください。

LCD 表示	エラー内容	対処方法と参照先
インクカートリッジナシ	インクカートリッジが装着されていません。	十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (34 ページ「インクカートリッジのセット」)
インクカートリッジエラー	インクカートリッジの情報が読み取れません。	<ul style="list-style-type: none"> インクカートリッジを取り付けなおしてください。 再度エラーが発生する場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
メンテナンスカバー オープン	メンテナンスボックスカバーが開いています。	メンテナンスボックスカバーを閉じてください。
メンテナンスボックスナシ	メンテナンスボックスが装着されていません。	十分な残量のあるメンテナンスボックスを取り付けてください。 (32 ページ「メンテナンスボックスのセット」)
メンテナンスボックスエラー	メンテナンスボックスの情報が読み取れません。	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスボックスを取り付けなおしてください。 再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。 (44 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
インクカートリッジコウカン	インクカートリッジの交換時期です。	十分な残量のあるインクカートリッジに交換してください。 (43 ページ「インクカートリッジの交換」)
メンテナンスボックスコウカン	メンテナンスボックスの交換時期です。	十分な残量のあるメンテナンスボックスに交換してください。 (44 ページ「メンテナンスボックスの交換」)
ノズルレヅマリアリ	回復できないノズル詰まりが発生しています。	印刷結果を確認し、印刷結果に満足できない場合は修理を依頼してください。
カットドウサフカジョウタ イ	用紙が同じ位置のまま、二度以上オートカットを実行しようとしています。	オートカットは不要です。
サービスコールマヂカ # #	プリンター内部品が寿命間近です。	プリンターの交換や交換用プリンターを準備してください。
プリンターエラー# # # #: 7B, 7C	環境温度が低すぎる(7B)、または高すぎる (7C)。	10 °C以上 35 °C以下の環境で、再起動してください。

LCD 表示	エラー内容	対処方法と参照先
プリンターエラー## ##:20～54, 64～75, A9, B0～DA	<p>以下のいずれかが発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 紙詰まり • オートカット動作不良 • 異常環境温度 • 故障 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源をオフにします。(42 ページ「電源のオフ」) 2. ロール紙カバーを開けます。 3. 紙詰まりがないか確認します。 紙詰まりがある場合は、紙を取り除きます。 4. 用紙をセットし直します。 5. 電源をオンにします。(41 ページ「電源のオン」) <p>再度エラーが発生する場合、修理を依頼してください。</p>
サービスコール##	プリンター内部品が寿命を超過しました。	プリンターを交換するか、修理を依頼してください。
アップデートチュウ	ファームウェアアップデートに失敗しました。	電源を入れ直し、再度エラーが発生する場合、修理を依頼してください。

印刷品質に問題がある

以下の印刷例から原因を探し、トラブルを解決してください。

印刷例	トラブルの内容
	横方向に白スジが印刷される (136 ページ)
	端の方に白スジや黒スジが印刷される (136 ページ)
	白スジや黒スジが印刷される (137 ページ)
	カス取りダイカットラベル使用時、紙送り方向に対して前後に余白ができる (138 ページ)

印刷例	トラブルの内容
	印刷がぼやける・文字が二重になる (139 ページ)
	二重になる
その他	<ul style="list-style-type: none"> 印刷された色がおかしい (139 ページ) 印刷位置がずれる (139 ページ) 用紙が汚れる、インクが付着する (140 ページ) 印刷データが切れる・オートカット位置がずれる (140 ページ) ラベルサイズと印刷領域が異なる (141 ページ) ラベルの余白が大きい(141 ページ)

横方向に白スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
ドット抜けが発生しています。	<p>ノズルチェックを使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。</p> <p>ノズルの目詰まりが発生している場合、ヘッドクリーニングを実行してください。クリーニングボタンを 3 秒以上押すとヘッドクリーニングが実行されます。</p> <p>印刷動作モードがドット抜け防止モード以外の場合、ドット抜けを許容します。1 ドットの抜けも許容できない場合、印刷動作モードをドット抜け防止モードに変更してください。(99 ページ 「自動ノズルチェックシステム」)</p>

端の方に白スジや黒スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
用紙外側のプラテン上のシャッターが開いている。	<p>用紙外側のプラテン上のシャッターが開いている場合、気流により印刷が乱れ印刷に白スジが入る場合があります。</p> <p>プリンタ天面ラベルの指示に従いプラテン上のシャッターを設定してください。(64 ページ 「シャッターの調整」)</p>

白スジや黒スジが印刷される

印刷面にかすれやスジ（白スジ / 黒スジ）が入る場合、以下の手順に従うことで効率的に対処できます。25.4 mm（1 インチ）毎の紙送り方向のスジは、軽減できる場合がありますが、完全にはなくなりません。

原因	対処方法と参照先
用紙が正しくセットされていません。	用紙をセットし直してください。（ 45 ページ「ロール紙のセット・交換」 、 54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」 ）



お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。（ 71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」 ）
----------------------	--



用紙によっては紙送り量が変わることで、白スジや黒スジが見られる場合があります。	紙送りのズレを調整してください。 プリンタードライバーのプリンターユーティリティータブで プリンターの設定 をクリックし、表示された PrinterSetting の プリンターの調整-プリントヘッドの調整-紙送りのずれの調整 を実施してください。（ 106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」 ）
---	--



印刷品質でバンディング低減が選択されていません。	用紙種類が 普通紙 、 リストバンド 以外の場合、 バンディング低減 を選択することで、白スジや黒スジが目立たなくなる場合があります。 プリンタードライバーの 基本設定タブ - 用紙定義 から使用している用紙定義を選択します。編集画面で 印刷品質 - バンディング低減 を選択してください。（ 71 ページ「プリンタードライバーの表示方法」 ） この場合、印刷速度が低下します。
--------------------------	--



以上の手順を行っても、症状が改善しない場合は、修理を依頼してください。

紙送り方向に対して前後に余白ができる

台紙が薄い（透過率が高い）カス取りダイカットラベルを使用すると、プリンターがラベルを検出できず、紙送り方向に対し前後に余白ができる場合があります。



重要

実印刷位置と用紙のセット位置によっては印刷が台紙にはみ出す可能性があります。手や用紙が汚れる可能性がありますので注意してください。

対処方法と参照先

印刷開始位置を調整し、前の余白を埋めます。

- PrinterSetting を起動します。
([106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」](#))
- プリンターの調整- 紙送りの調整 メニューから 印刷開始位置の調整（垂直方向）を実行します。
- 紙送り方向に対し (-) 方向に調整値を入力します。調整値は余白の大きさに合わせてください。



プリンターの印刷領域を広げ、後ろの余白を埋めます。

- 本製品の電源をオフにします。
([42 ページ「電源のオフ」](#))
- インクカートリッジカバーを開き、ディップスイッチのカバーを外します。
- 先の細いものを使って、ディップスイッチ 3 を ON に切り替えます。ディップスイッチは左から順に番号が振られています。上側が ON、下側が OFF の状態です。
- ディップスイッチのカバーを取り付け、インクカートリッジカバーを閉じます。
- 本製品の電源をオンにします。
([41 ページ「電源のオン」](#))

印刷がぼやける・文字が二重になる

原因	対処方法と参照先
用紙によっては、紙厚が変わるため印刷がぼやける場合があります。	双方向印刷のズレを調整してください。 プリンタードライバーのプリンタユーティリティタブでプリンターの設定をクリックし、表示された PrinterSetting のプリンターの調整 - プリントヘッドの調整 - 双方向印刷のずれの調整を実施してください。(☞118 ページ「プリントヘッドの調整」)
用紙外側のプラテン上のシャッターが開いています。	用紙外側のプラテン上のシャッターが開いている場合、気流により印刷が乱れ外側の印刷がぼやける場合があります。 プリンタ一天面ラベルの指示に従いプラテン上のシャッターを設定してください。(☞64 ページ「シャッターの調整」)

印刷された色がおかしい

原因	対処方法と参照先
初期充てん後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合(混色)があります。	マニュアルヘッドクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。(☞118 ページ「プリントヘッドの調整」) クリーニングボタンを 3 秒以上押すとヘッドクリーニングが実行されます。

印刷位置がずれる

原因	対処方法と参照先
用紙が中央にセットされていません。	用紙をセットしたときに用紙が中央からずれてセットされた場合、用紙セット直後の印刷が横方向にずれる場合があります。 用紙ガイドを使用し、用紙を中央にセットするか、用紙を送ってから印刷を開始してください。
用紙の終端が近づいています。	用紙の終端が近づくと、印刷が横方向にずれる、またはぼやける場合があります。 新しい用紙に交換してください。

用紙が汚れる・インクが付着する

原因	対処方法と参照先
用紙幅とプラテン上のシャッターが合っていません。	用紙幅とプラテン上のシャッターが合っていない場合、用紙が浮くことで用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れる場合があります。 プリンターハンマーラベルの指示に従いプラテン上のシャッターを設定してください。(☞64ページ「シャッターの調整」)
お使いの用紙と用紙種類設定が異なります。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。(☞71ページ「プリンタードライバーの表示方法」)
ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。	マニュアルヘッドクリーニングを実行してください。 クリーニングボタンを3秒以上押すとヘッドクリーニングが実行されます。
用紙によっては、プラテンの吸引力が足りずに用紙とプリントヘッドが擦れ、用紙が汚れる場合があります。	プラテン吸引力手動設定が必要です。 プリンタードライバーの拡張機能タブ-プラテン吸引力手動設定で吸引力を設定してください。

印刷データが切れる・オートカット位置がずれる

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と用紙定義が合っていません。	用紙とプリンタードライバーの用紙定義が合っていないと、正しい位置に印刷されない場合があります。 用紙定義を正しく設定してください。(☞74ページ「用紙を登録する(用紙定義)」)
用紙の違いなどにより、印刷位置がずれる場合があります。	位置調整が必要です。 プリンタードライバーのプリンタユーティリティタブでプリンターの設定をクリックし、表示された PrinterSetting のプリンターの調整-紙送りの調整を実施してください。 カット位置、印刷開始位置(垂直方向) 印刷開始位置(水平方向)の調整が可能です。(☞106ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)

ラベルサイズと印刷領域が異なる

原因	対処方法と参照先
製品の仕様です。	プリンタードライバーの拡張機能タブで、 フチなし を有効にしない場合、ラベルサイズから上下左右 1.5 mm の余白を除いた領域が印刷可能領域となります。 ラベルサイズすべてを印刷可能領域としたい場合、 フチなし を有効にしてください。 フチなし を有効にした場合、台紙部分に印刷する可能性がありますので、印刷データ内で上下左右 1.5 mm の余白を取ってください。

ラベルの余白が大きい

原因	対処方法と参照先
余白設定が大きいです。	アプリケーションの余白設定を確認して、上下左右の余白を 1.5 mm に設定してください。

用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる

- 用紙形態：全面ラベル、連續紙、透明台紙全面ラベルの場合

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と 用紙検出設定 が異なります。	お使いの用紙とプリンターの 用紙検出設定 をご確認ください。(☞106ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)
センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

- 用紙形態：ダイカットラベル（ギャップ基準）、透明台紙ダイカットラベルの場合

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と 用紙検出設定 が異なります。	お使いの用紙とプリンターの 用紙検出設定 をご確認ください。(☞106ページ「PrinterSetting の機能と使い方」)
用紙の透過率が仕様外です。	用紙の透過率が異なり、ギャップを認識できない場合があります。ギャップ検出には赤外光を使用しており、台紙の赤外光透過率が規定値以上、ラベル部の赤外光透過率が規定値以下である必要があります。 用紙の仕様を確認し、プリンター仕様に合った用紙を使用してください。 また、 ラベル間ギャップ検出センサーの調整 により認識できる場合があります。 プリンタードライバーの プリンタユーティリティータブ で プリンターの設定 をクリックし、表示された PrinterSetting の プリンターの調整 - センサーの調整 - ラベル間ギャップ検出センサーの調整 を実施してください。
センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。
ファンフォールド紙のギャップが検出できない。	ファンフォールド紙は、紙詰まり防止のためロール紙よりも厚めの台紙を指定しています。そのため、純正紙であってもギャップを検出できない場合があります。 ギャップを検出できない場合は、プリンタードライバーの プリンタユーティリティータブ で プリンターの設定 をクリックし、表示された PrinterSetting の プリンターの調整 - センサーの調整 - ラベル間ギャップ検出センサーの調整 を実施してください。 ギャップ検出センサーを調整してもギャップを検出できない場合は、ブラックマークによる位置検出に変更してください。

- 用紙形態：ダイカットラベル（ブラックマーク基準）、連続紙（ブラックマーク基準）

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と用紙検出設定が異なります。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定をご確認ください。 （☞106 ページ「PrinterSetting の機能と使い方」）
ブラックマークが仕様外です。	ブラックマークの反射率が規定値よりも高い場合、ブラックマークを認識できない場合があります。ブラックマーク検出には赤外光を使用しており、赤外光反射率が規定値以下である必要があります。 ブラックマーク印刷の仕様を確認し、プリンター仕様に合ったブラックマークを使用してください。 また、 ブラックマーク検出センサーの調整 により認識できる場合があります。 プリンタードライバーのプリンターユーティリティータブでプリンターの設定をクリックし、表示された PrinterSetting のプリンターの調整 - センサーの調整 - ブラックマーク検出センサーの調整を実施してください。
センサーが故障しています。	今まで正常に動作していた場合はセンサーの故障が考えられます。修理を依頼してください。

用紙が詰まった

紙詰まりが発生した場合、以下の手順で取り除いてください。

- 1 本製品の電源をオフにします。[（☞42 ページ「電源のオフ」）](#)
- 2 ロール紙カバーを開けます。
- 3 紙詰まりがある場合は、紙を取り除きます。
- 4 用紙をセットし直します。[（☞45 ページ「ロール紙のセット・交換」、☞54 ページ「ファンフォールド紙のセット・交換」）](#)
- 5 本製品の電源をオンにします。[（☞41 ページ「電源のオン」）](#)

コンピューターの画面にメッセージが表示された

以下の画面が表示された場合は、画面の指示に従って対処してください。



コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。

本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

- 1** コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。
- 2** 本製品のプリンターナー名が表示されているか確認します。表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。
- 3** プリンタードライバーをインストールします。[（27 ページ「プリンタードライバーのインストール」）](#)

プリンターとコンピューターを再接続

- 1** ケーブルの接続を確認します。
電源 / USB / 有線 LAN の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。
- 2** すべての機器を再接続します。
USB 接続の場合
 - USB ケーブルをいったん抜き、再度接続します。
 - コンピューターに複数の USB コネクターがある場合、別のコネクターに差し替えます。有線 LAN の場合
 - 有線 LAN で接続されている機器が不安定になっている可能性があるため、ネットワークを再起動します。



参考

ネットワーク管理者がいる場合、ネットワーク管理者の指示にしたがってください。

- 3** コンピューターからプリンターにデータが送信されているか確認します。
確認方法は [146 ページ「印刷データの確認」](#) を参照してください。

印刷データの確認

コンピューターからプリンターに印刷データが送られていない場合、「印刷ジョブ」としてコンピューター内に残っていることや、「印刷の一時停止」、「オフライン」設定になっていることが原因として考えられます。

以下の手順で確認してください。

- 1** コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。
- 2** 本製品を、通常使うプリンターに設定します。
使用するプリンターのアイコンを右クリックし、通常使うプリンターに設定をクリックします。
何度もプリンタードライバーをインストールすると、プリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。
アイコンが複数あり、「TM-C3500（コピー 1）」などのコピーができている場合、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックして、デバイスの削除をクリックして削除してください。
- 3** テスト印刷して、印刷データがプリンターに送られているか確認します。
使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、プリンターのプロパティをクリックします。
- 4** プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。全般タブのテストページの印刷をクリックします。
テスト印刷できた場合、コンピューターからプリンターにデータが送信されていることが確認できました。
- 5** 印刷ジョブを表示します。使用しているプリンターのアイコンを右クリックし、印刷ジョブの表示をクリックします。
- 6** 画面が表示されます。印刷ジョブを確認します。
印刷データが表示されている場合、プリンター - すべてのドキュメントの取り消しを選択します。
- 7** プリンターが一時停止または、プリンターをオフラインで使用する設定になっていない確認します。
プリンターを選択し、一時停止およびプリンターをオフラインで使用するにチェックが入っていないか確認します。チェックが入っていた場合、チェックを外します。

電源がオンにならない

電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。(☞[30 ページ「電源の接続」](#))

仕様

本章では、本製品の仕様を説明しています。

製品仕様

印刷方式		シリアルインクジェットドットマトリクス 4色カラー印刷
紙送り方式		フリクションフィードによる正逆方向送り
オートカッター	カット方式	刃分離型ハサミ方式
	カット形態	フルカット（完全切り離し）
画像解像度		360 dpi × 360 dpi, 720 dpi × 360 dpi
印刷速度	印刷品質設定：速い 360 × 360 dpi (横 × 縦)	用紙幅 56 mm: 95 mm/s 用紙幅 72 mm: 89 mm/s 用紙幅 104 mm: 78 mm/s
	印刷品質設定：きれい 720 × 360 dpi (横 × 縦)	用紙幅 56 mm: 52 mm/s 用紙幅 72 mm: 48 mm/s 用紙幅 104 mm: 42 mm/s
	印刷品質設定：バンディング低減 720 × 360 dpi (横 × 縦)	用紙幅 56 mm: 30 mm/s 用紙幅 72 mm: 27 mm/s 用紙幅 104 mm: 24 mm/s
インターフェイス		LAN (100 Base-TX/10 Base-T) USB 2.0 ハイスピード
質量		約 12.0 kg (インクカートリッジ、メンテナンスボックス、AC アダプター、ロール紙は含まれません。)



LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上のシールドされているケーブルを使用してください。



印刷速度は、当社の動作条件における測定結果です。印刷データや環境条件によって変わります。

電気的仕様

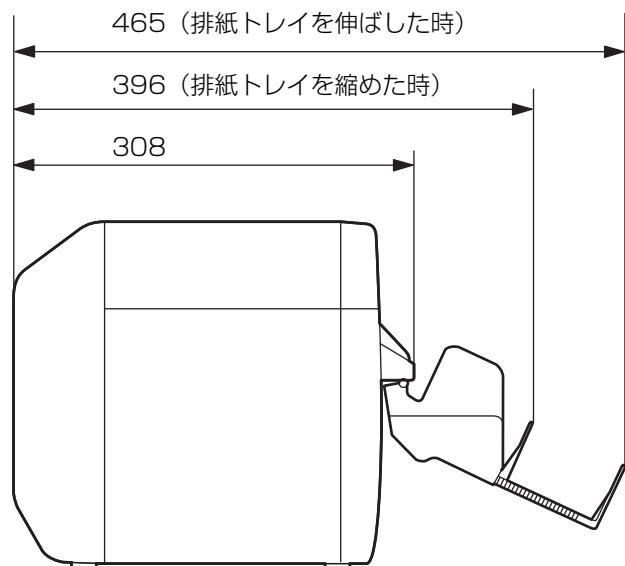
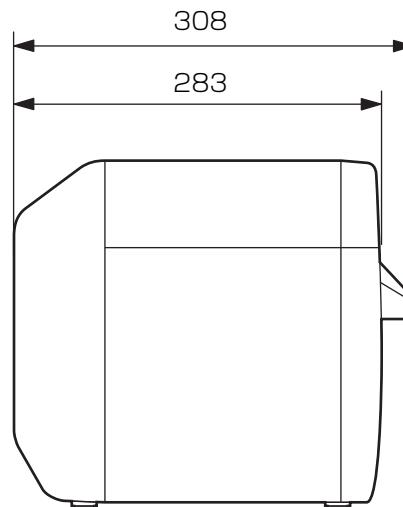
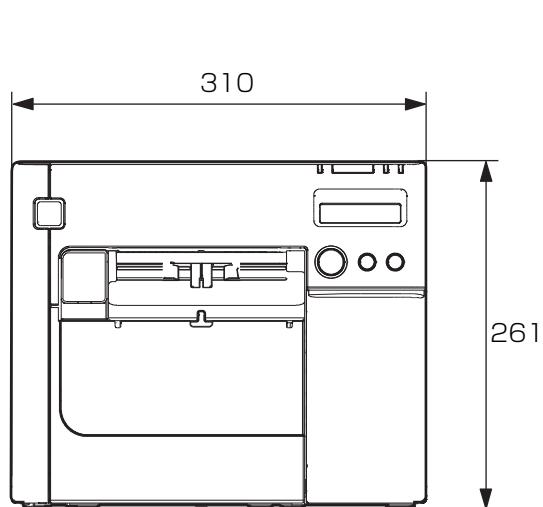
電源供給	専用 AC アダプター (AC adapter, K 型番 : M248A)
------	--

定格電圧	DC 42 V	
定格電流	0.85 A	
消費電力 *	動作時	平均 約 30 W (ピーク時 50 W)
	待機時	平均 約 2.5 W
	電源 OFF 時	平均 約 0.3 W

* 動作時は、弊社動作条件による

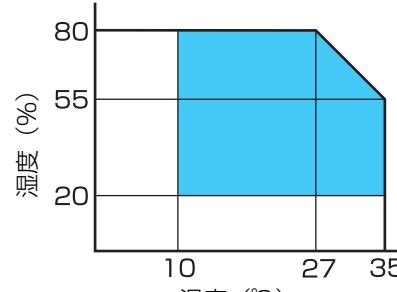
外形寸法

- 高さ : 261 mm
- 幅 : 310 mm
- 奥行き : 283 mm



[単位:mm]

環境仕様

項目		仕様
温度／湿度	印刷時	10～35°C、20～80%RH 非結露 
	バーコード印刷時	15～35°C、20～80%RH 非結露
	保管時	出荷梱包状態(インク非充てん):-20～60°C、5～85%RH 非結露 -20°C または 60°C の場合 120 時間以内 インク充てん状態 : -20～40°C -20°C の場合 120 時間以内 0～30°C の場合 1ヵ月以内 40°C の場合 1ヵ月以内
気圧（標高）	使用時	850～1060 hPa (標高 0～1500 m 相当)
	非使用時 (輸送を含む)	850～1060 hPa (標高 0～1500 m 相当)
騒音	動作時 (オートカット動作を含む)	約 56 dB (ANSI Bystander position) 弊社評価条件によります。

用紙仕様

本製品で使用可能な用紙の仕様は以下のとおりです。

連続紙

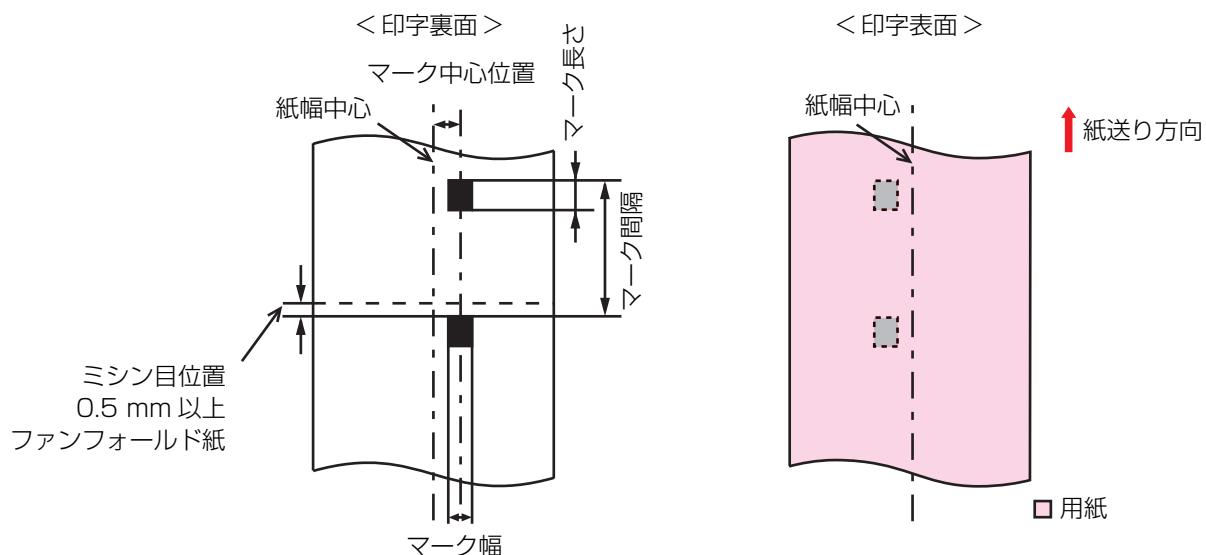
用紙種類	普通紙 / マット紙
形状	ロール紙
紙幅	30 ~ 108 mm
紙厚	0.084 ~ 0.124 mm
巻芯	外径 : 44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側



重要

穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

連続紙（ブラックマーク基準）



用紙種類	普通紙 / マット紙
形状	ロール紙
紙幅	30 ~ 108 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ラベル長さ	15 ~ 1117.6 mm
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 (空白部 4 mm 以上)
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	8 ~ 1117.6 mm
紙厚	0.084 ~ 0.124 mm
巻芯	外径 : 44.1 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側



重要

穴、切り欠きのある用紙は使用できません。

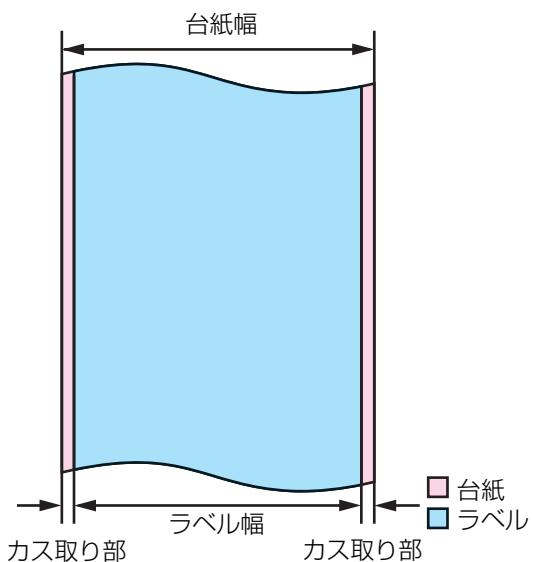
用紙種類	普通紙 / マット紙
形状	ファンフォールド紙
紙幅	50 ~ 108 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 (空白部 4 mm 以上)
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	8 ~ 304.8 mm
紙厚	0.124 ~ 0.128 mm
ミシン目間隔	203.2 ~ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベル: 1 mm アンカット、5 mm カット マット紙: 1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	500 折り以下



重要

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ファンフォールド紙は、ブラックマークがミシン目から 0.5 mm 以上離れているものを使用してください。
- ファンフォールド紙のオートカット位置は、ミシン目の後ろ側から 0.5 ~ 1 mm 離れた位置に設定してください。
- 用紙両端のミシン目はアンカットのものを使用してください。
- 用紙を逆方向から挿入しても使用できるようにするには、どちらの方向から挿入しても、ブラックマークがミシン目に対して同じ位置にくるように（ブラックマークセンサーで検出できる位置に）してください。

全面ラベル



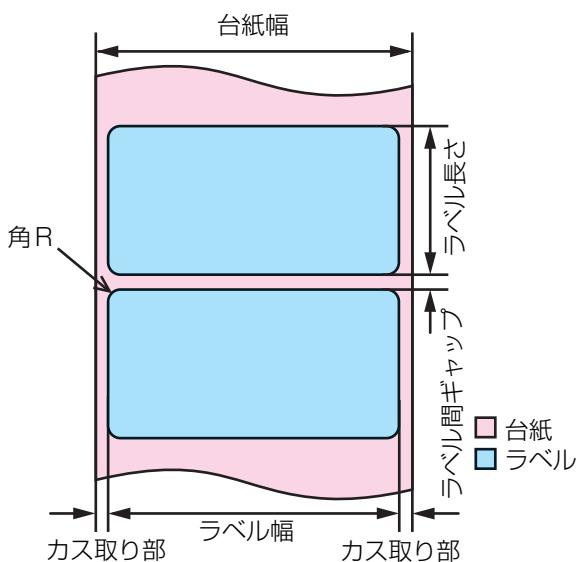
用紙種類	普通紙ラベル/マット紙ラベル/合成紙ラベル/光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ~ 112 mm
ラベル幅	25.4 ~ 108 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル： 0.129 ~ 0.195 mm 光沢紙ラベル： 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル： 外径：44.1 mm 以上 光沢紙ラベル： 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側



重要

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ロール紙供給部への粘着材の付着を防止するため、左右端をカス取りしたラベルを使用してください。

ダイカットラベル（ギャップ基準）



用紙種類	普通紙ラベル/マット紙ラベル/合成紙ラベル/光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ~ 112 mm
ラベル幅	25.4 ~ 108 mm
ラベル長さ	8 ~ 1117.6 mm
ラベル間ギャップ	3 ~ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
ラベル角 R	1.5 mm 以下
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 合成紙ラベル： 0.129 ~ 0.195 mm 光沢紙ラベル： 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル / 合成紙ラベル： 外径：44.1 mm 以上 マット紙ラベル / 光沢紙ラベル： 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側



重要

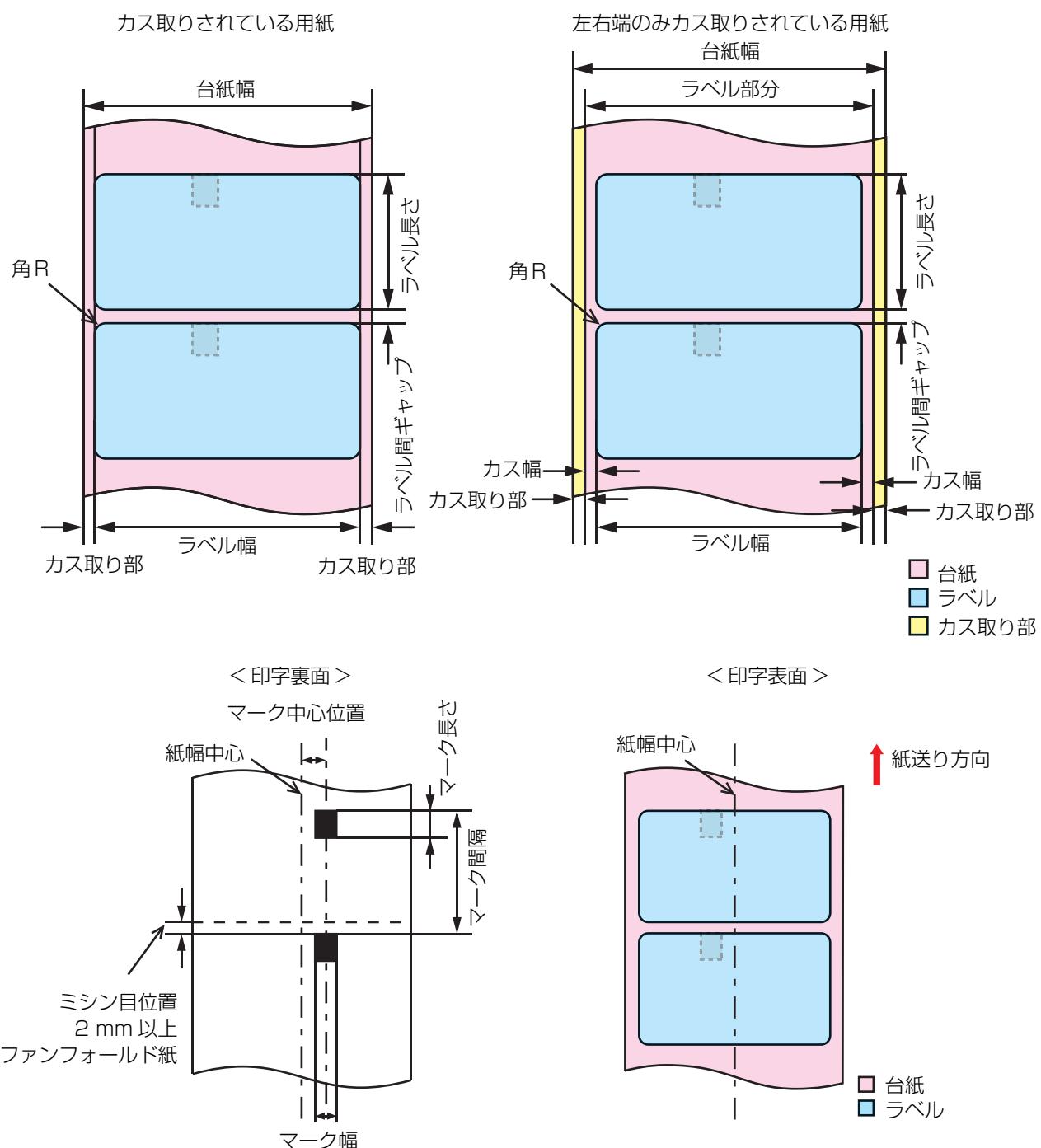
- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- 台紙が合成紙やフィルムの場合、ミシン目があっても手切りしにくいため、その際にはミシン目を使用しないでください。



参考

ダイカットラベルを使用する場合、型抜きされたラベルの形状によっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

ダイカットラベル（ブラックマーク基準）



用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル / 光沢紙ラベル
形状	ロール紙
台紙幅	30 ~ 112 mm
ラベル幅	25.4 ~ 108 mm
ラベル長さ	8 ~ 1117.6 mm
ラベル間ギャップ	3 ~ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
カス幅	1.5 mm 以上
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 (空白部 4 mm 以上)
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	11 ~ 1123.6 mm
紙厚	普通紙ラベル / マット紙ラベル： 0.129 ~ 0.143 mm 光沢紙ラベル： 0.184 mm
巻芯	普通紙ラベル： 外径：44.1 mm 以上 マット紙ラベル / 光沢紙ラベル： 外径：56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側



重要

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ダイカットラベルへのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- 「カス取りされている用紙」と「左右端のみカス取りされている用紙」の両方が使用できます。



参考

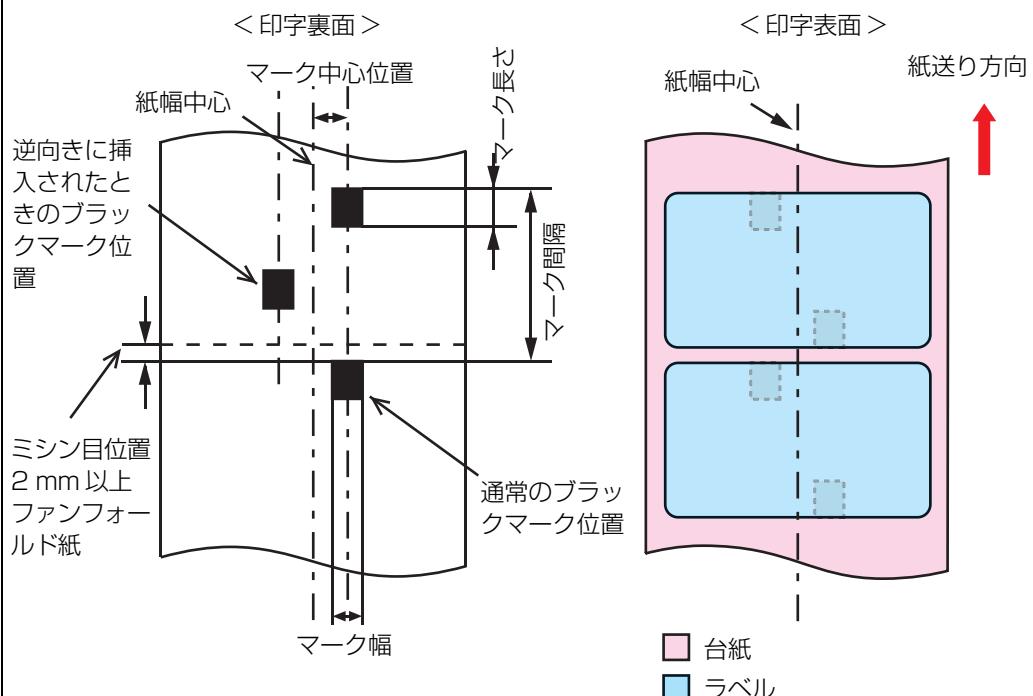
ダイカットラベルを使用する場合、型抜きされたラベルの形状によっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

用紙種類	普通紙ラベル / マット紙ラベル
形状	ファンフォールド紙
台紙幅	50 ~ 112 mm
ラベル幅	46 ~ 108 mm
ラベル長さ	8 ~ 301.8 mm
ラベル間ギャップ	3 ~ 6 mm
左右カス取り部	2 ± 0.5 mm
カス幅	1.5 mm 以上
ラベル角 R	1.5 mm 以下
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 (空白部 4 mm 以上)
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク間隔	11 ~ 304.8 mm
紙厚	0.161 ~ 0.164 mm
ミシン目間隔	203.2 ~ 304.8 mm
ミシン目形状	普通紙ラベル : 1 mm アンカット、5 mm カット マット紙ラベル : 1 mm アンカット、5 mm カット
折り数	500 折り以下

- 穴、切り欠きのある用紙は使用できません。
- ミシン目の上をオートカットすると小さな紙片が発生し、不具合が生じる場合があります。また、ミシン目の前側をオートカットすると紙送り時に不具合を生じる可能性があります。このため、ミシン目の後ろ側を0.5～1 mm離してオートカットしてください。
- ブラックマーク位置はミシン目より2 mm以上離してください。
- ダイカットラベル紙へのブラックマーク位置はラベル先端とブラックマーク先端を合わせてください。
- 用紙両端のミシン目はアンカットとしてください。
- 「カス取りされている用紙」と「左右端のみカス取りされている用紙」の両方が使用できます。
- 両側にブラックマークを設けることで、用紙がどちら側から挿入されても使用することができます。



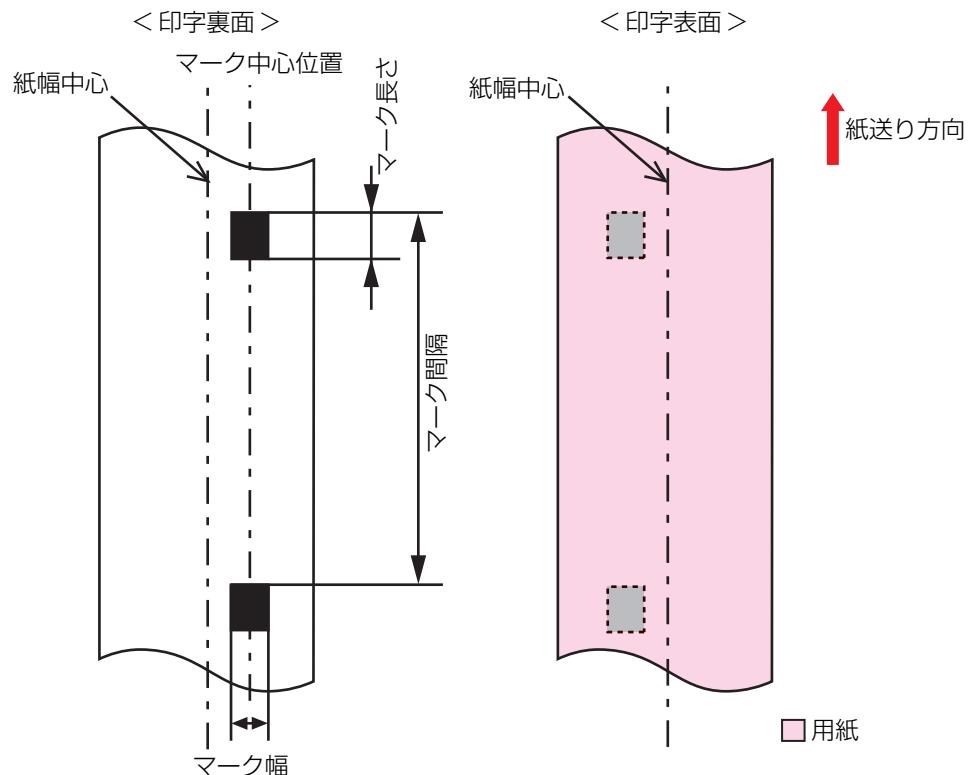
重要



参考

ダイカットラベルを使用する場合、型抜きされたラベルの形状によっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあります。仕様以外のダイカットラベルを使用したい場合は、事前に販売店にお問い合わせください。

リストバンド



用紙種類	リストバンド
指定専用紙	WB-S シリーズ、WB-M シリーズ、WB-L シリーズ
形状	ロール紙
紙幅	36 mm
ブラックマーク幅	13 mm 以上
ブラックマーク長さ	4 mm 以上 (空白部 4 mm 以上)
ブラックマーク中心位置	8.5 ± 1 mm
ブラックマーク 間隔	WB-S シリーズ 184.1 mm
	WB-M シリーズ 292.1 mm
	WB-L シリーズ 292.1 mm
紙厚	0.225 mm
巻芯	外径 : 56.8 mm 以上
外径	最大 101.6 mm
巻き方向	印字面が外側
穴、切り欠き	穴径 : 2.5 mm 以下



重要

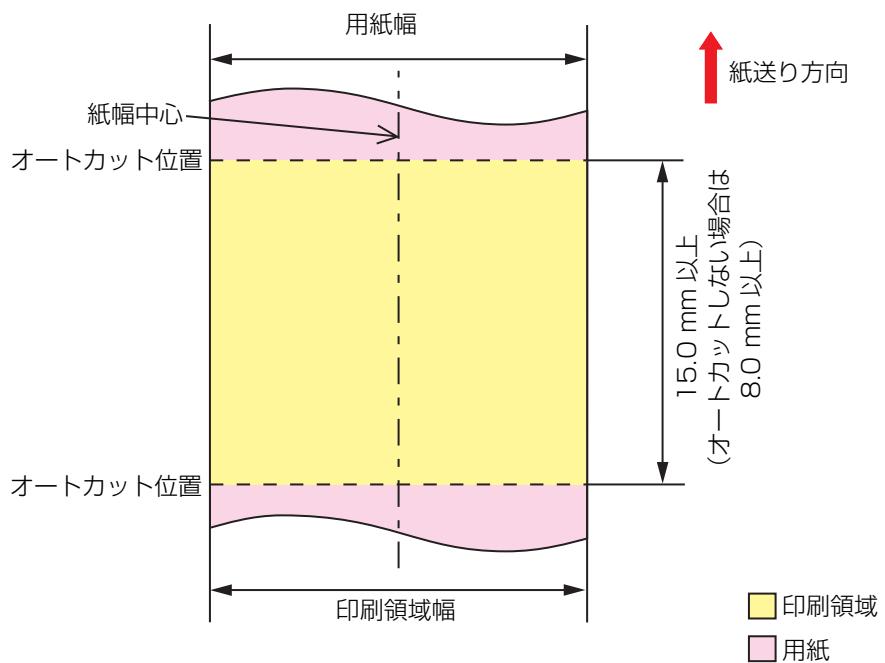
バーコードを印刷する場合、クワイエットゾーンを含めて、実際の運用上バーコードが読み取れることを確認してください。

印刷位置とカット位置

連続紙・ロール紙

「フチなし」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）

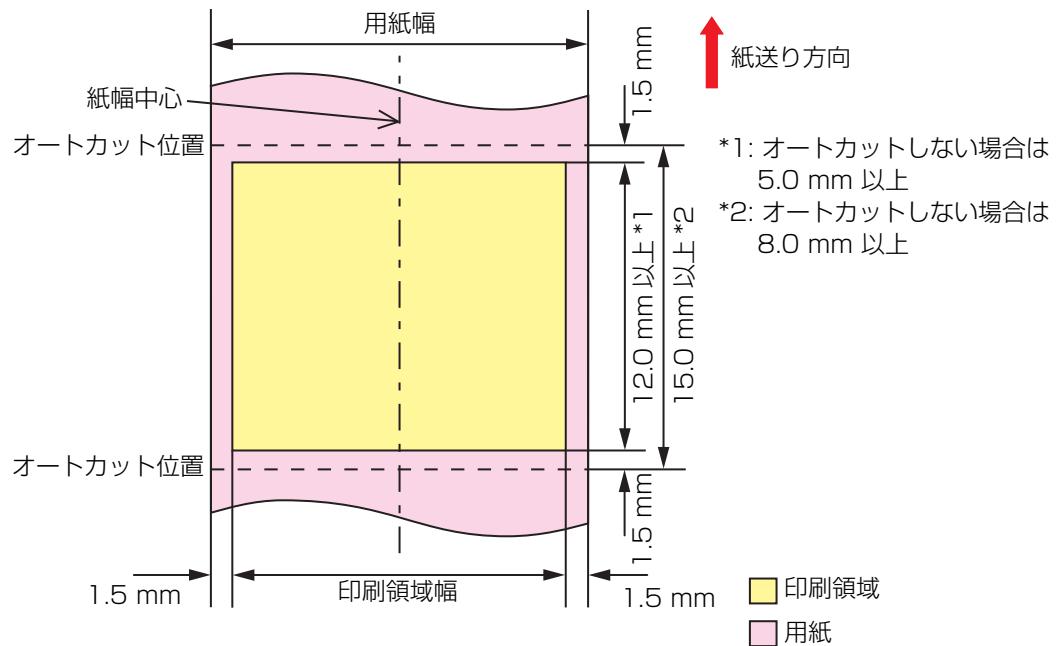


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

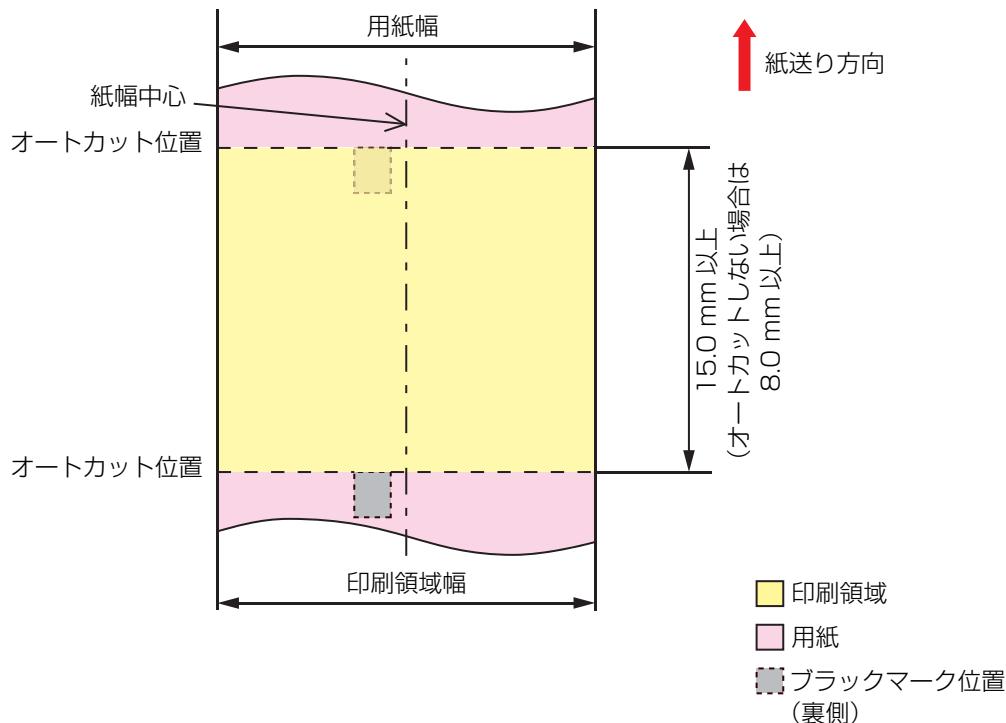
上下左右余白：1.5 mm（中心値）



連続紙（ブラックマーク基準）・ロール紙

「フチなし」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）

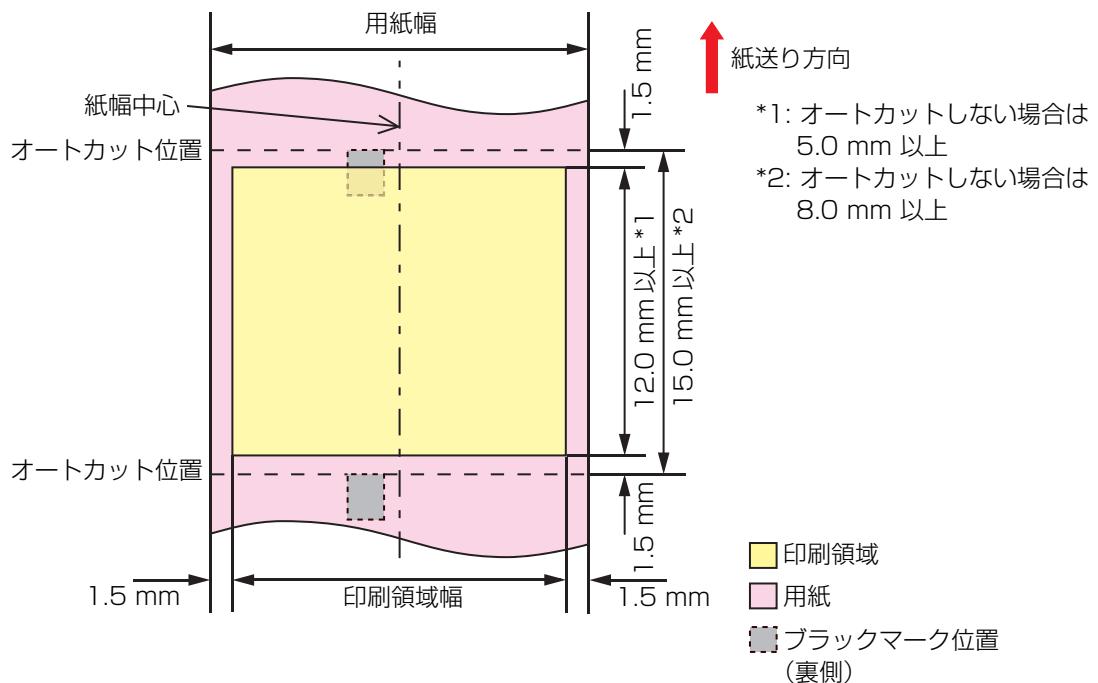


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

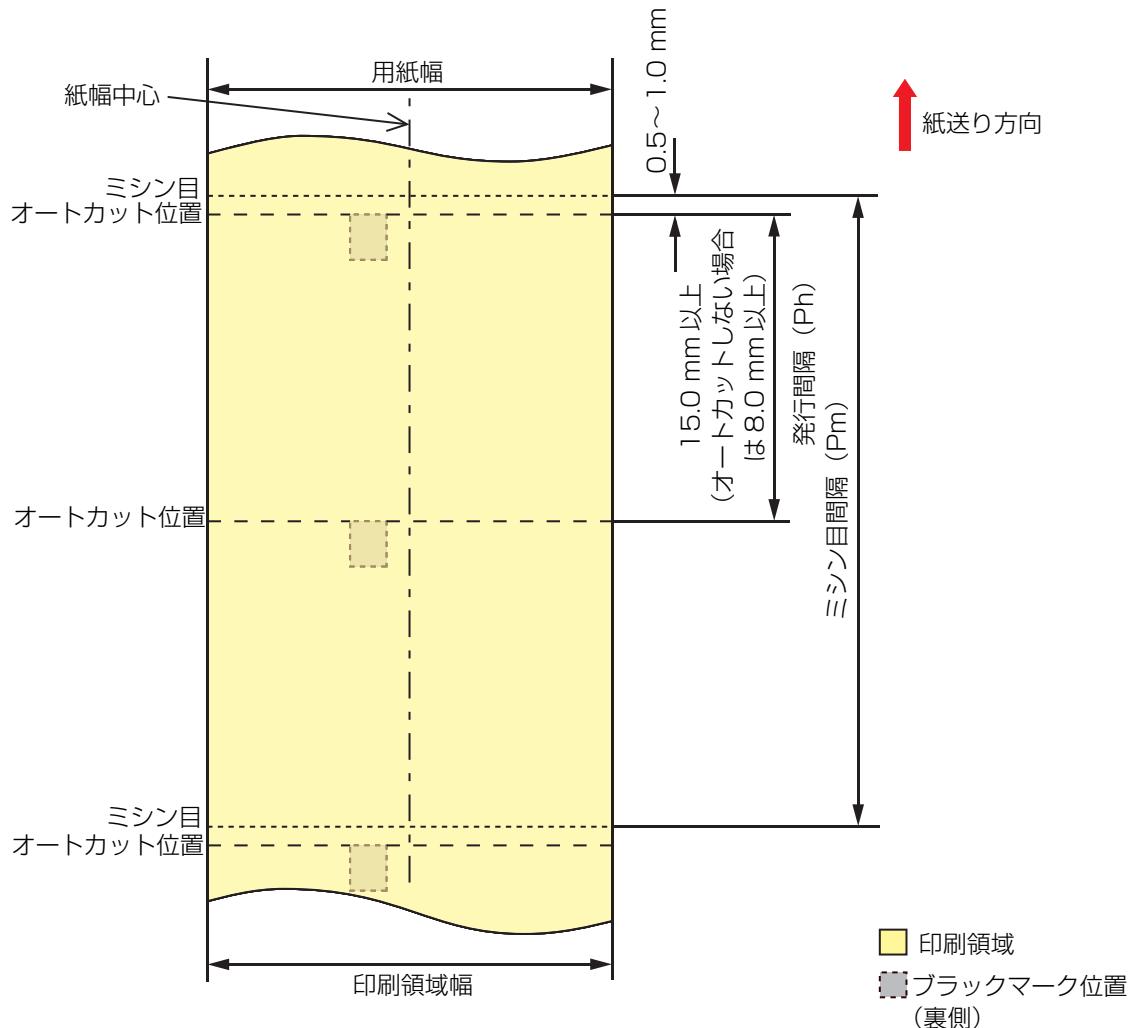
上下左右余白：1.5 mm（中心値）



連続紙（ブラックマーク基準）・ファンフォールド紙

「フチなし」有効時

上下左右余白：0 mm（中心値）



重要

ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。

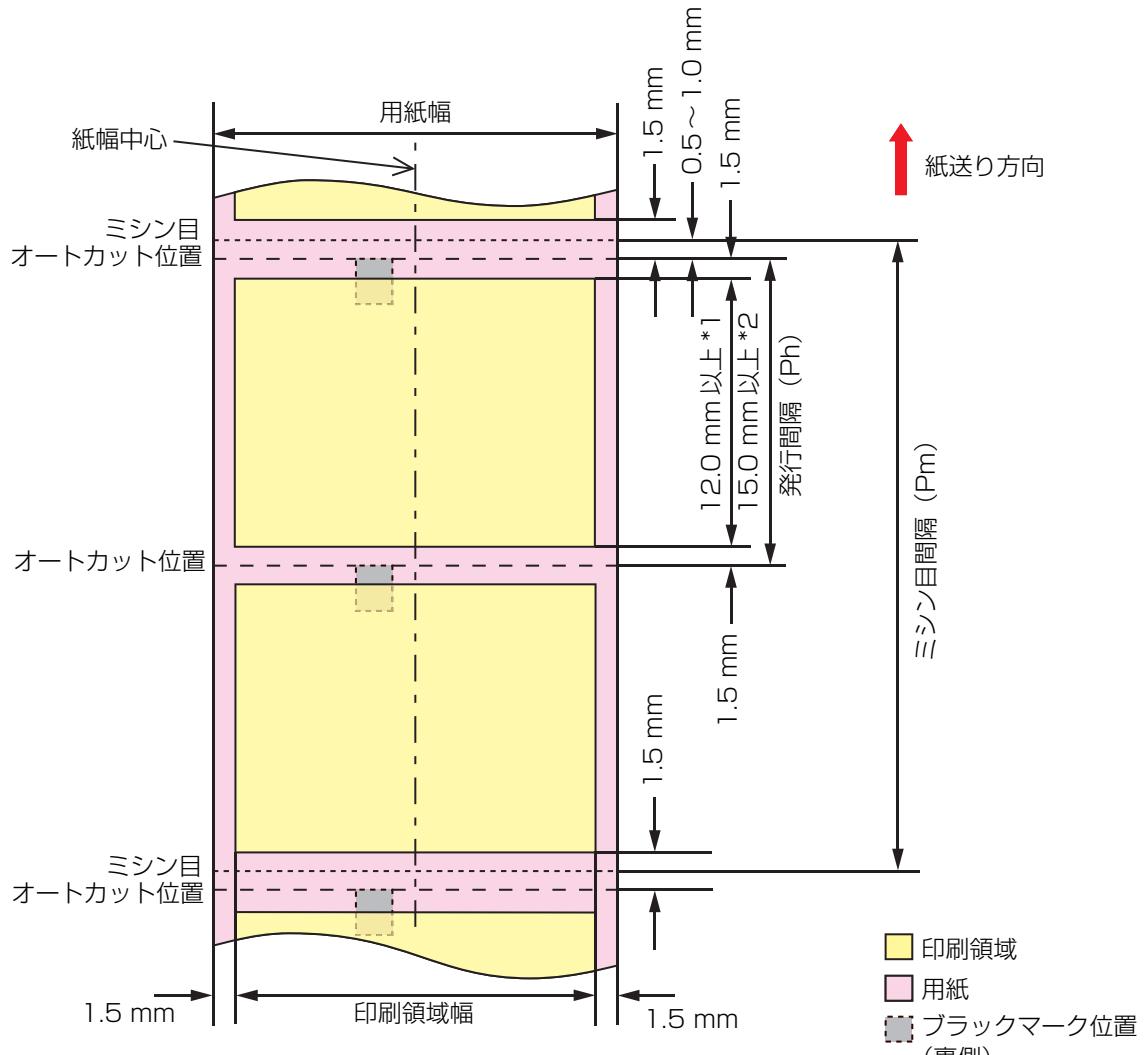


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



*1: オートカットしない場合は 5.0 mm 以上

*2: オートカットしない場合は 8.0 mm 以上



重要

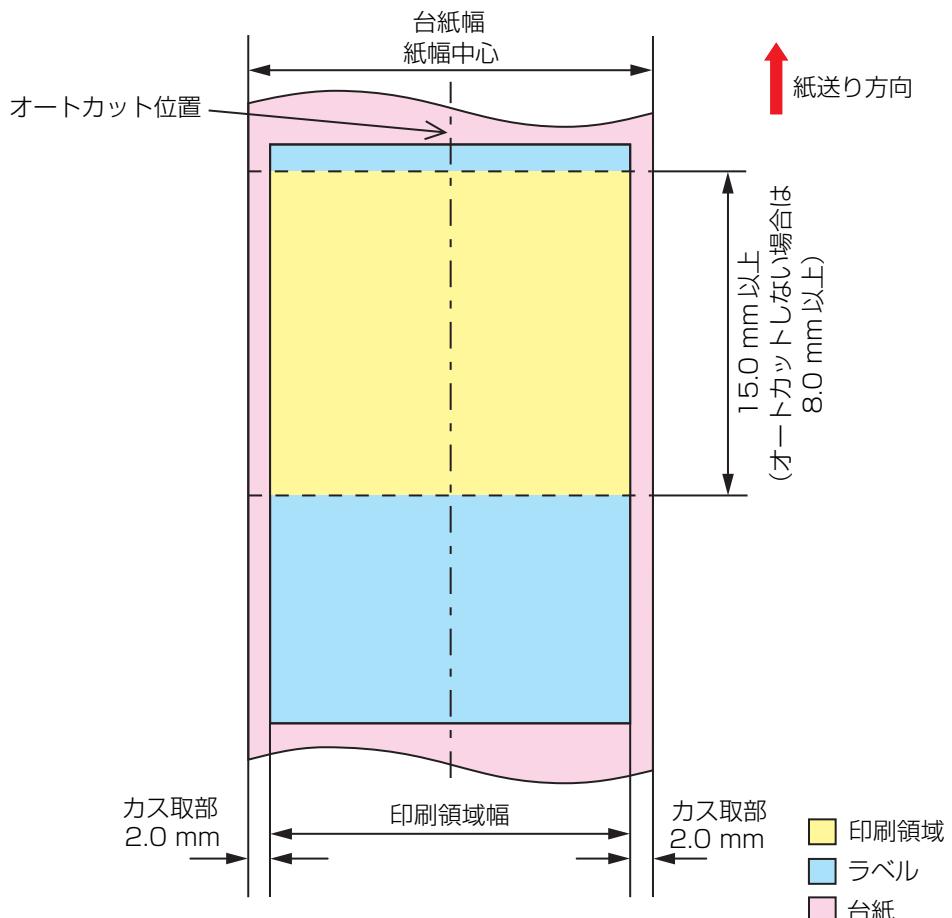
発行間隔 (Pm) とミシン目間隔 (Ph) が以下の関係になるよう調整してください。

$$Pm = Ph \times \text{整数倍}$$

全面ラベル・ロール紙

「フチなし」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

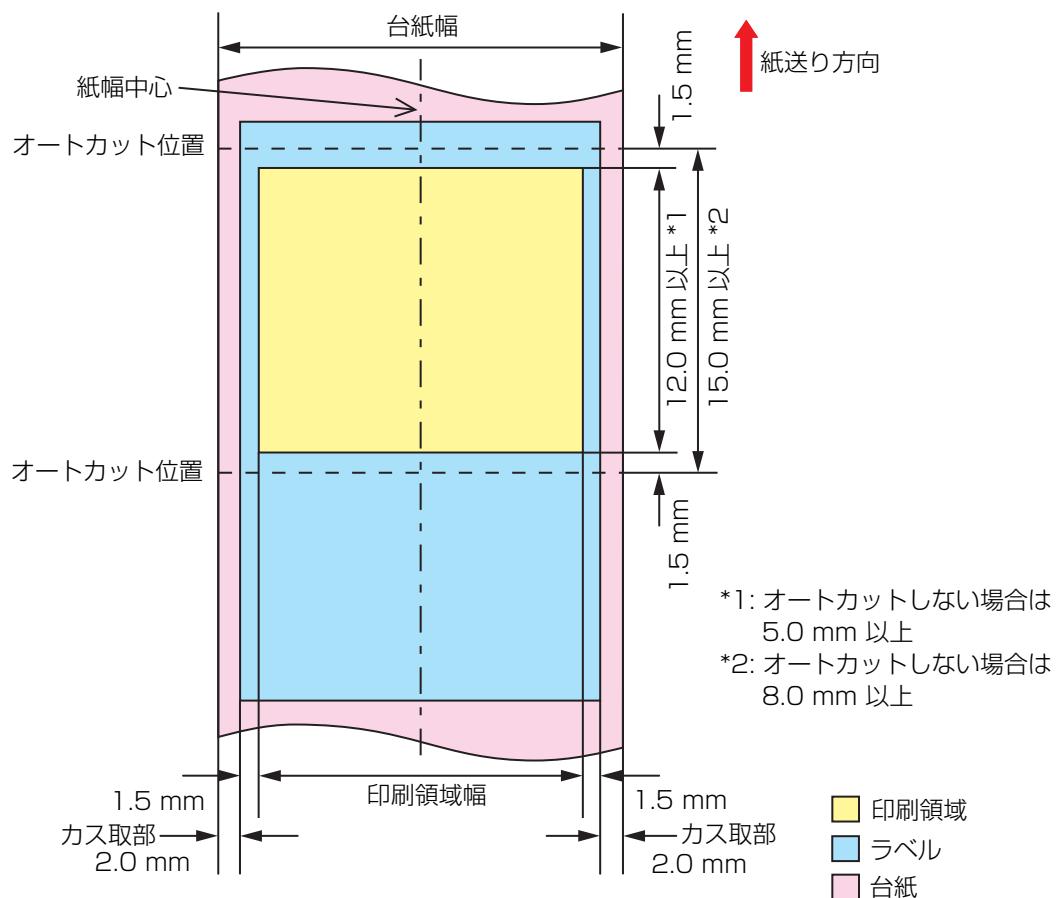


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

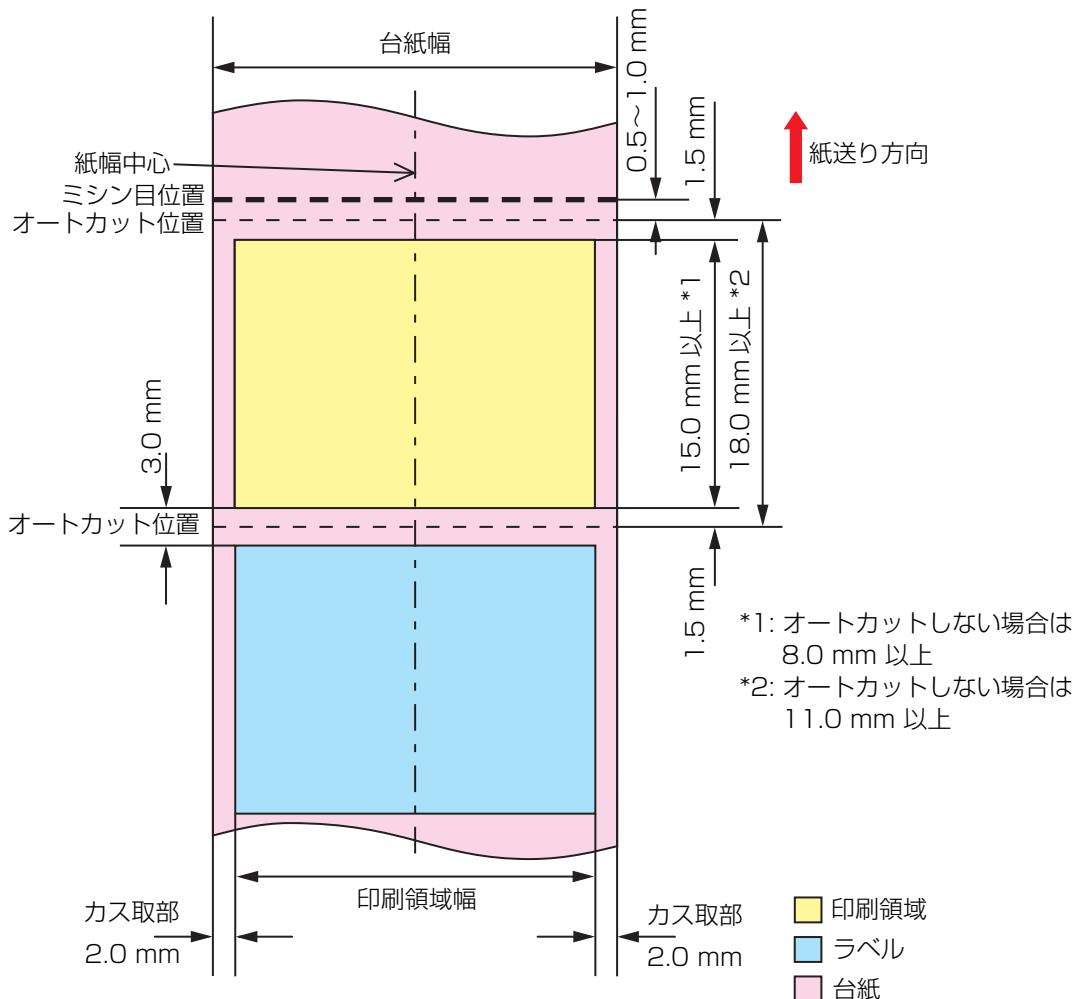
上下左右余白（ラベル内）：1.5 mm（中心値）



ダイカットラベル（ギャップ基準）・ロール紙

「フチなし」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

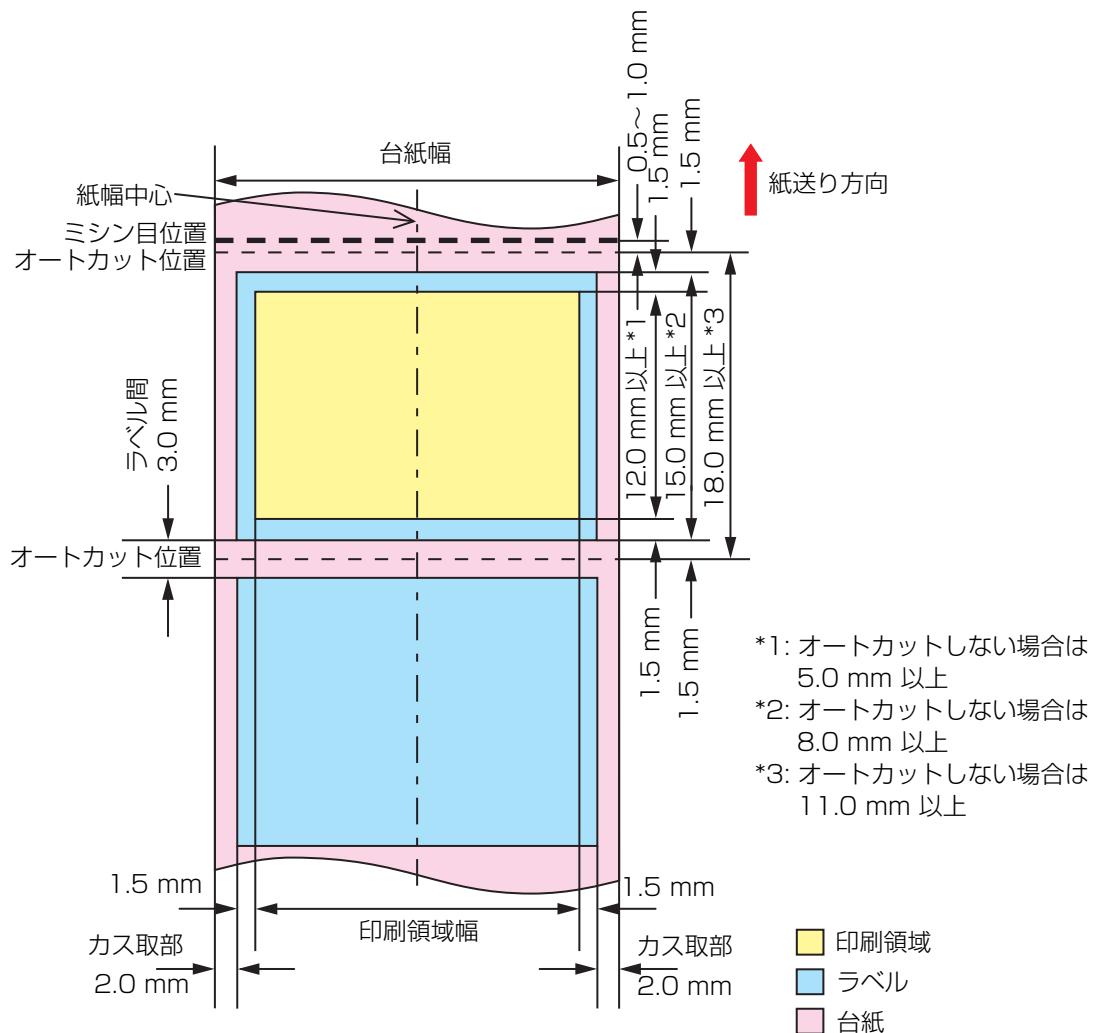


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

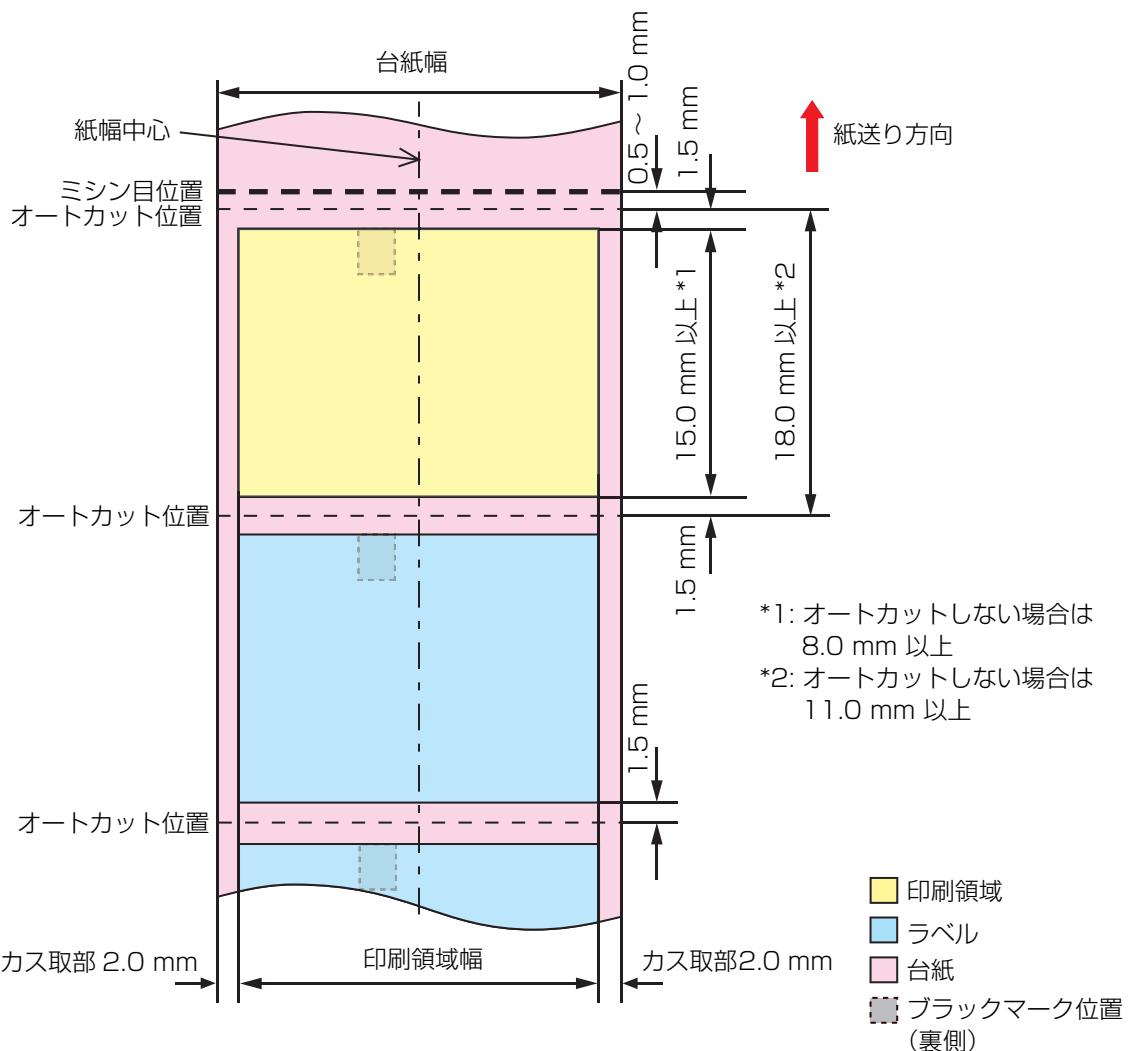
上下左右余白（ラベル内）：1.5 mm（中心値）



ダイカットラベル（ブラックマーク基準）・ロール紙

「フチなし」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）

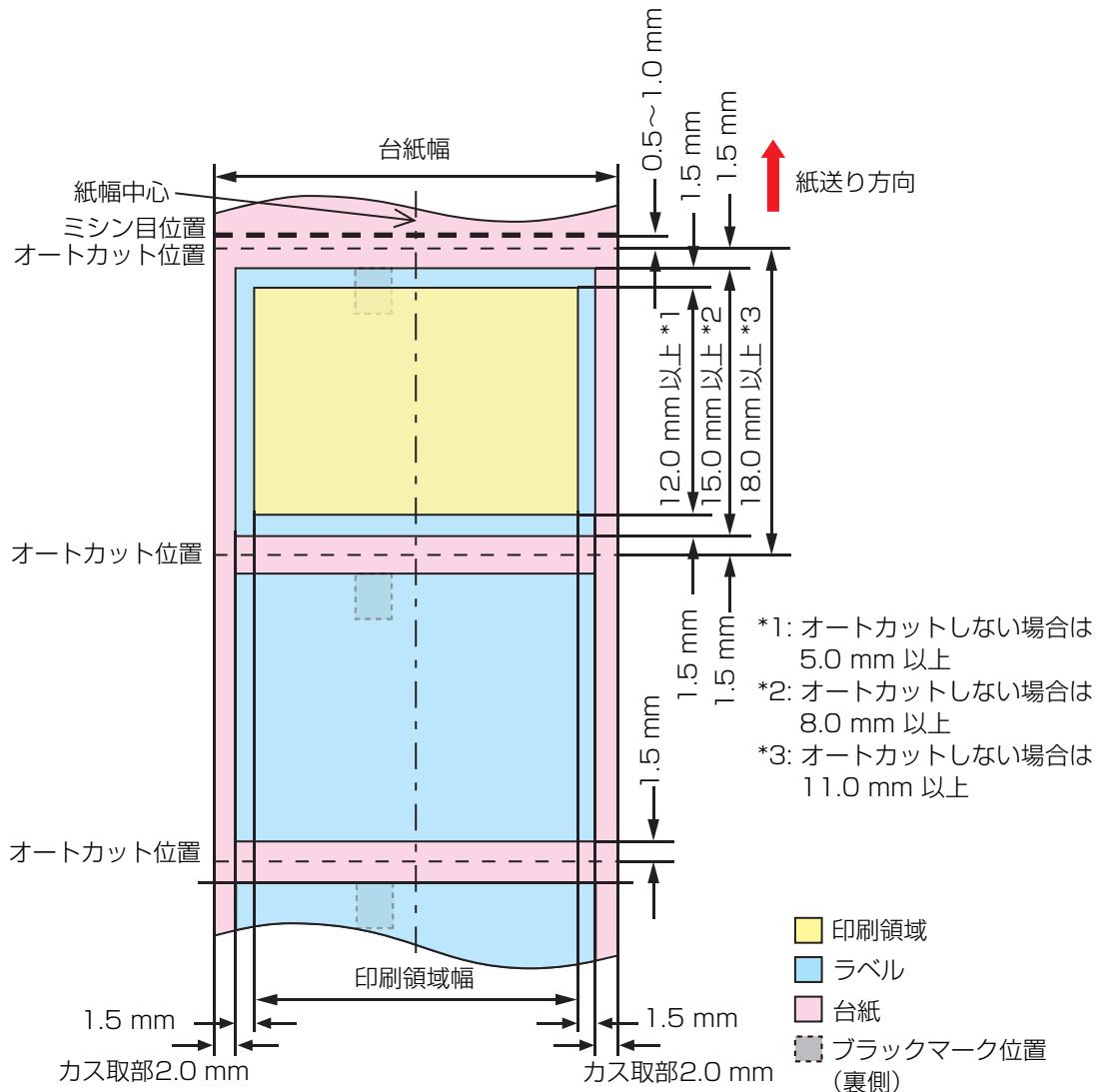


参考

印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

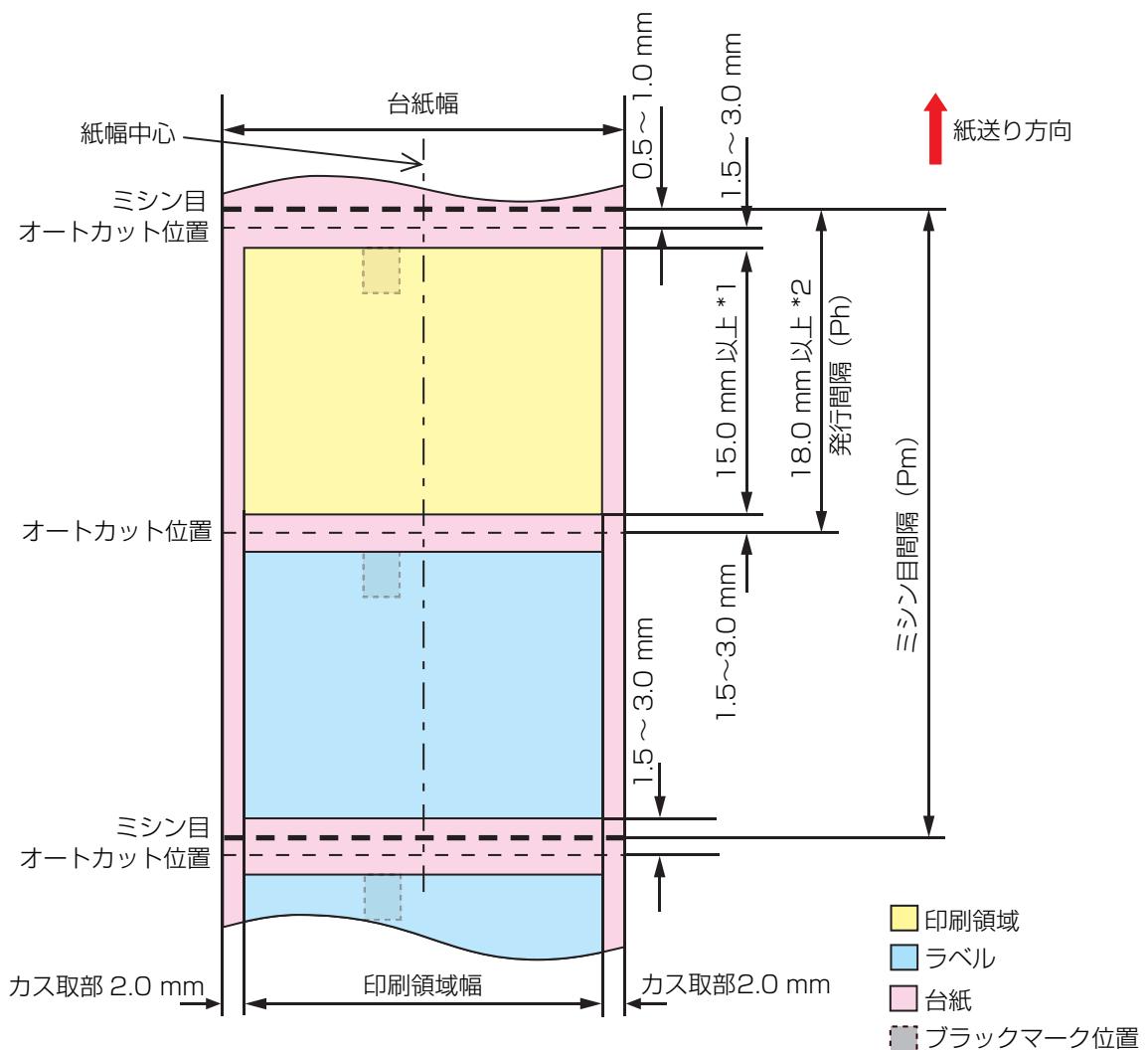
上下左右余白（ラベル内）：1.5 mm（中心値）



ダイカットラベル（ブラックマーク基準）・ファンフォールド紙

「フチなし」有効時

上下左右余白（ラベル内）：0 mm（中心値）



*1: オートカットしない場合は 8.0 mm 以上

*2: オートカットしない場合は 11.0 mm 以上



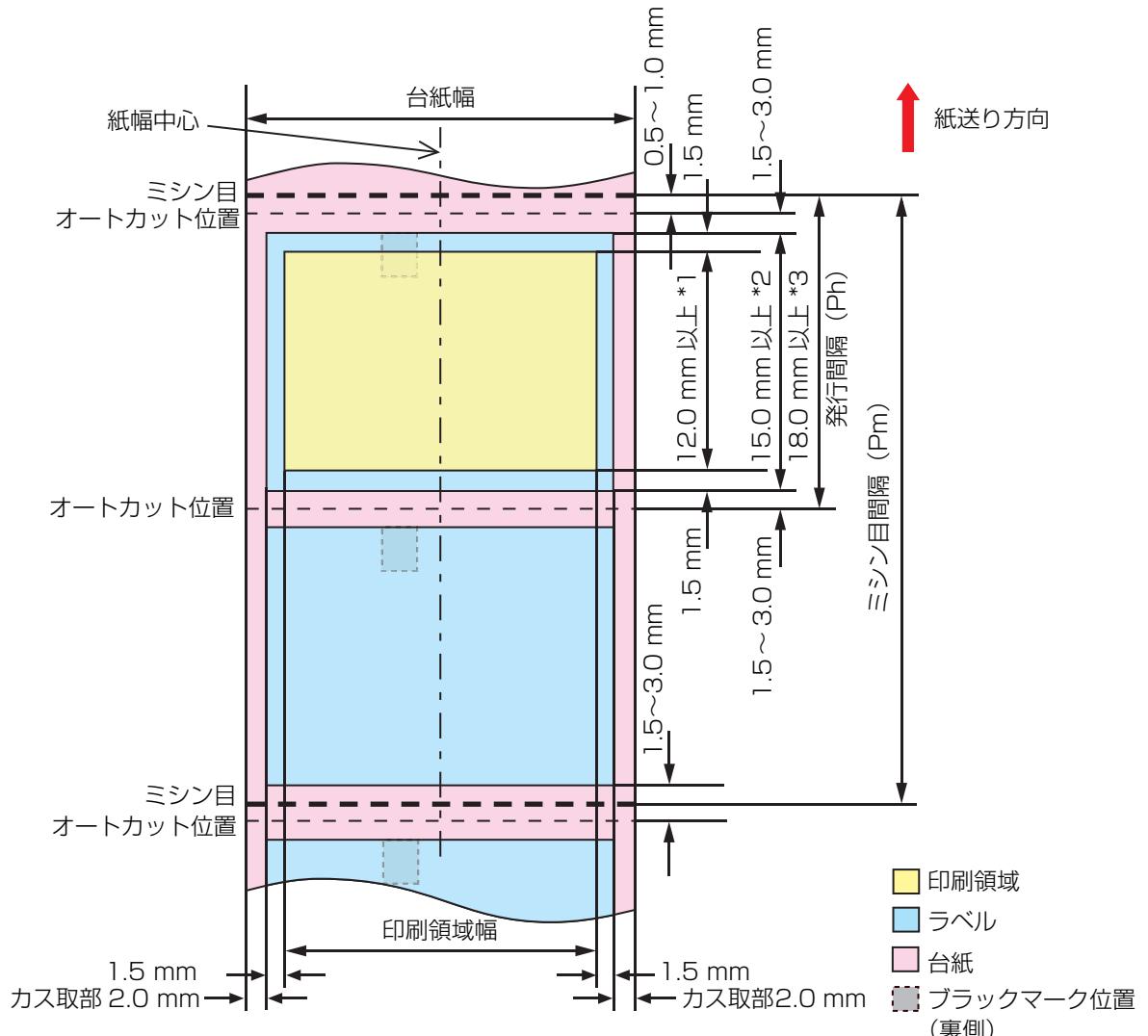
- ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
- ミシン目と印刷領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオートカッター位置の重なりによるカッタ寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。



印刷領域幅の最大値は 104 mm です。

「フチなし」無効時

上下左右余白（ラベル内）：1.5 mm（中心値）

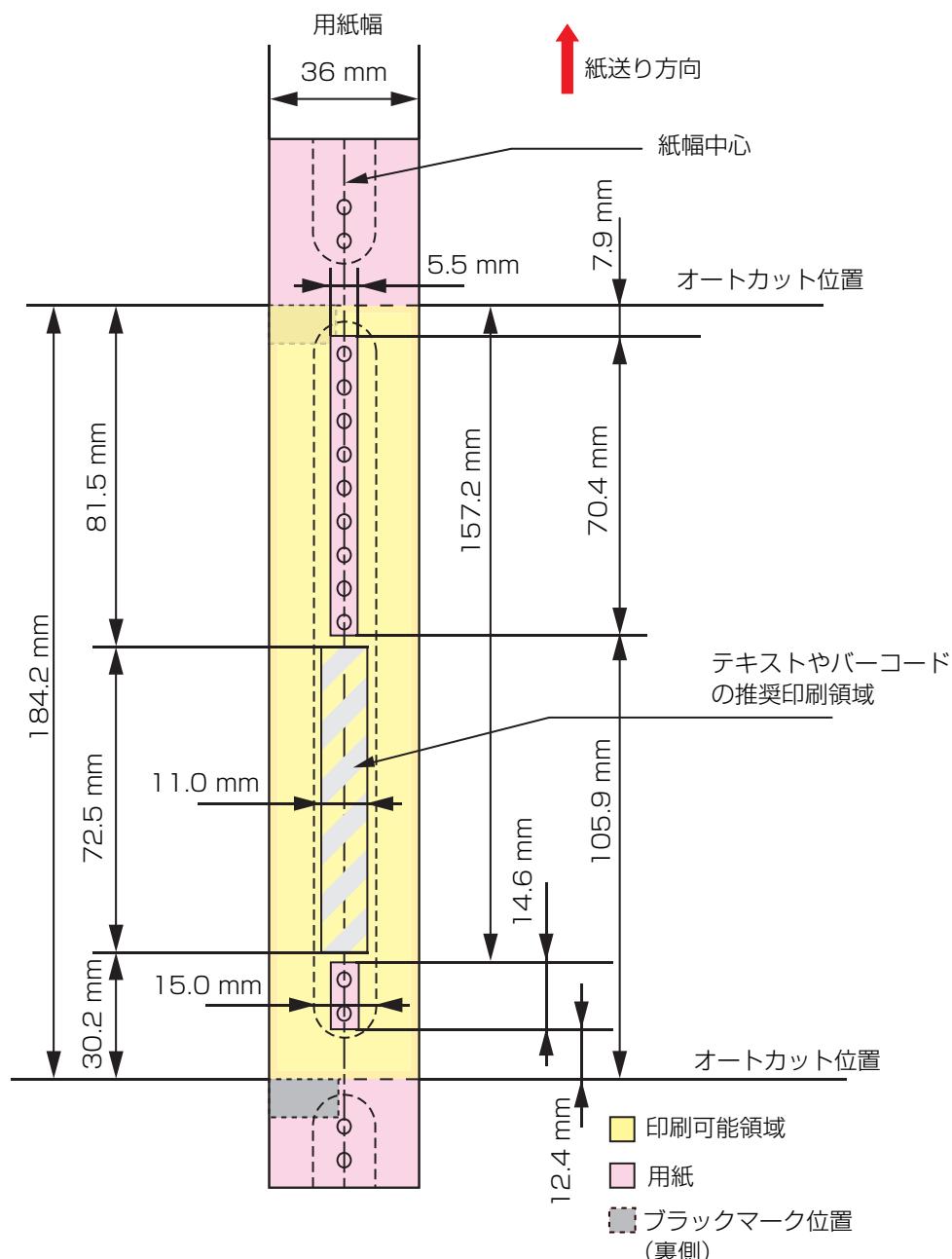


- ・ミシン目間隔は、発行間隔の整数倍になるようにしてください。
 - ・ミシン目と印刷領域の重なりによる印字の乱れ、またはミシン目とオートカッター位置の重なりによるカッタ寿命の低下を防ぐため、裏面にブラックマークのある用紙を使用し、用紙の位置合わせを行ってください。

リストバンド・ロール紙 (WB-S シリーズ)

「フチなし」有効時

上下左右余白 : 0 mm (中心値)

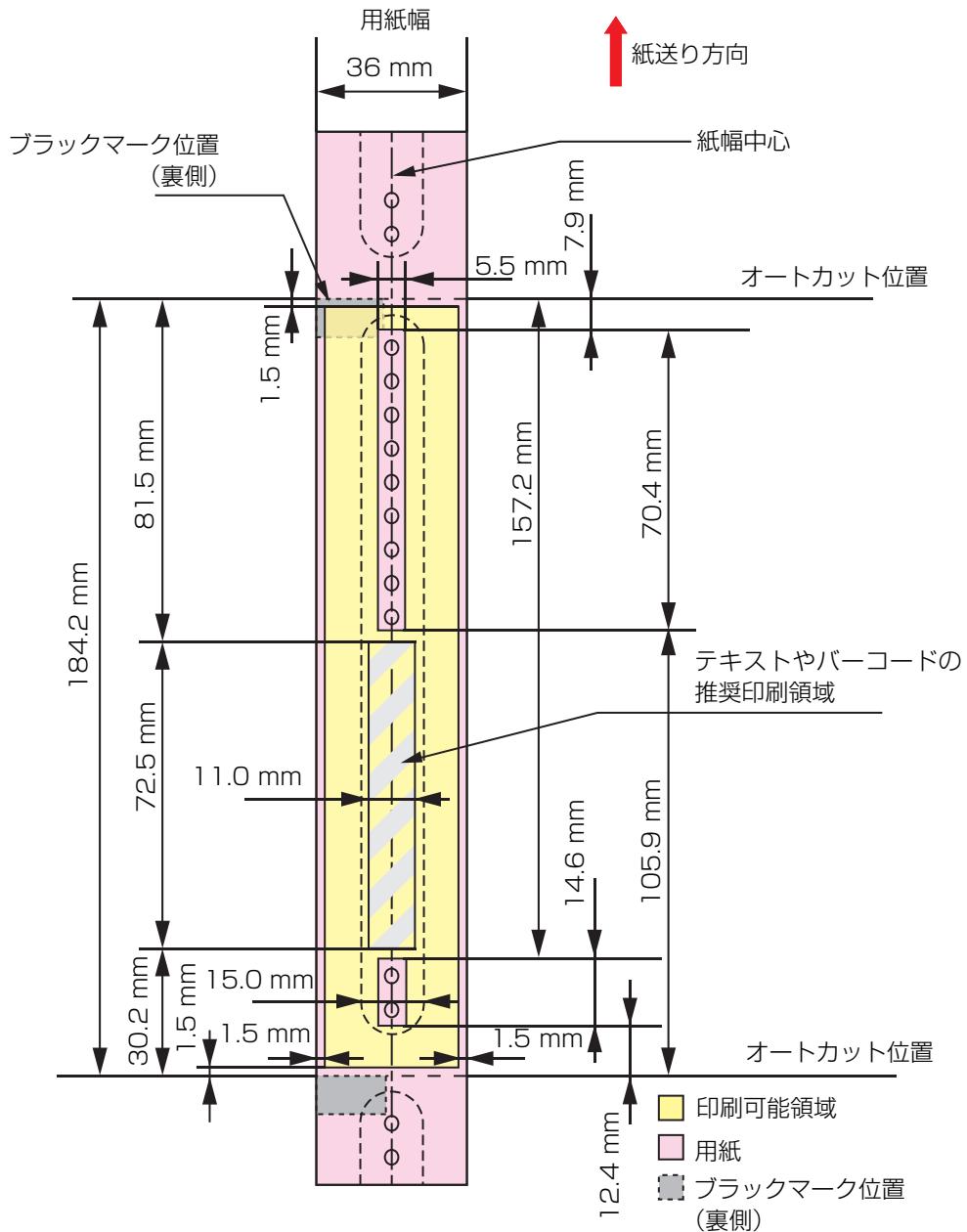


重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

「フチなし」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



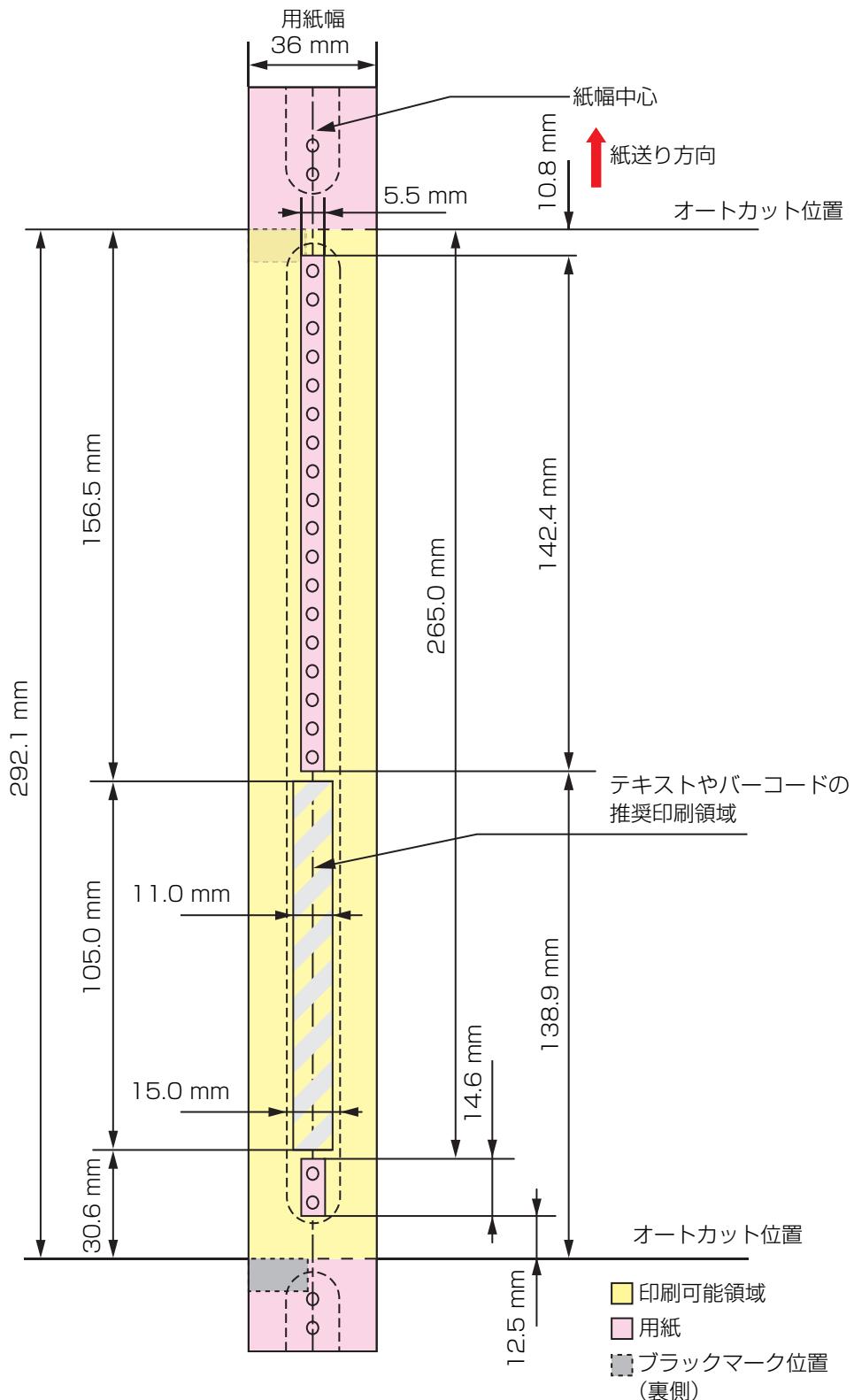
重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍2mmは印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

リストバンド・ロール紙 (WB-M シリーズ)

「フチなし」有効時

上下左右余白 : 0 mm (中心値)



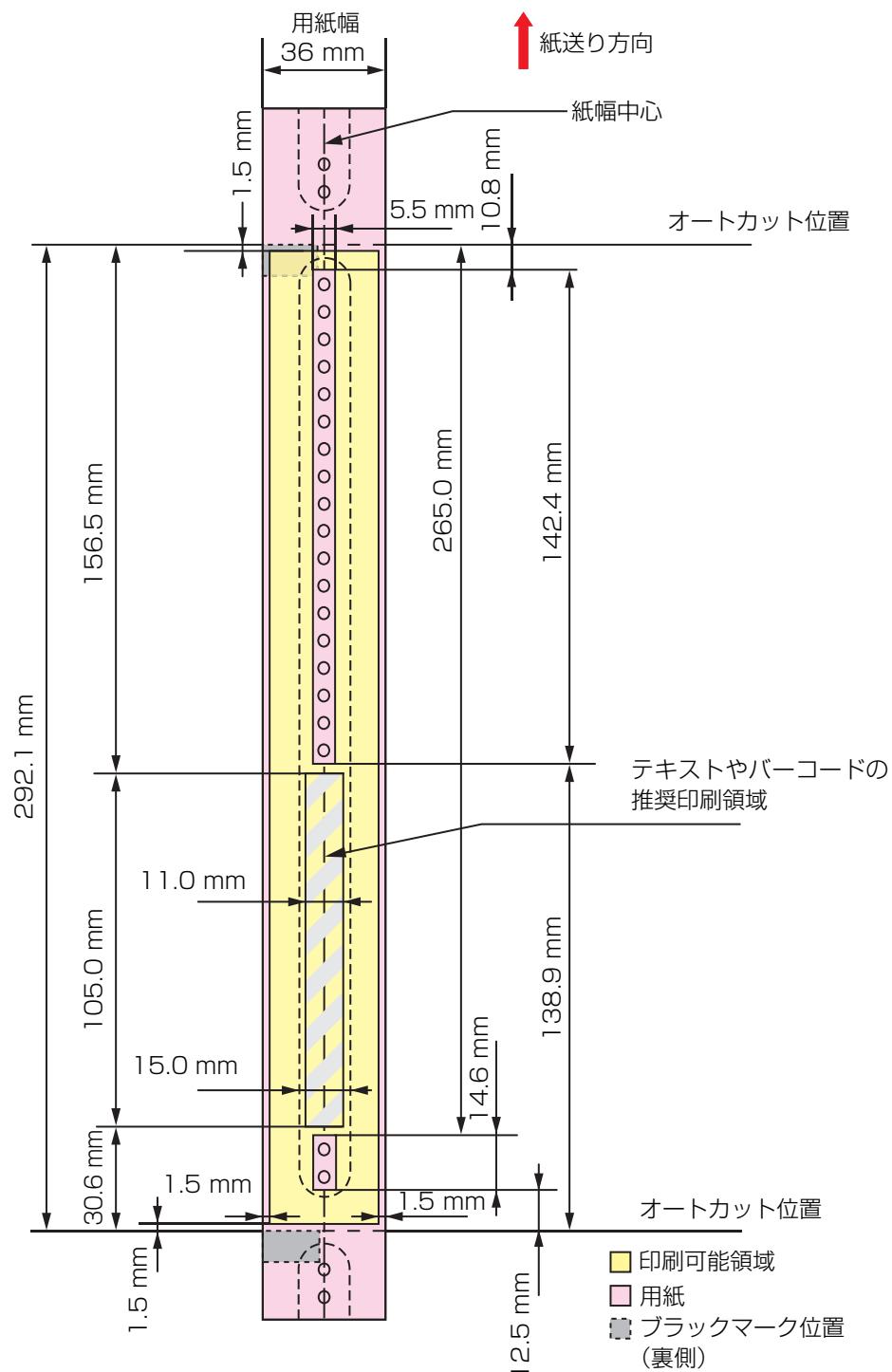


重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

「フチなし」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



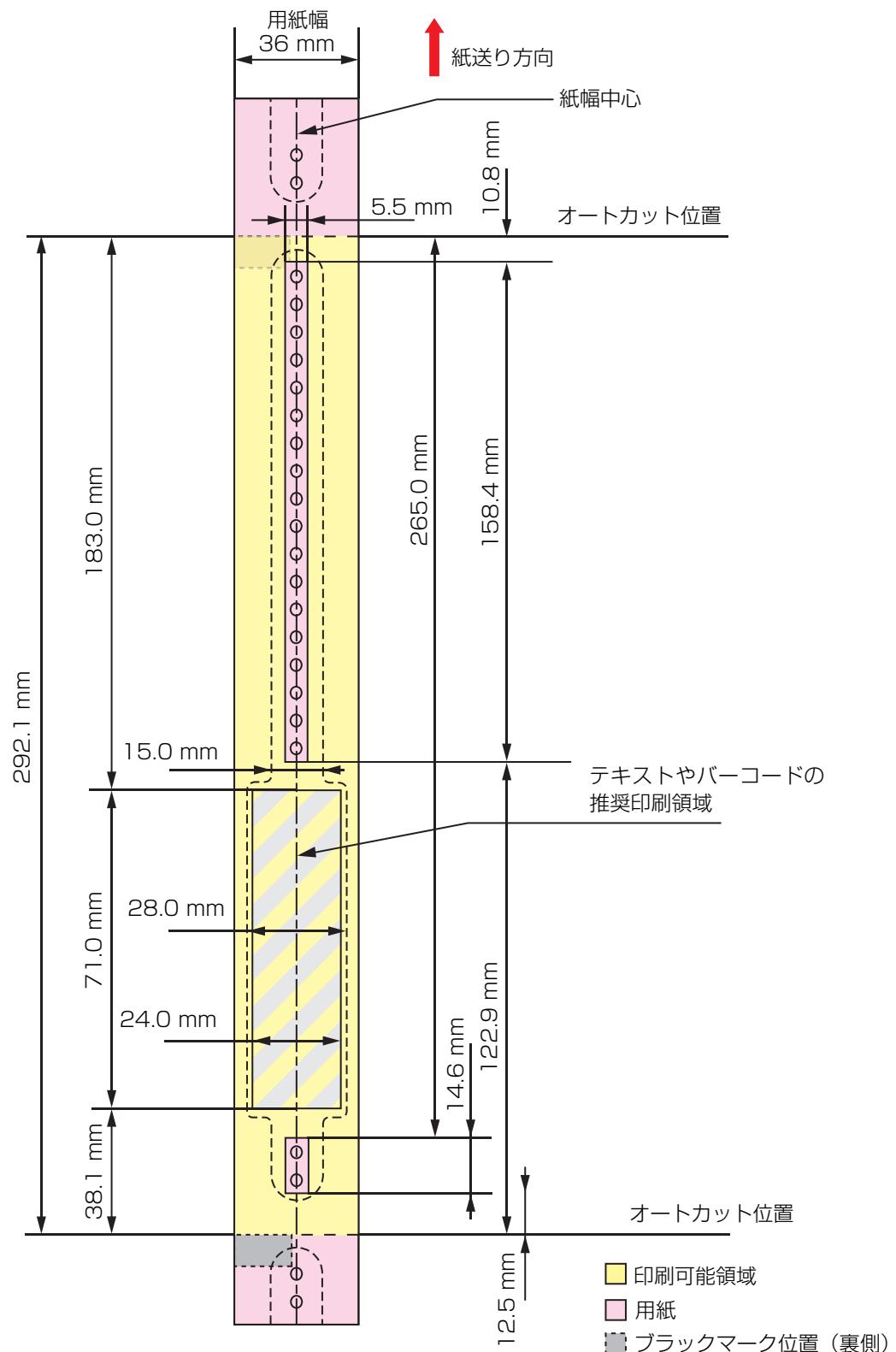
重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

リストバンド・ロール紙 (WB-L シリーズ)

「フチなし」有効時

上下左右余白 : 0 mm (中心値)



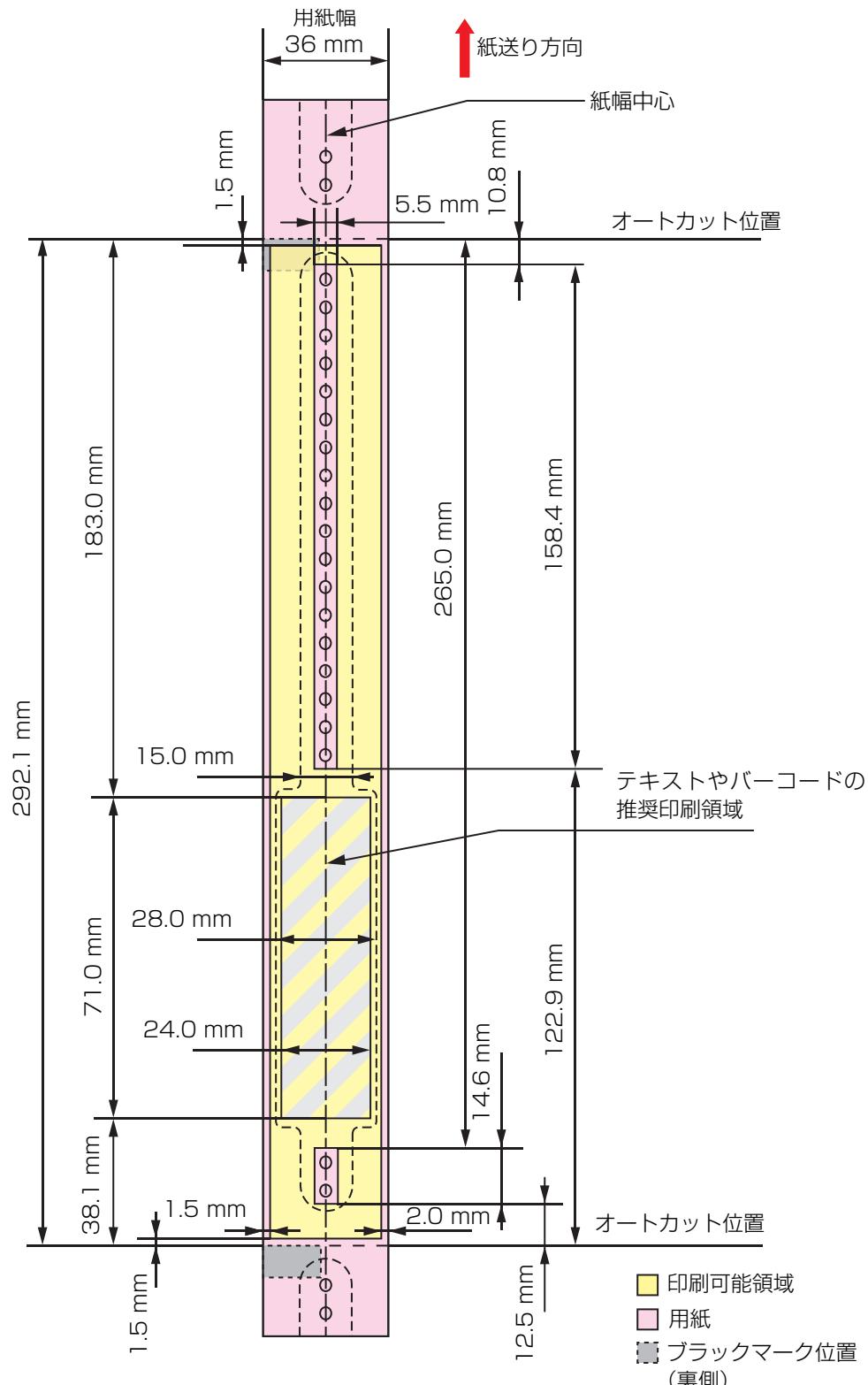


重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

「フチなし」無効時

上下左右余白：1.5 mm（中心値）



重要

- スナップ取り付け用の穴の上と、穴の近傍 2 mm は印刷しないでください。
- WB-S/M/L シリーズを使用する場合、アタッチメント (OT-WA34) を使用してください。

インクカートリッジ

型番	SJIC22P(K)/ SJIC22P(C)/ SJIC22P(M)/ SJIC22P(Y)	
形態	4色インク別体型専用インクカートリッジ	
インク色	ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー	
インク種	顔料インク	
有効期限	プリンター装着後 6ヵ月、使用期間を含め製造日から 2 年	
保存温度	個体輸送時	-20 ~ 60 °C (60 °Cの場合、5 日以内)
	個装保存時	-20 ~ 40 °C (40 °Cの場合、1 カ月以内)
	本体装着時	-20 ~ 40 °C (40 °Cの場合、1 カ月以内)

メンテナンスボックス

型番	SJMB3500
形態	廃液吸収材一体型メンテナンスボックス
有効期限	なし
保存温度	150 ページ「環境仕様」に準ずる

対応 OS

本製品の対応 OS は以下のとおりです。

OS	Microsoft Windows 10 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 8.1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 8 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Vista SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows XP SP3 (32 bit) Microsoft Windows XP SP2 (64 bit) Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows Server 2012 Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32 bit/ 64 bit) Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2 (32 bit/ 64 bit)
----	--

付録

消耗品とオプション品

本製品で使用可能な消耗品およびオプション品の紹介をします。製品の販売代理店でお買い求めください。

また、詳細は下記 URL にてご確認ください。

< <http://www.epson.jp/support/> >

インクカートリッジ

インクカートリッジは 4 色あります。

本製品で使用可能なインクカートリッジは以下のとおりです。

TM-C3500 SJIC22P (K, C, M, Y)

LCD に **インクカートリッジコウカン** と表示されたら、インクカートリッジの交換時期です。
([43 ページ「インクカートリッジの交換」](#))

純正インクカートリッジのおすすめ

- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをおすすめします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ一本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品のプリンタードライバーは純正インクカートリッジを前提に色調整されています。純正品以外を使用すると、印刷品質が低下することがあります。インクカートリッジは純正品のご使用をおすすめします。

インクカートリッジの回収

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。

< <http://www.epson.jp/> >

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

メンテナンスボックス

メンテナンスボックスとは、インクの廃液を回収するボックスです。本製品で使用可能なメンテナンスボックスは以下のとおりです。

型番：SJMB3500

LCD に**メンテナンスボックスコウカン**と表示されたら、メンテナンスボックスの交換時期です。（☞[44 ページ「メンテナンスボックスの交換」](#)）

純正メンテナンスボックスのおすすめ

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をおすすめします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。

< <http://www.epson.jp/> >

メンテナンスボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

お問い合わせ前の確認事項

本製品についての技術的な質問や疑問、あるいは障害がある場合、以下の情報をご確認の上、販売店もしくは弊社開発者向けヘルプデスク <<http://www.epson.jp/support/>> にお問い合わせください。

 重要	<ul style="list-style-type: none">弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関するご質問に限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害（接続、電源等の問題）がないかを確認してください。
---	--

- 問い合わせ分類：障害 / 質問
- 日付：
- 御社名：
- 部署名：
- お名前：
- お電話 / FAX / Email：
- コンピューター情報：
 - 製造メーカー
 - CPU
- OS (サービスパックも含む)：
- 対象プリンター機種名：
- プリンタードライバー：インストール済み (OS 標準 / Epson カスタム) / インストールしていない
- 対象プリンター接続形態：USB / LAN / MS 共有 (クライアント / サーバー)
- 印刷ツール：ローカル (LPT / USB) / OS 標準 Standard TCP/IP / OS 添付 LPR / Epson 製 TCP/IP 印刷 (名称) / 自社カスタムアプリケーション / その他 (製品名 / Ver.)
- ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル (製品名 / Ver.) / 無し
- 御社アプリケーション情報：
Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作
- 弊社アプリ動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / EPSON Monitoring Tool / EpsonNet SDK for Windows / Printer Setting / その他 (名前)
- 障害の現象 (or 質問内容)：
- システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成
- 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値
- 障害の再現性：再現する (回中 回) / 再現しない

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2017. All rights reserved.